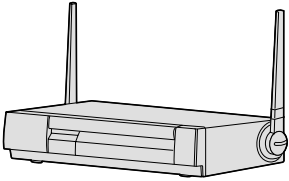


# Panasonic

カメラコントロールユニット

## 取扱説明書

品番 KX-HGW500



このたびは、パナソニック「カメラコントロールユニット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

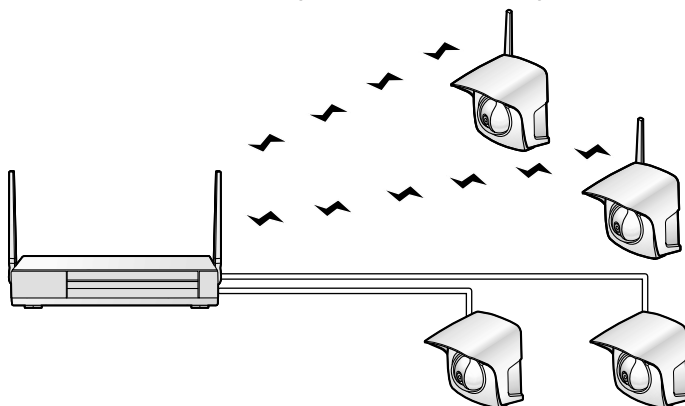
上手に使って上手に節電



# 特長

## カメラ自動登録機能 (別売のPanasonicネットワークカメラをご使用の場合)

最大16台のネットワークカメラの設置および利用に対して、ネットワークの設定を自動的に行う「カメラ自動登録機能」を搭載。(☞ 35、51ページ)



## カメラポータル機能 (別売のPanasonicネットワークカメラをご使用の場合)

最大16台のネットワークカメラの画像をカメラポータルで一覧表示します。見たいカメラ画像をクリックすると、クリックしたカメラの画面を表示します。(☞ 37、53ページ)

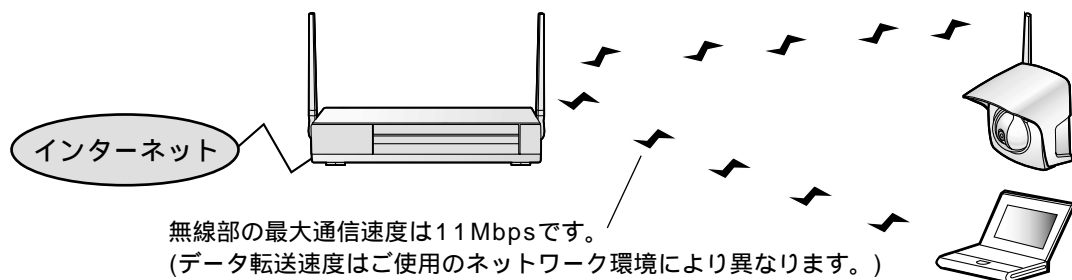


## SDメモリーカード録画機能

ネットワークカメラで撮影した画像を、SDメモリーカード(別売品)に録画する機能を搭載。(☞ 56ページ)

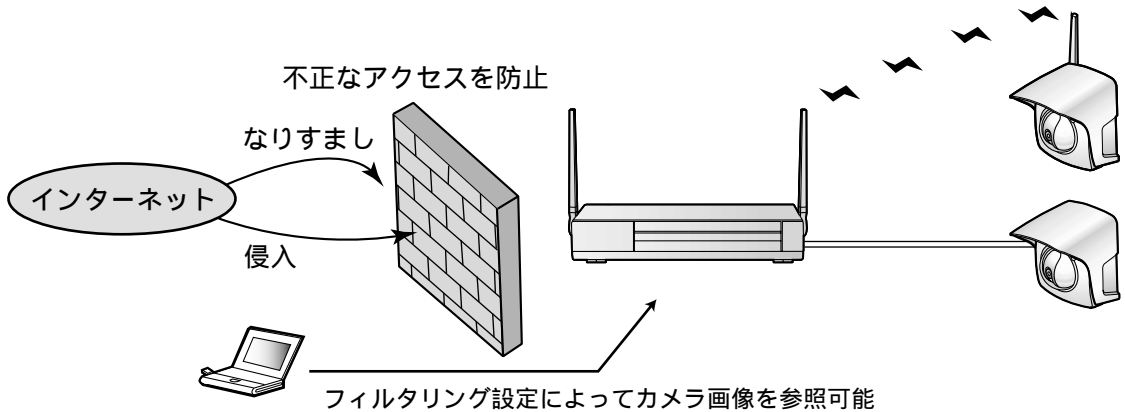
## 充実した無線ルーター機能

IEEE802.11b準拠の無線アクセスポイント機能内蔵。



## 多彩なセキュリティ機能搭載

「アクセス制限」(☞ 73ページ)、「アドレス変換」(☞ 82ページ)、「フィルタリング設定」(☞ 88ページ)など、ルーターとしてのセキュリティ機能および「SSID」(☞ 74ページ)、「WEP 40(64)/128bit」(☞ 77ページ)、「MACアドレスフィルタリング」(☞ 81ページ)など無線ネットワークのセキュリティ機能を搭載しています。



## PPPoE機能

フレッツADSLで採用しているPPPoE接続に対応しています。(☞ 18、30、32ページ)

## 簡単ネットワーク設定

設定は、WWW ブラウザーの設定画面に入力するだけの簡単設定です。

### 【商標 / 登録商標について】

Netscape Navigator は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Ethernet は富士ゼロックス社の登録商標です。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインにしたがって画面写真を使用しています。

SDロゴは商標です。

その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

### 【略称について】

Windows® 95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 Operating Systemです。(以下Windows 95)

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Operating Systemです。(以下Windows 98)

Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。(以下Windows Me)

Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional または Microsoft® Windows® 2000 Serverです。(以下Windows 2000)

Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional または Microsoft® Windows® XP Home Editionです。(以下Windows XP)

Windows NT®、Windows NT® 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0です。(以下Windows NT 4.0)

本書ではCATVモデム、ADSLモデムまたは光ケーブルモデムのことをモデムと呼んでいます。

## ご使用の前に

はじめに	6
必要なシステム	6
対応ネットワークカメラ	6
付属品	6
安全上のご注意	7
正しくお使いいただくためのお願い	11
各部の名称	13
正面	13
背面	13
インジケータ	14
接続タイプ	15

## インターネットで使う

接続のしかた (接続タイプ1)	18
接続をするまえに	18
モデムに接続する	20
パソコンを接続する	21
電源を入れる	22
設定	24
本機にアクセスする	24
インターネット接続の設定をする	26
インターネットへの接続を確認する	34
ネットワークカメラの接続	35
自動登録機能を使用してカメラを接続する	35
ネットワークカメラの画像を見る	37
LAN側からネットワークカメラの画像を見る	37
インターネット側からネットワークカメラの画像を見る	38
みえますねっとに登録してネットワークカメラの画像を見る	39

## 社内ネットワークで使う

接続のしかた (接続タイプ2)	42
接続をするまえに	42
Ethernetハブに接続する	42
パソコンを接続する	43
電源を入れる	44
設定	46
本機にアクセスする	46
社内ネットワークへの接続の設定をする	48
社内ネットワークへの接続を確認する	50
ネットワークカメラの接続	51
自動登録機能を使用してカメラを接続する	51
ネットワークカメラの画像を見る	53
LAN側からネットワークカメラの画像を見る	53
WAN側からネットワークカメラの画像を見る	54

## 録画再生機能

録画/再生	56
録画の準備をする	56
モニター画面	58
録画	59

## 録画再生機能

録画設定.....	59
タイマー録画設定.....	60
再生.....	62
SDメモリーカード.....	64
ファイル削除.....	64
フォーマット.....	64
ステータス.....	64

## 各機能

設定画面について.....	66
機能.....	68
カメラポータル.....	68
録画/再生.....	68
設定.....	69
基本設定.....	69
カメラ設定.....	70
無線設定.....	74
拡張機能.....	82
アドレス変換.....	82
フィルタリング設定.....	88
オプション設定.....	91
管理.....	97
パスワード変更.....	97
ファームウェアの更新.....	98
再起動.....	100
初期化.....	100
PPPoE接続/切断.....	101
Ping.....	102
情報表示.....	103
ステータス.....	103
使用状況.....	103
フィルタリングログ.....	104
ヘルプ.....	104

## その他の機能

再起動.....	106
初期化.....	106
再起動.....	106
プロキシサーバー使用時のWWWブラウザの設定.....	107
PPPoE LAN型接続について.....	108
無線ネットワークのセキュリティについて.....	110
パソコンのネットワーク設定を行う.....	111
パソコンのIPアドレスを確認するには.....	112

## その他

壁への取り付け.....	114
標準設定一覧.....	115
録画可能な時間について.....	119
故障かなと思ったとき.....	120
用語解説.....	126
仕様.....	130
保証とアフターサービス.....	132
さくいん.....	133

ご使用の前に

インターネットで使う

社内ネットワークで使う

録画再生機能

各機能

その他の機能

その他

# はじめに

## 必要なシステム

項目	Windows パソコン
OS	Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Windows NT 4.0、Windows XP
インターフェース	10/100MbpsのEthernet <sup>®</sup> カードが内蔵されていること
メモリー	16MB 以上
プロトコル	TCP/IP プロトコルがインストールされていること
WWWブラウザ	Internet Explorer 5.0 以降、または、Netscape Navigator <sup>®</sup> 4.7 以降

現在の Netscape Navigator のバージョン 6.X は、ブラウザには、おすすめできません。ネットワークカメラへアクセスしたときに、画像の動きが止まり、ブラウザからの命令を受け入れない場合があります。

## 対応ネットワークカメラ（2002年8月現在）

Panasonicネットワークカメラ KX-HCM1（パン/チルト付きカメラ）

Panasonicネットワークカメラ KX-HCM2（固定型カメラ）

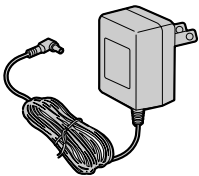

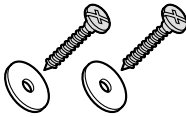

Panasonicネットワークカメラ KX-HCM130（屋外カメラ）

Panasonicネットワークカメラ KX-HCM170（屋外無線カメラ）

## 付属品

ご使用いただく前に、次の付属品がそろっているか確認してください。

万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター（☎ 132ページ）までご連絡ください。

ACアダプター... 1個 (☎ 22、44ページ) 	Ethernetケーブル (カテゴリ5ストレート ケーブル)..... 1本 (☎ 20、42ページ) 	壁掛け用ネジ/ ワッシャー ..... 各2個 (☎ 114ページ) 	コードクランパー... 1個 (☎ 22、44ページ) 
取扱説明書（本書）..... 1冊		保証書..... 1式	

# 安全上のご注意

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

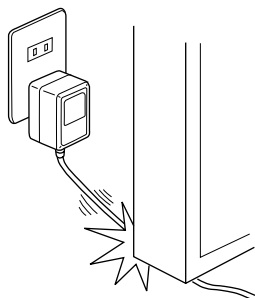
## 警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



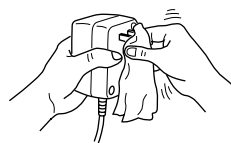
禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

ACアダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる



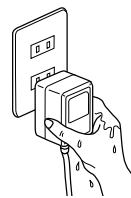
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

ACアダプターを電源コンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない



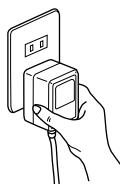
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

## 警告

ACアダプターのプラグは根元まで  
確実に差し込む



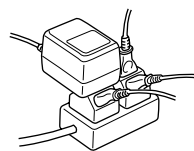
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による  
火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだ電源コンセントは  
使用しないでください。

電源コンセントや配線器具の定格を超  
える使いかたや、交流100V以外での  
使用はしない



禁 止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱に  
よる火災の原因になります。

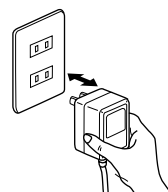
専用のACアダプター（極性統一形  
プラグ）以外は使わない



禁 止

専用以外のACアダプターを使用  
すると、電圧や+ - の極性が異  
なっていることがあるため、発  
煙・火災のおそれがあります。

ACアダプターを抜き差しするときは  
本体（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から  
22 cm 以上離す



電波によりペースメーカーの作  
動に影響を与える場合があり  
ます。

医用電気機器の近くでの設置や使用  
をしない

〔手術室、集中治療室、CCU などには持  
ち込まないでください。〕



禁 止



自動ドア、火災報知器などの自動制  
御機器の近くには設置しない



禁 止

本機からの電波が自動制御機器  
に影響を及ぼすことがあり、誤  
動作による事故の原因になり  
ます。

本機からの電波が、医用電気機器に影響を及  
ぼすことがあり、誤動作による事故の原因に  
なります。

CCUとは、冠動脈疾患監視病室の略称です。



## 警告

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

本機、ACアダプターをぬらさない



近くに花瓶、コップなどを置かないでください。  
発火・感電の原因になります。

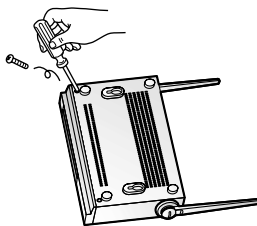
水ぬれ禁止

ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造をしない



分解禁止

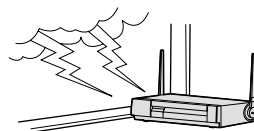


故障したり火災・感電の原因になります。  
修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本機やACアダプターに触れない



接触禁止



感電の原因になります。

壁や天井に設置時は、ACアダプターを差し込んだ後、落下しないように対策を行う



ACアダプターが落下し、頭などにあたると、けがまたは死亡する原因になります。

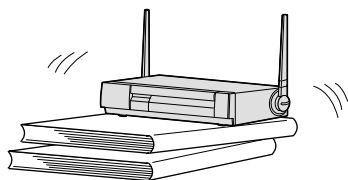
工事は、電気工事士の方が行ってください。

## ⚠ 注意

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない

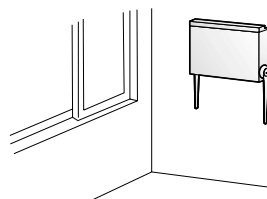


禁止



落下により、けがの原因になることがあります。

本機を壁にかけて使用するときには、堅固・確実に取り付ける



落下により、けがの原因になることがあります。

水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない



禁止



故障や感電・ショートの原因になることがあります。

ケーブルを曲げたり落としたり、強い衝撃を与えたりしない



禁止

故障・破損や感電の原因になることがあります。

ケーブルを引っばったり、コネクタ部に無理な力を加えない



禁止

損傷や感電の原因になることがあります。

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

漏電・感電の原因になることがあります。

# 正しくお使いいただくためのお願い

## 使用・設置場所について

長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

(変形・変色または故障・誤動作の原因になります。)

本機は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

推奨温度：10 ～ 30

推奨湿度：45 % ~ 85 %

## ご使用について

ジャック内部に触れないでください。

(故障の原因になります。)

隣接して使用しているラジオやテレビから2m以上離してください。

また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

(ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。)

## 日頃のお手入れについて

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本機をふかないでください。

柔らかい乾いた布をお使いください。

(本機が変形・変色することがあります。)

本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。

本機のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。

本書は改善のため予告なしに変更することがあります。

本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

この商品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当しますので、輸出または海外に持ち出す場合は、同法に基づく関連法規を順守してください。

# 正しくお使いいただくためのお願い

## 無線通信の使用範囲について

本機と無線端末の距離が約50cm ~ 120m (屋内見通し距離)・約50cm ~ 600m (屋外見通し距離) の範囲でお使いください。

(無線端末の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

次のような場所でのご使用は避けてください。  
(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

特定無線局や移動通信体のある屋内  
電子レンジの近く  
盗難防止装置など2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内

本機と無線端末の間に次のような物体があるときは設置場所を変更したり、仕切りを取り払うなどしてください。

(電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

鉄のドア  
スチール柵や仕切り  
コンクリート、石、レンガなどの壁  
防火ガラス

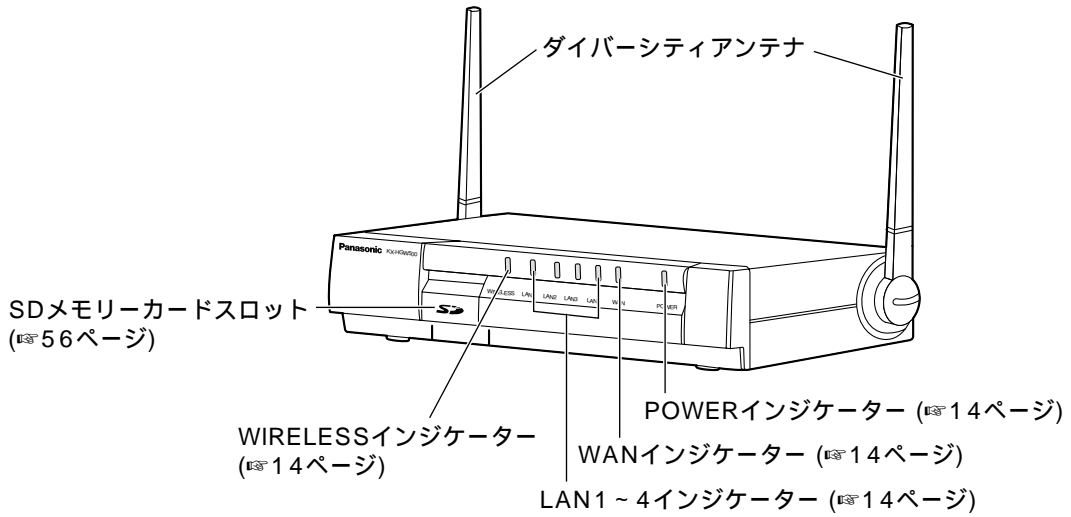
## 電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

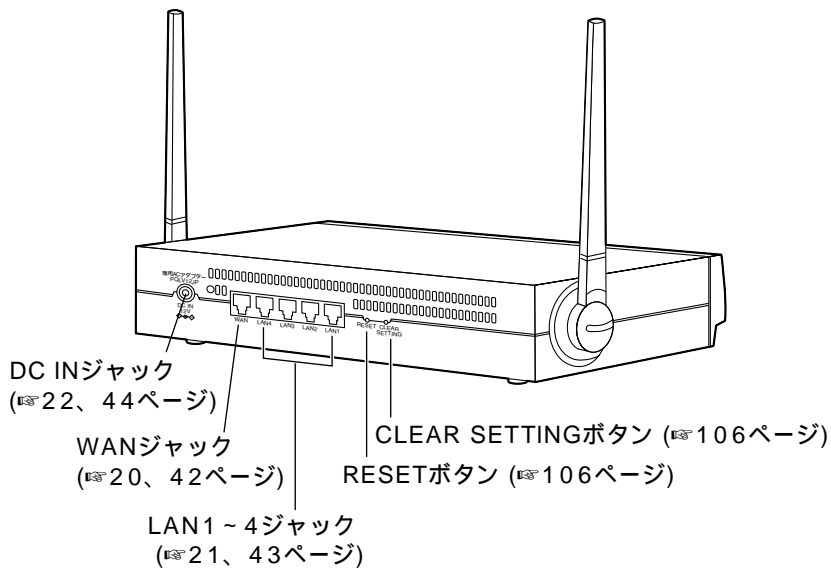
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター(☎132ページ)にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ネットワークカメラカスタマコンタクトセンター(☎132ページ)へお問い合わせください。

# 各部の名称

## 正面



## 背面



# 各部の名称

## インジケーター

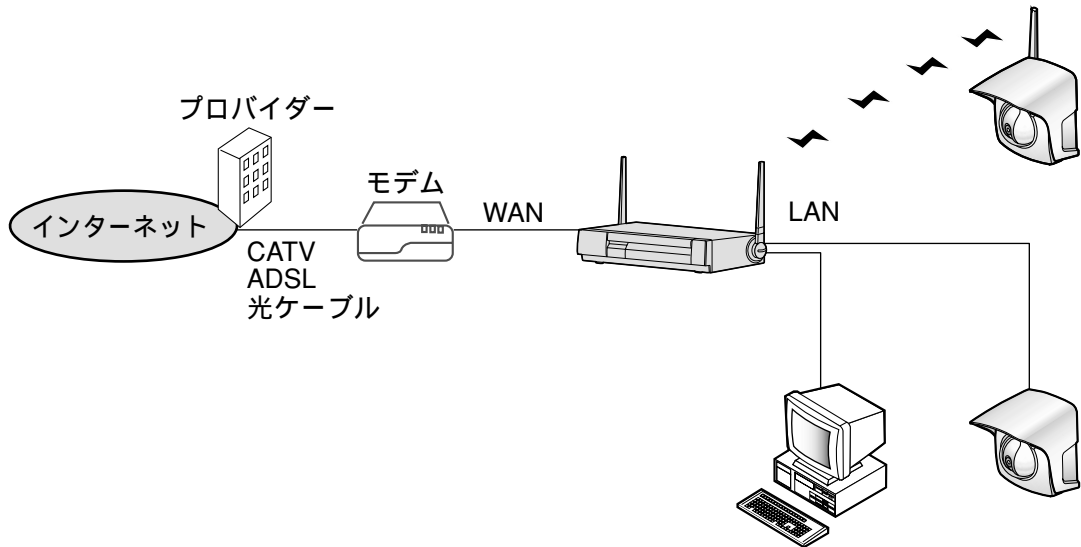
LED	点灯色	表示内容
POWER	 緑	電源が入っています。
	 赤	本機に障害が発生しています。 RESET ボタンを押してください。 (☞ 106 ページ)
WAN	 緑	モデムやEthernetハブなどに接続されています。
	 緑 (点滅)	回線接続後、データ通信をしています。
LAN1 ~ 4	 緑	ネットワークカメラやパソコン、Ethernetハブに接続されています。
	 緑 (点滅)	データ通信をしています。
WIRELESS	 緑	無線ネットワークカメラや、無線通信のパソコンに接続されています。
	 緑 (点滅)	無線でデータ通信しています。

# 接続タイプ

接続タイプには以下の2通りがあります。接続タイプを確認のうえ、本機を設定してください。

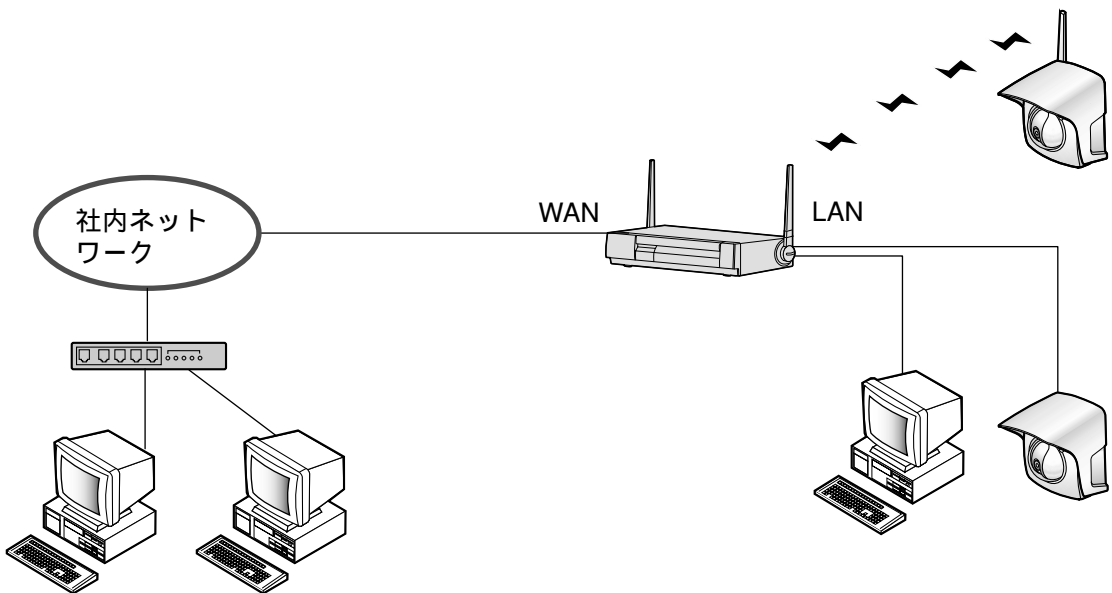
## 接続タイプ1（インターネットに接続する場合 ➡ 18ページ）

WAN側をインターネットに接続し、LAN側にネットワークを構築します。



## 接続タイプ2（社内ネットワークに接続する場合 ➡ 42ページ）

WAN側を社内ネットワークに接続し、LAN側にネットワークを構築します。







# インターネットで使う

接続のしかた ( 接続タイプ 1 ) . . . . .	18
接続をするまえに . . . . .	18
モデムに接続する . . . . .	20
パソコンを接続する . . . . .	21
電源を入れる . . . . .	22
設定 . . . . .	24
本機にアクセスする . . . . .	24
インターネット接続の設定をする . . . . .	26
インターネットへの接続を確認する . . . . .	34
ネットワークカメラの接続 . . . . .	35
自動登録機能を使用してカメラを接続する . . . . .	35
ネットワークカメラの画像を見る . . . . .	37
LAN側からネットワークカメラの画像を見る . . . . .	37
インターネット側からネットワークカメラの画像を見る . . . . .	38
みえますねっとに登録してネットワークカメラの画像を見る . . . . .	39

# 接続のしかた（接続タイプ1）

## 接続をするまえに

設置する前に、以下のものがそろっていることをご確認ください。

ネットワークカード（Ethernet、あるいは、IEEE802.11b無線LANカード）がインストールされている  
Windowsパソコン

インターネットに接続するためのアカウント情報（プロバイダーから通知されています。）

CATV/ADSL/光ケーブルモデム



モデムによっては、最初に接続されていたネットワーク機器の情報を記憶しているため、他の機器が接続できない場合があります。この場合は、一度モデムの電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。

モデムによっては、数時間から1日程度電源を切る必要がある場合があります。

プロバイダーによっては、モデムの電源を切ることを禁止している場合があります。問題がないかプロバイダーに確認してください。

### インターネット接続に関する情報を集める

本機をインターネットに接続するための方法は、プロバイダーによって異なり、次の4種類に分けられます。

DHCP接続（DHCPサーバーを使ったインターネット接続）

Static接続（IPアドレス固定のインターネット接続）

PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）接続（端末型）

PPPoE接続（LAN型）

インターネット接続のためのアカウント情報を参照してください。インターネットの接続方法が、どれに該当するか分からない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

使用するインターネット接続に対応したアカウント情報をメモしてください

#### 1. DHCP接続（DHCPサーバーを使ったインターネット接続）







プロバイダーのサーバーが、IPアドレスを自動で割り当て接続します。デバイス名、ゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレス、ドメイン名の入力が必要になる場合があります。プロバイダーより送付されるアカウント情報を確認し、下記にメモしてください。

📎 デバイス名	_____	📎 ゲートウェイアドレス	_____
📎 DNS サーバー1アドレス	_____	📎 DNS サーバー2アドレス	_____
📎 ドメイン名	_____		

「デバイス名」は、プロバイダーによって「コンピュータ名入力欄に入力するID」と指示されている場合があります。








## 2. Static接続（IPアドレス固定のインターネット接続）

プロバイダーから、IPアドレスを固定に設定するように指示されている場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスの入力が必要になります。また、ドメイン名の入力も必要になる場合があります。プロバイダーより送付されるアカウント情報を確認し、必要事項をメモしてください。

 IP アドレス . . . . .	 サブネットマスク . . . . .
 ゲートウェイアドレス . . . . .	 DNS サーバー1アドレス . . . . .
 DNS サーバー2アドレス . . . . .	 ドメイン名








## 3. PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet) 接続（端末型）

ADSLを使ってインターネットに接続する一般的な接続方法です。フレッツ・ADSLなどで採用されています。端末型の場合は、1つのIPアドレスをプロバイダーから取得し、インターネットに接続します。ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。また、サービス名、アクセスコンセントレーター名、DNSサーバーアドレス、ドメイン名の入力も必要になる場合があります。プロバイダーより送付されるアカウント情報を確認し、必要事項をメモしてください。

 ユーザー名	 パスワード
 サービス名	 アクセスコンセントレーター名
 DNS サーバー1 アドレス . . . . .	 DNS サーバー2 アドレス . . . . .
 ドメイン名	

## 4. PPPoE接続（LAN型）

PPPoE接続で複数のIPアドレスがプロバイダーから与えられる場合の接続方法です。入力事項は、PPPoE接続（端末型）と同じですが、プロバイダーから割り当てられたIPアドレスのうちの1つをKX-HGW500本体のIPアドレスとして指定し、下記にメモしてください。

 ユーザー名	 パスワード
 サービス名	 アクセスコンセントレーター名
 DNS サーバー1 アドレス . . . . .	 DNS サーバー2 アドレス . . . . .
 ドメイン名	

KX-HGW500本体のIPアドレス

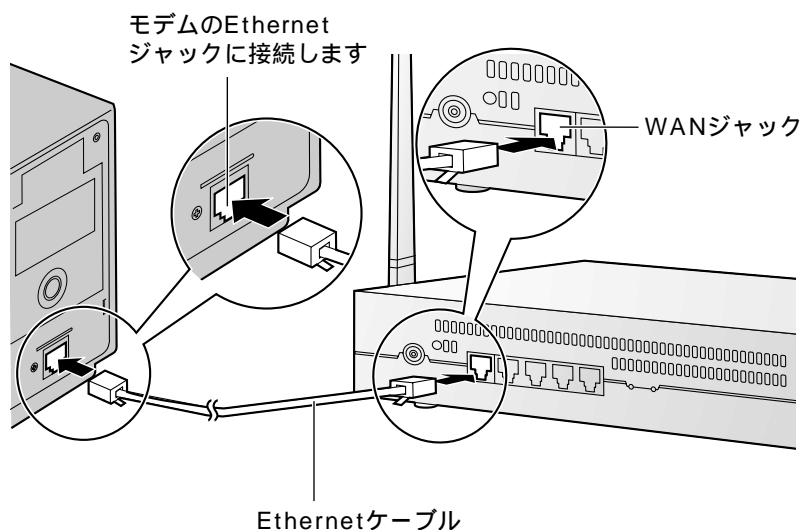
 IPアドレス . . . . .	 サブネットマスク . . . . .
------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 接続のしかた（接続タイプ1）

## モデムに接続する

CATV/ADSL/光ケーブルモデムを利用して本機をインターネットに接続する

- 1 付属のEthernetケーブルを、CATV/ADSL/光ケーブルモデムのEthernetジャックに差し込む
- 2 Ethernetケーブルのもう一方を、本機のWANジャックに差し込む



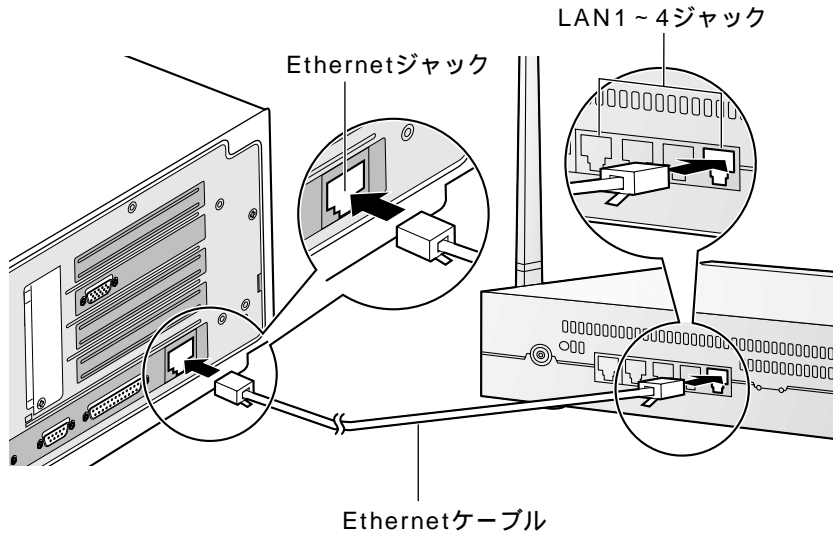
モデムによっては極性切替スイッチが付いていたり、Ethernetクロスケーブルを必要とする場合があります。モデムに付属の取扱説明書を参照のうえ、接続してください。

## パソコンを接続する

### パソコンと本機を接続する

接続する前に、パソコンのネットワーク設定をDHCP（IPアドレスを自動的に取得）に設定してください。  
（☞ 111ページ）

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 Ethernetケーブル（ユーザーサプライ）を、本機のLAN1～4ジャックのいずれかに差し込む
- 3 Ethernetケーブルのもう一方を、パソコンのEthernetジャックに差し込む



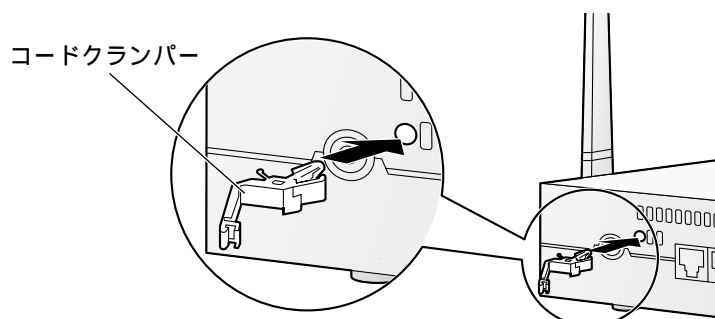
Ethernetジャックのストレート/クロスの極性に関係なく接続できます。本機が極性の切り替えを自動で行います。

# 接続のしかた（接続タイプ1）

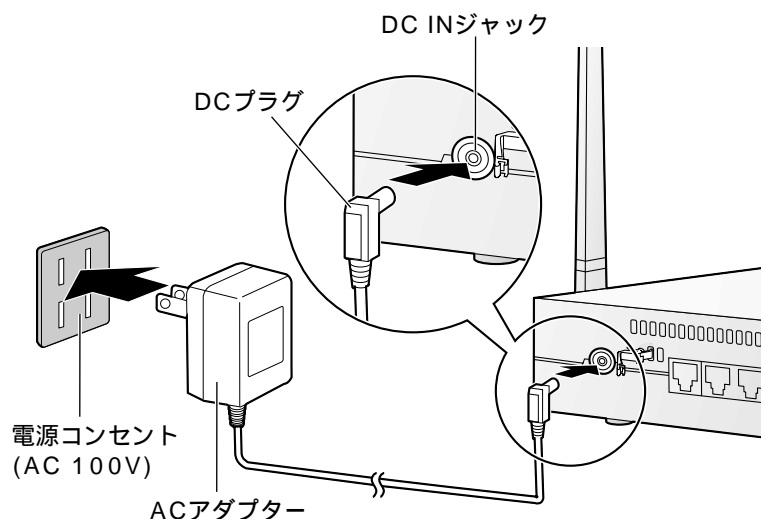
## 電源を入れる

本機とパソコンの接続が終わったら、次の手順に従って、電源を入れてください。  
はじめにパソコンの電源が入っていないことを確認してください。

- 1 コードクランパー（付属品）を本機に取りつける  
カチッと音がするまで挿入してください。



- 2 ACアダプターのDCプラグをDC INジャックに差し込み、ACアダプターを電源コンセントに差し込む



### 警告

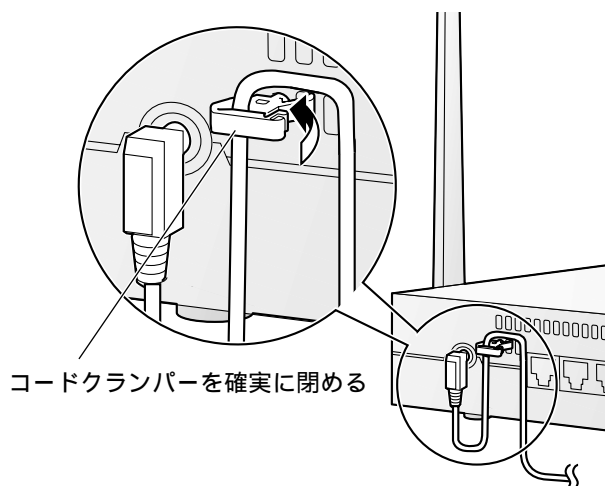
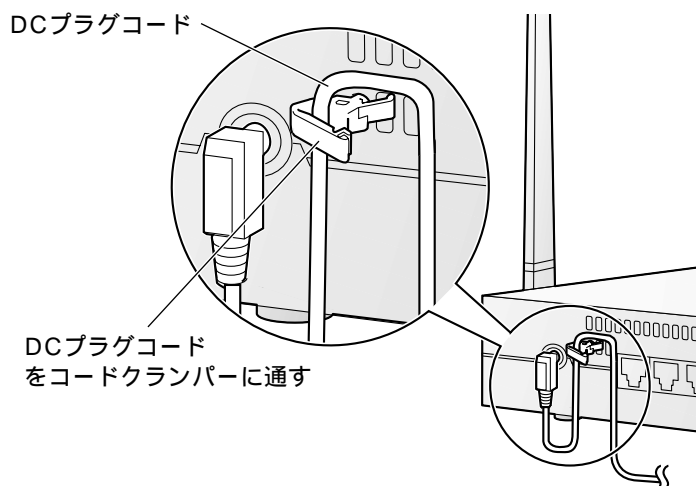


禁止

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+ - の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。

### 3 DCプラグコードをコードクランパーで固定する



### 4 本機に接続されているパソコンの電源を入れる



本機のPOWERインジケータが緑色に点灯していることと、WANインジケータおよび接続したLANジャックに対応したLANインジケータが緑色に点灯していることを確認してください。  
(P. 13ページ)

# 設定

## 本機にアクセスする

本機は、WWWサーバー機能を内蔵しています。カメラポータル画面にアクセスできれば、本機とパソコンのネットワーク接続は完了しています。次の手順に従って、パソコンを操作してください。

- 1 パソコンのネットワーク設定を確認する  
詳細は「パソコンのネットワーク設定を行う」  
(☞ 111ページ)を参照してください。
- 2 WWWブラウザを起動する
- 3 WWWブラウザのアドレスバーに  
http://192.168.0.254 (:ポート番号)を入力  
する  
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号  
が80の場合は、ポート番号を入力する必要はあり  
ません。)

カメラポータル画面が表示されます。



カメラポータル画面が表示されなかった場合 (詳細は121ページを参照してください。)

- アドレスバーにhttp://192.168.0.254 (:ポート番号)を正しく入力しているか、確認してください。
- 本機に接続されているLANジャックに対応したLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- 本機 パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 107ページ)



#### 4 設定画面 をクリックする

ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。

#### 5 パスワード入力欄に半角大文字でKX-HGWと入力する

「ユーザー名」を入力する必要はありません。



#### 6 OK をクリックする

基本設定画面が表示されます。



設定画面で、パスワードを変更することができます。詳細は、97ページを参照してください。設定画面についての詳細は、66ページの「設定画面について」を参照してください。

## インターネット接続の設定をする

本機をインターネットに接続するための方法は、次の4種類に分けられます。

DHCP接続 (DHCPサーバーを使ったインターネット接続) (下記参照)

Static接続 (IPアドレス固定のインターネット接続) (☞ 28ページ)

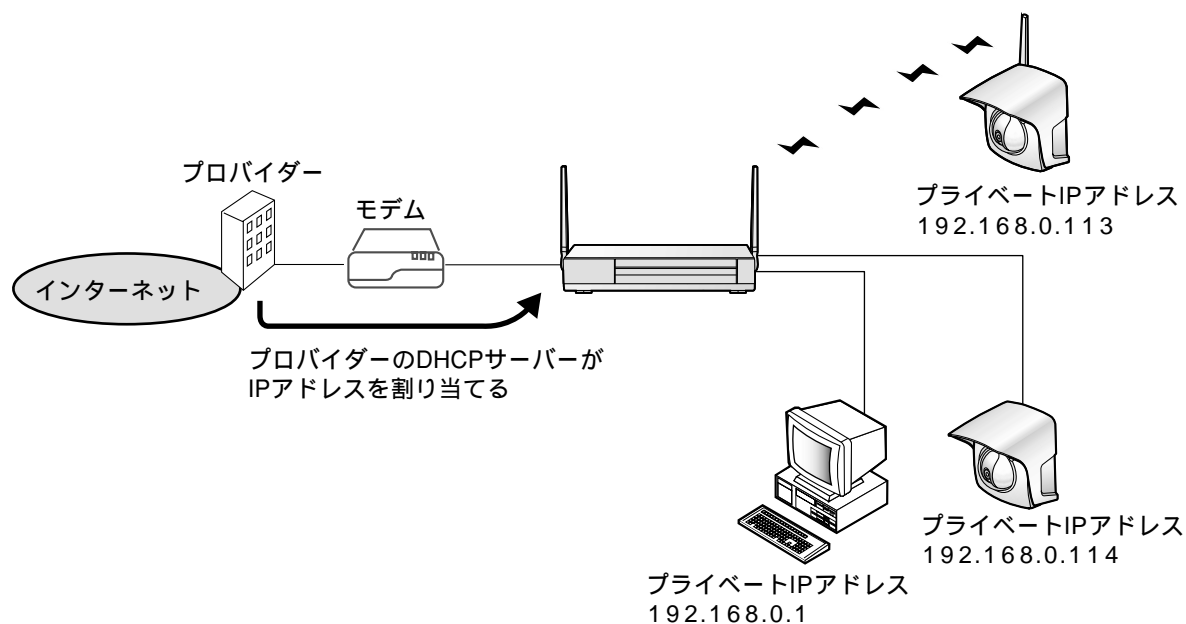
PPPoE接続 (端末型) (☞ 30 ページ)

PPPoE接続 (LAN型) (☞ 32ページ)

インターネット接続のためのアカウント情報を参照してください。インターネットの接続方法が、どれに該当するか分からない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

### DHCP接続 (DHCPサーバーを使ったインターネット接続) の場合

DHCP接続を行う場合は、次の手順に従ってください。



#### 1 **基本設定** を選ぶ

基本設定画面では、「DHCP接続」が標準設定です。  
現在の選択項目の横に「」が表示されます。

#### 2 「DHCP接続」を選ぶ



- 3 プロバイダーから指定がある場合は、「デバイス名」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1」、「DNSサーバー2」、「ドメイン名」を入力する

入力する値については、18ページを参考にしてください。

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

プロバイダーから指定がある時に入力

デバイス名	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS サーバー 1	<input type="text"/>
DNS サーバー 2	<input type="text"/>
ドメイン名	<input type="text"/>

**保存** **取り消し** **戻る**



「デバイス名」は、プロバイダーによって「コンピューター名入力欄に入力するID」と指示されている場合があります。



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

- 4 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする

新しく設定した内容が保存されます。

- 5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

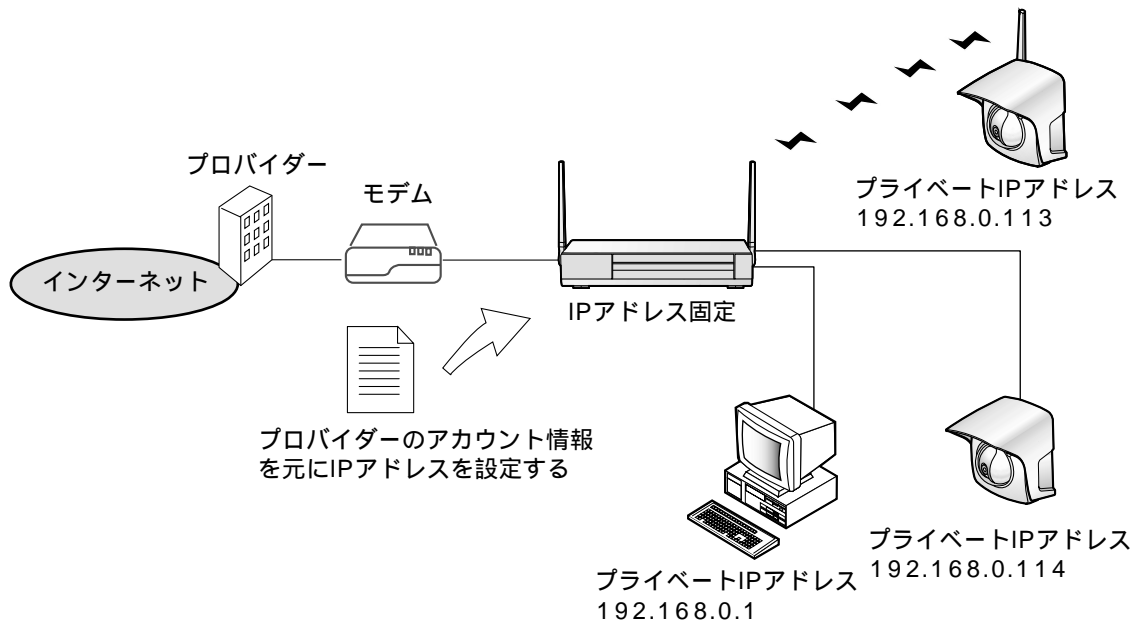
次にインターネットへの接続を確認してください。

(☞ 34ページ)

# 設定

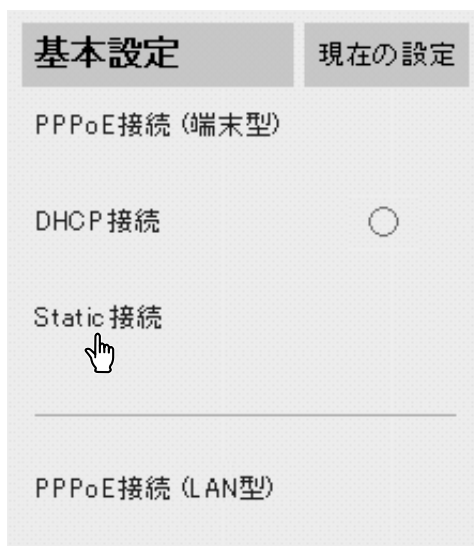
## Static接続（IPアドレス固定のインターネット接続）の場合

Static接続を行う場合は、次の手順に従ってください。



- 1 **基本設定** を選ぶ  
現在の選択項目の横に「」が表示されます。

- 2 「Static接続」を選ぶ



- 3 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1」、「DNSサーバー2」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は、「ドメイン名」を入力する

入力する値については、19ページを参考にしてください。

元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

基本設定	
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS サーバー 1	<input type="text"/>
DNS サーバー 2	<input type="text"/>

プロバイダーから指定がある時に入力	
ドメイン名	<input type="text"/>

**保存**   **取り消し**   **戻る**

- 4 設定値の入力を終わったら、「**保存**」をクリックする

新しく設定した内容が保存されます。

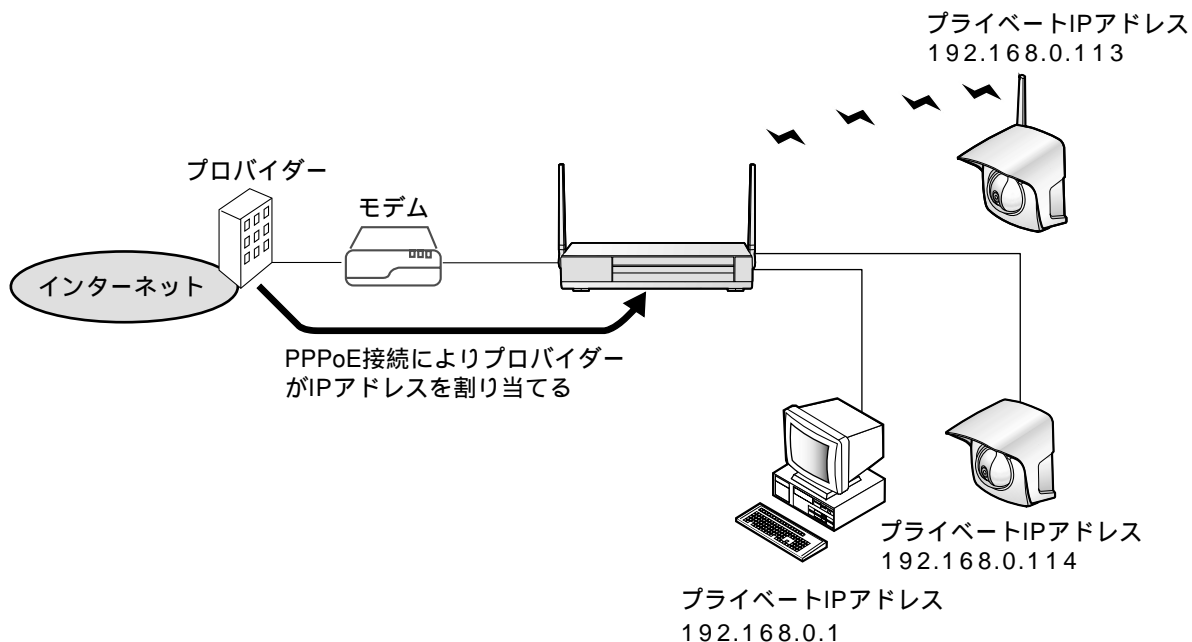
- 5 設定画面に「**再起動**」が表示されたら、それをクリックする

次にインターネットへの接続を確認してください。  
( 34ページ)

# 設定

## PPPoE接続（端末型）の場合

PPPoE接続（端末型）を行う場合は、次の手順に従ってください。



- 1 **基本設定** を選ぶ  
現在の選択項目の横に「」が表示されます。
- 2 「PPPoE接続（端末型）」を選ぶ



- 3 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は、「サービス名」、「アクセスコンセントレーター名」、「DNSサーバー1」、「DNSサーバー2」、「ドメイン名」を入力する

入力する値については、19ページを参考にしてください。

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

基本設定	
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
プロバイダーから指定がある時に入力	
サービス名	<input type="text"/>
アクセス コンセントレーター名	<input type="text"/>
DNS サーバー 1	<input type="text"/>
DNS サーバー 2	<input type="text"/>
ドメイン名	<input type="text"/>
<b>保存</b> <b>取り消し</b> <b>戻る</b>	

- 4 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする

新しく設定した内容が保存されます。

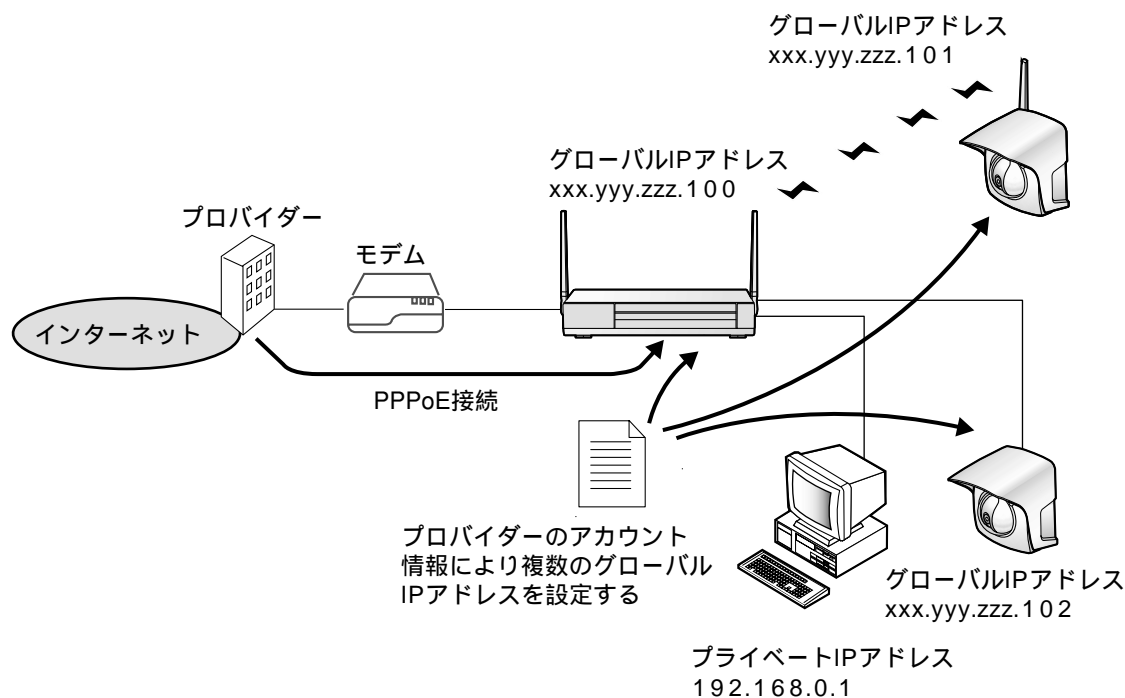
- 5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

次にインターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 34ページ)

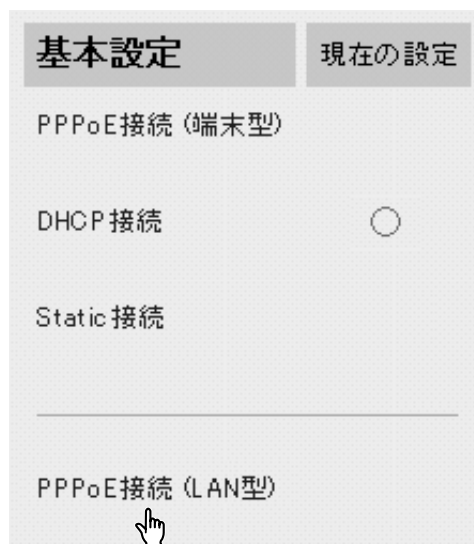
# 設定

## PPPoE接続（LAN型）の場合

PPPoE接続（LAN型）は、複数のグローバルIPアドレスをプロバイダーから提供される接続方式です。  
( 108ページ) PPPoE接続（LAN型）の設定は、次の手順に従ってください。



- 1 **基本設定** を選ぶ  
現在の選択項目の横に「」が表示されます。
- 2 「PPPoE接続（LAN型）」を選ぶ





- 3 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は、「サービス名」、「アクセスコンセントレーター名」、「DNSサーバー1」、「DNSサーバー2」、「ドメイン名」を入力する

またKX-HGW500本体の設定で「IPアドレス」、「サブネットマスク」を入力する

入力する値については、19ページを参考にしてください。

KX-HGW500本体のIPアドレスについて  
プロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレスの1つを「KX-HGW500本体のIPアドレス」として登録する必要があります。プロバイダーのアカウント情報を参照し、登録してください。  
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

基本設定	
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
プロバイダーから指定がある時に入力	
サービス名	<input type="text"/>
アクセス コンセントレーター名	<input type="text"/>
DNS サーバー 1	<input type="text"/>
DNS サーバー 2	<input type="text"/>
ドメイン名	<input type="text"/>
KX-HGW500本体のIPアドレス	
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
<b>保存</b> <b>取り消し</b> <b>戻る</b>	



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

- 4 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする

新しく設定した内容が保存されます。

- 5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

次にインターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 34ページ)

## インターネットへの接続を確認する

### 設定の確認

インターネットに接続するための設定が終わったら、パソコンからインターネット上のWWWサイトにアクセスしてください。WWWサイトが表示されたら、インターネットに接続したことになります。

- 1 WWWブラウザを起動する
- 2 WWWブラウザのアドレスバーにWWWサイトのアドレス（例 `http://www.panasonic.co.jp`）を入力する

WWWサイトが表示されます。

WWWサイトが表示されなかった場合（詳細は120ページを参照してください。）

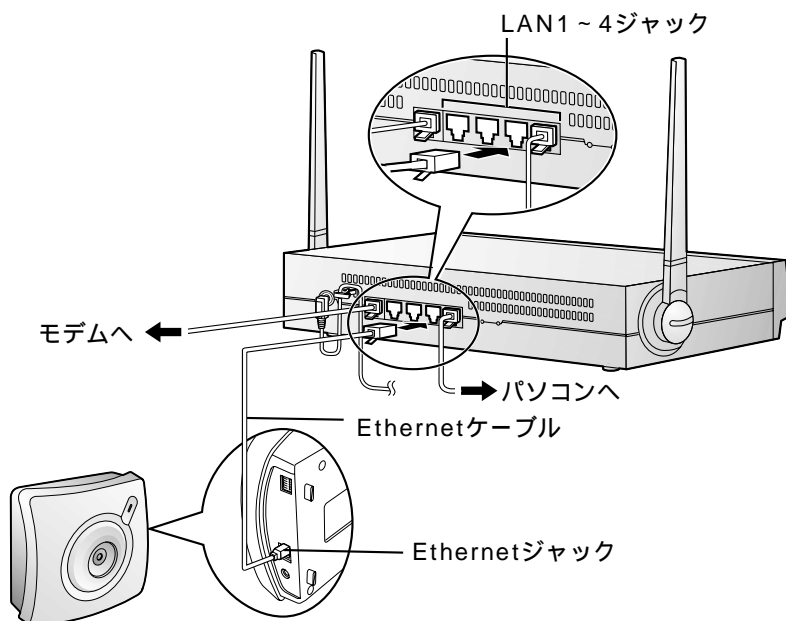
- WWWサイトのアドレスが、WWWブラウザのアドレスバーに正しく入力しているか、確認してください。
- 「本機にアクセスする」(☞ 24ページ)の操作ができるか、確認してください。
- 本機に接続されているEthernetジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- モデム 本機 パソコンの順で電源を入れたか確認してください。
- WWWサイトにアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 107ページ)

# ネットワークカメラの接続

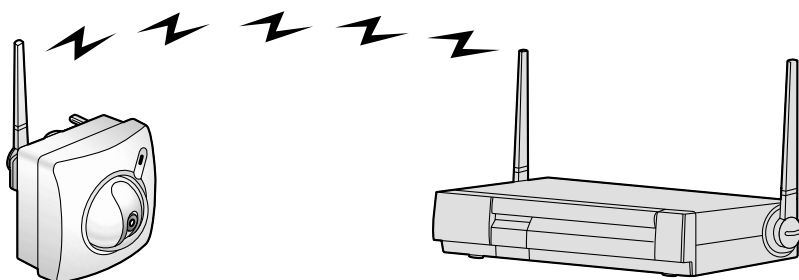
## 自動登録機能を使用してカメラを接続する

本機に別売のPanasonicネットワークカメラ (KX-HCMシリーズ) を接続し、カメラの電源を入れると、IPアドレスやサブネットマスクなどカメラのネットワーク設定を自動で行います。インターネット接続の設定を終了した後、接続したいカメラの電源が入っていないことを確認し、次の手順に従ってください。

- 1 本機とカメラをEthernetケーブルで接続する場合  
Ethernetケーブルを、LAN1～4ジャックのいずれかに差し込み、Ethernetケーブルの  
もう一方を、ネットワークカメラのEthernetジャックに差し込む



- 本機とカメラを無線LANで接続する場合  
ネットワークカメラを本機の横に置く



Ethernetジャックのストレート/クロスの極性に関係なく接続できます。本機が極性の切り替えを自動で行います。

# ネットワークカメラの接続

- 2 ネットワークカメラの電源を入れる
- 3 カメラのCLEAR SETTINGボタンを押す

カメラが起動した後、本機とカメラが通信を行い、自動的にネットワークの設定を行います。その後、カメラの画像がカメラポータル画面に登録されます。

<設定される項目>

KX-HGW500	静的IPマスカレード（ポートフォワーディング） カメラ登録 カメラポータル配置
ネットワークカメラ	ポート番号 IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス

カメラの自動登録機能では、下記順序で各項目を割り当てます。

カメラ名	ポート番号	IPアドレス
Cam01	60001	192.168.0.113
Cam02	60002	192.168.0.114
Cam03	60003	192.168.0.115
⋮	⋮	⋮
Cam16	60016	192.168.0.128

自動登録機能を使わずにカメラを接続する

- すべてのネットワークカメラを手動で登録する場合は、「カメラの追加登録」(71ページ)を参照のうえ、設定してください。
- 特定のネットワークカメラを手動で登録する場合、カメラのネットワーク設定で、「1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックを外してください。詳細はネットワークカメラ取扱説明書の「ネットワーク設定」を参照してください。

# ネットワークカメラの画像を見る

## LAN側からネットワークカメラの画像を見る

カメラポータル画面へアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。

- 1 LAN側に接続されているパソコンからWWWブラウザのアドレスバーに `http://192.168.0.254` (: ポート番号) を入力する  
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)  
カメラポータル画面が表示されます。

サムネイル画像



- 2 アクセスしたいカメラのサムネイル画像をクリックする  
新しくWWWブラウザが起動し、カメラ画像が表示されます。



カメラポータル画面内のサムネイル画像が表示されなかった場合

- 本機に接続されているEthernetジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。( 107ページ)
- モデム 本機 パソコンの順で電源を入れたか確認してください。

# ネットワークカメラの画像を見る

## インターネット側からネットワークカメラの画像を見る

WAN側からカメラポータル画面へアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。

- 1 WAN側に接続されているパソコンからWWWブラウザのアドレスバーにWAN側のIPアドレス（：ポート番号）を入力する  
（ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）  
カメラポータル画面が表示されます。  
IPアドレスは設定画面のステータスで確認することができます。（☞103ページ）



- 2 アクセスしたいカメラのサムネイル画像をクリックする  
新しくWWWブラウザが起動し、カメラ画像が表示されます。



DHCP接続またはPPPoE接続でご使用の場合は、IPアドレスが随時変更されますので、「みえますねっと」サービスのご利用をお勧めします。詳細は39ページを参照してください。

カメラポータル画面が表示されなかった場合（詳細は123ページを参照してください。）

- ・アドレスバーにWAN側のIPアドレス（：ポート番号）が正しく入力されているか、確認してください。
- ・WWWサイトにアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞107ページ）

## みえますねっとに登録してネットワークカメラの画像を見る

インターネット側からネットワークカメラの画像を見るには、DDNS機能（「みえますねっと」サービス）を利用します。「みえますねっと」サービスからのURLを取得して、カメラポータル画面にアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。DDNS機能を利用してインターネット側からカメラの画像を見るには、次の手順に従ってください。

- 1 設定画面の **オプション設定** をクリックする
- 2 **DDNS** をクリックする
- 3 「使用する」を選ぶ
- 4 DDNS設定のE-mailアドレス入力欄に登録用のE-mailアドレスを入力する



連絡先E-mailアドレスを入力すると「みえますねっと」サーバーから登録のご案内メールが送付されます。

DDNS設定

使用する  使用しない

E-mailアドレス

取得URL

DDNSサービスへのリンク

- 5 **保存** をクリックする
- 6 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

# ネットワークカメラの画像を見る

## 7 オプション設定 の DDNS をクリックする

「取得URL」に仮登録用のURLが、「DDNSサービスへのリンク」に申し込み先のURLが、それぞれ表示されます。



「取得URL」、「DDNSサービスへのリンク」が表示されるまで数十分かかることがあります。

### DDNS設定

使用する  使用しない

E-mailアドレス

\*\*\*\*\*

取得URL

http://cam\*\*\*\*\*.miemasu.net

DDNSサービスへのリンク

https://www.comm-9.com/registration/\*\*\*\*\*

## 8 「DDNSサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックする

## 9 「みえますねっと」の登録手順に従って、本機を「みえますねっと」に登録する

## 10 インターネットに接続可能なパソコンのWWWブラウザに、「取得URL」に表示されているURLを入力する

(例 : http://camXXXX.miemasu.net)

カメラポータル画面が表示されます。



「みえますねっと」に仮登録されたURLは1ヵ月間のみ有効です。「みえますねっと」サービスを続けて利用するには本登録（有料）が必要になります。

Static接続にてインターネット接続している場合は、本機の「基本設定」にて登録したIPアドレスを使用してカメラポータル画面にアクセスできるため、「みえますねっと」サービスへの登録は必要ありません。



# 社内ネットワークで使う

接続のしかた(接続タイプ2) .....	42
接続をするまえに .....	42
Ethernetハブに接続する .....	42
パソコンを接続する .....	43
電源を入れる .....	44
設定 .....	46
本機にアクセスする .....	46
社内ネットワークへの接続の設定をする .....	48
社内ネットワークへの接続を確認する .....	50
ネットワークカメラの接続 .....	51
自動登録機能を使用してカメラを接続する .....	51
ネットワークカメラの画像を見る .....	53
LAN側からネットワークカメラの画像を見る .....	53
WAN側からネットワークカメラの画像を見る .....	54

# 接続のしかた（接続タイプ2）

## 接続をするまえに

設置する前に、以下のものがそろっていることをご確認ください。

ネットワークカード（Ethernet、あるいは、IEEE802.11b無線LANカード）がインストールされているWindowsパソコン

社内ネットワークに接続されているEthernetハブ

社内ネットワークに接続するためのネットワーク情報（ネットワーク管理者にご確認ください。）

社内ネットワークへ接続するための情報を集める

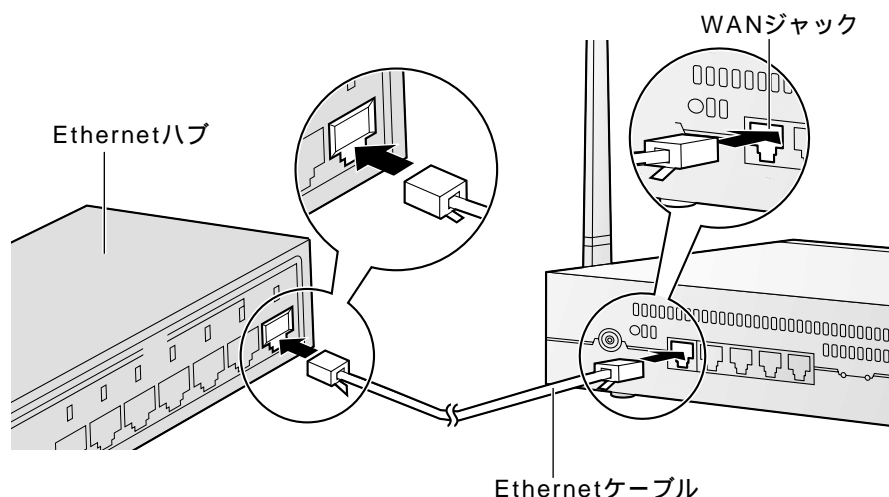
本機を社内ネットワークへ接続するには固定のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスの入力が必要になります。また、ドメイン名の入力も必要になる場合があります。ネットワーク管理者に確認し、必要事項をメモしてください。

📎 IP アドレス	📎 サブネットマスク
📎 ゲートウェイアドレス	📎 DNS サーバー1アドレス
📎 DNS サーバー2アドレス	📎 ドメイン名

## Ethernetハブに接続する

社内ネットワークに接続されているEthernetハブと本機を接続する

- 1 付属のEthernetケーブルを、本機のWANジャックに差し込む
- 2 Ethernetケーブルのもう一方を、Ethernetハブの任意のジャックに差し込む



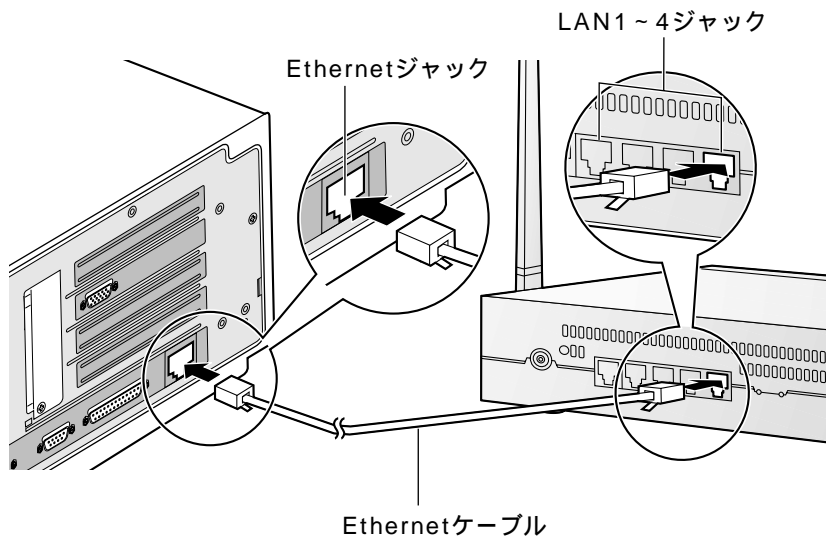
Ethernetハブによっては極性切替スイッチが付いていたり、Ethernetクロスケーブルを必要とする機種があります。Ethernetハブに付属の取扱説明書を参照のうえ、接続してください。

## パソコンを接続する

### パソコンと本機を接続する

接続する前に、パソコンのネットワーク設定をあらかじめDHCP（IPアドレスを自動的に取得）に設定してください。（※ 111ページ）

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 Ethernetケーブル（ユーザーサプライ）を本機のLAN1～4ジャックのいずれかに差し込む
- 3 Ethernetケーブルのもう一方を、パソコンのEthernetジャックに差し込む



社内ネットワークで使う

接続のしかた（接続タイプ2）



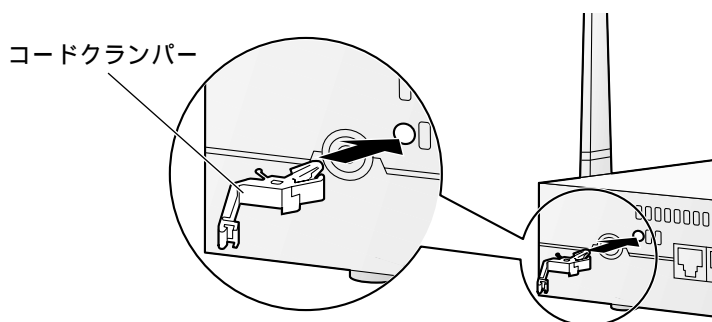
Ethernetジャックのストレート/クロスの極性に関係なく接続できます。本機が極性の切り替えを自動で行います。

## 接続のしかた（接続タイプ2）

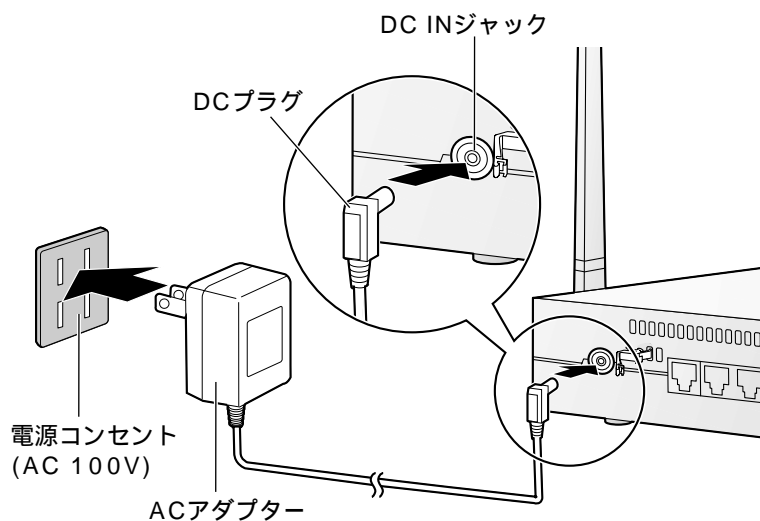
### 電源を入れる

本機とパソコンの接続が終わったら、次の手順に従って、電源を入れてください。  
はじめにパソコンの電源が入っていないことを確認してください。

- 1 コードクランパー（付属品）を本機に取りつける  
カチッと音がするまで挿入してください。



- 2 ACアダプターのDCプラグをDC INジャックに差し込み、ACアダプターを電源コンセントに差し込む



## 警告

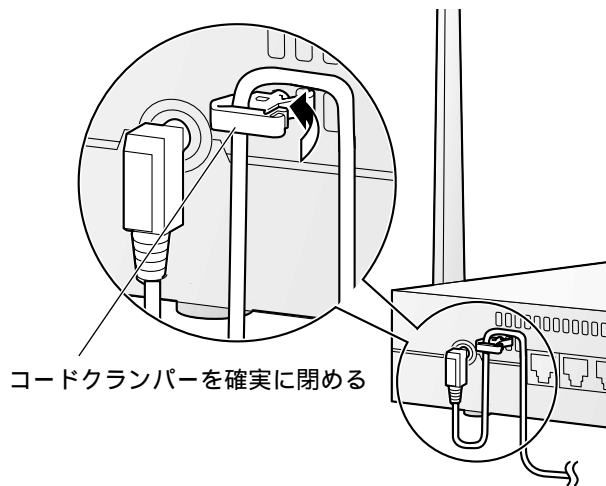
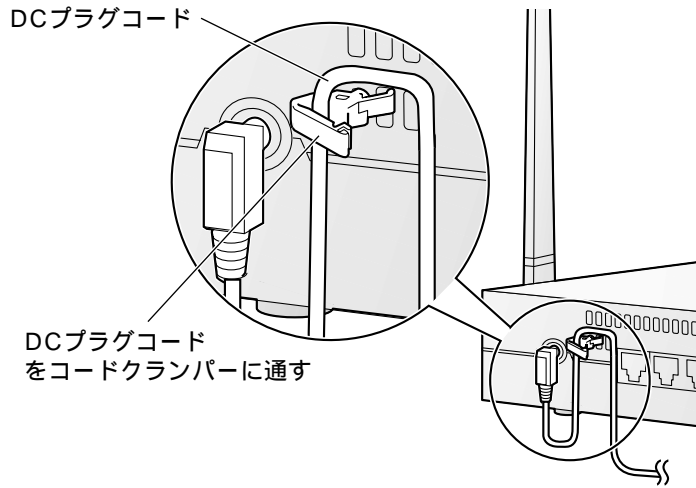


禁止

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+ - の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。

### 3 DCプラグコードをコードクランパーで固定する



### 4 本機に接続されているパソコンの電源を入れる



本機のPOWERインジケータが緑色に点灯していることと、WANインジケータおよび接続したLANジャックに対応したLANインジケータが緑色に点灯していることを確認してください。  
(☞ 13ページ)

# 設定

## 本機にアクセスする

本機は、WWWサーバー機能を内蔵しています。カメラポータル画面にアクセスできれば、本機とパソコンのネットワーク接続は完了しています。次の手順に従って、パソコンを操作してください。

- 1 WWWブラウザを起動する
- 2 WWWブラウザのアドレスバーに  
http://192.168.0.254 ( : ポート番号) を  
入力する  
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート  
番号が80の場合は、ポート番号を入力する必  
要はありません。)

カメラポータル画面が表示されます。



カメラポータル画面が表示されなかった場合 (詳細は121ページを参照してください。)

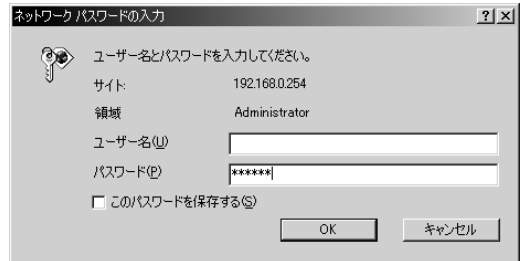
- 本機に接続されているLANジャックに対応したLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- 本機 パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。( 107ページ)

### 3 設定画面 をクリックする

ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。

### 4 パスワード入力欄に半角大文字でKX-HGWと入力する

「ユーザー名」を入力する必要はありません。



### 5 OK をクリックする

基本設定画面が表示されます。

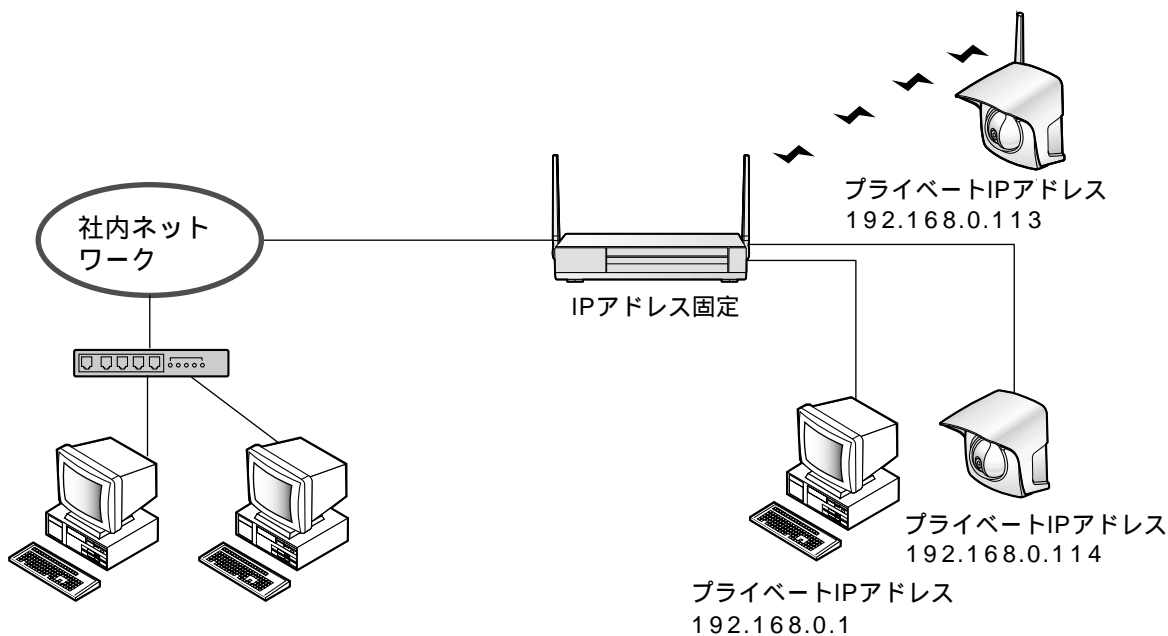


設定画面で、パスワードを変更することができます。詳細は、97ページを参照してください。  
設定画面についての詳細は、66ページの「設定画面について」を参照してください。

# 設定

## 社内ネットワークへの接続の設定をする

本機を社内ネットワークに接続するにはStatic接続（IPアドレス固定の接続）にて設定します。  
IPアドレスやゲートウェイアドレスなどの値を入力してください。



- 1 **基本設定** を選ぶ  
現在の選択項目の横に「」が表示されます。

- 2 「Static接続」を選ぶ





- 3 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1」、「DNSサーバー2」を入力し、ネットワーク管理者から指定がある場合は「ドメイン名」を入力する

入力する値については、42ページを参考にしてください。

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

The screenshot shows a configuration window with a grey header '基本設定' (Basic Settings). Below the header are five input fields: 'IPアドレス', 'サブネットマスク', 'ゲートウェイ', 'DNS サーバー 1', and 'DNS サーバー 2'. Below these is a section header 'プロバイダーから指定がある時に入力' (Input when specified by provider) with a single input field for 'ドメイン名'. At the bottom right are three buttons: '保存' (Save), '取り消し' (Cancel), and '戻る' (Back).



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

- 4 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする

新しく設定した内容が保存されます。

- 5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

次に社内ネットワークへの接続を確認してください。(☞ 50ページ)

## 社内ネットワークへの接続を確認する

### 設定の確認

社内ネットワークに接続するための設定が終わったら、社内ネットワークに接続しているパソコンからカメラポータル画面にアクセスしてください。カメラポータル画面が表示されたら、本機は社内ネットワークに接続したことになります。

- 1 社内ネットワークに接続しているパソコンのWWWブラウザを起動する
- 2 WWWブラウザのアドレスバーに「基本設定」で登録したIPアドレス（:ポート番号）（☞ 42ページ）を入力する（ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）

カメラポータル画面が表示されます。

カメラポータル画面が表示されなかった場合（詳細は123ページを参照してください。）

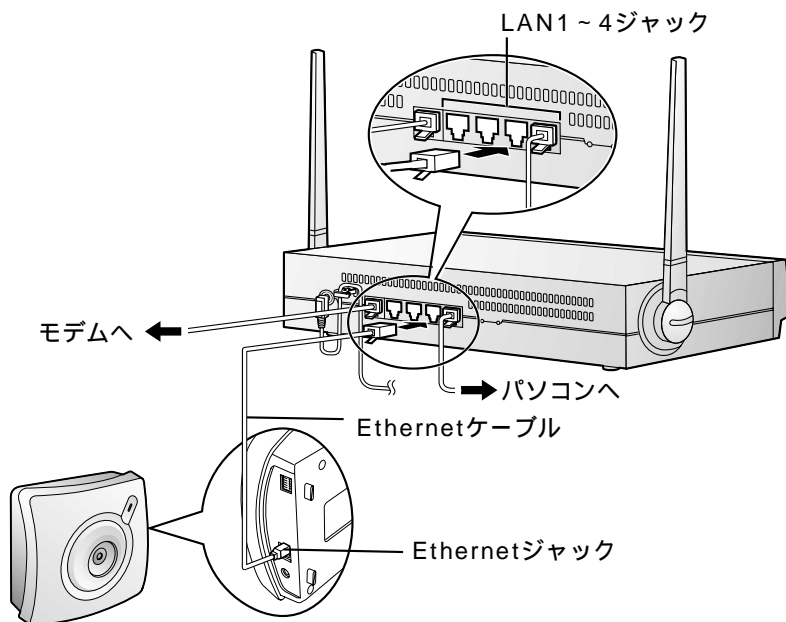
- アドレスバーに「基本設定」で登録したIPアドレス（:ポート番号）を正しく入力しているか、確認してください。
- 本機とEthernetハブとの接続を確認してください。
- 本機のWANインジケータとWANジャックに接続したEthernetハブのインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞ 107ページ）

# ネットワークカメラの接続

## 自動登録機能を使用してカメラを接続する

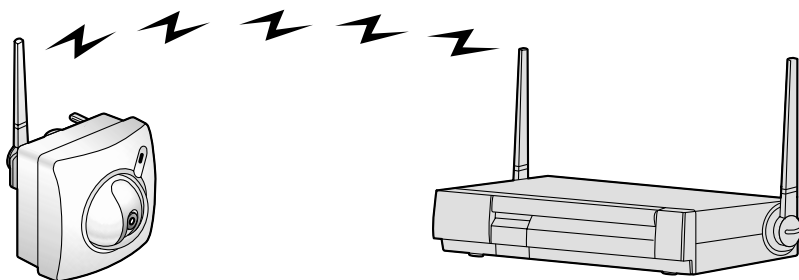
本機に別売のPanasonicネットワークカメラ (KX-HCMシリーズ) を接続し、カメラの電源を入れるとIPアドレスやサブネットマスクなどカメラのネットワーク設定を自動で行います。社内ネットワークへの接続の設定を終了した後、接続したいカメラの電源が入っていないことを確認し、次の手順に従ってください。

- 1 本機とカメラをEthernetケーブルで接続する場合  
Ethernetケーブルを、LAN1～4ジャックのいずれかに差し込み、Ethernetケーブルの  
もう一方を、ネットワークカメラのEthernetジャックに差し込む



本機とカメラを無線LANで接続する場合

ネットワークカメラを本機の横に置く



Ethernetジャックのストレート/クロスの極性に関係なく接続できます。本機が極性の切り替えを自動で行います。

# ネットワークカメラの接続

- 2 ネットワークカメラの電源を入れる
- 3 カメラのCLEAR SETTINGボタンを押す

カメラが起動した後、本機とカメラが通信を行い、自動的にネットワークの設定を行います。その後、カメラの画像がカメラポータル画面に登録されます。

<設定される項目>

KX-HGW500	静的IPマスカレード（ポートフォワーディング） カメラ登録 カメラポータル配置
ネットワークカメラ	ポート番号 IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス

カメラの自動登録機能では、下記順序で各項目を割り当てます。

カメラ名	ポート番号	IPアドレス
Cam01	60001	192.168.0.113
Cam02	60002	192.168.0.114
Cam03	60003	192.168.0.115
⋮	⋮	⋮
Cam16	60016	192.168.0.128

自動登録機能を使わずにカメラを接続する

- すべてのネットワークカメラを手動で登録する場合は、「カメラの追加登録」(71ページ)を参照のうえ、設定してください。
- 特定のネットワークカメラを手動で登録する場合、カメラのネットワーク設定で、「1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックを外してください。詳細はネットワークカメラ取扱説明書の「ネットワーク設定」を参照してください。

# ネットワークカメラの画像を見る

## LAN側からネットワークカメラの画像を見る

カメラポータル画面へアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。

- 1 LAN側に接続されているパソコンからWWWブラウザのアドレスバーに `http://192.168.0.254` (: ポート番号) を入力する  
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)  
カメラポータル画面が表示されます。

サムネイル画像



- 2 アクセスしたいカメラのサムネイル画像をクリックする  
新しくWWWブラウザが起動し、カメラ画像が表示されます。



カメラポータル画面内のサムネイル画像が表示されなかった場合

- 本機に接続しているEthernetジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(P. 107ページ)
- モデム 本機 パソコンの順で電源を入れたか確認してください。

# ネットワークカメラの画像を見る

## WAN側からネットワークカメラの画像を見る

WAN側からカメラポータル画面へアクセスし、ネットワークカメラの画像を見ることができます。

- 1 WAN側に接続されているパソコンからWWWブラウザのアドレスバーに「基本設定」で登録したIPアドレス（：ポート番号）（☞ 42ページ）を入力する  
（ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）  
カメラポータル画面が表示されます。



- 2 アクセスしたいカメラのサムネイル画像をクリックする  
新しくWWWブラウザが起動し、カメラ画像が表示されます。



カメラポータル画面が表示されなかった場合（詳細は123ページを参照してください。）

- アドレスバーに「基本設定」で登録したIPアドレス（：ポート番号）を正しく入力しているか、確認してください。
- 本機とEthernetハブとの接続を確認してください。
- 本機のWANインジケータとWANジャックに接続されたEthernetハブのインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、WWWブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞ 107ページ）

# 録画再生機能

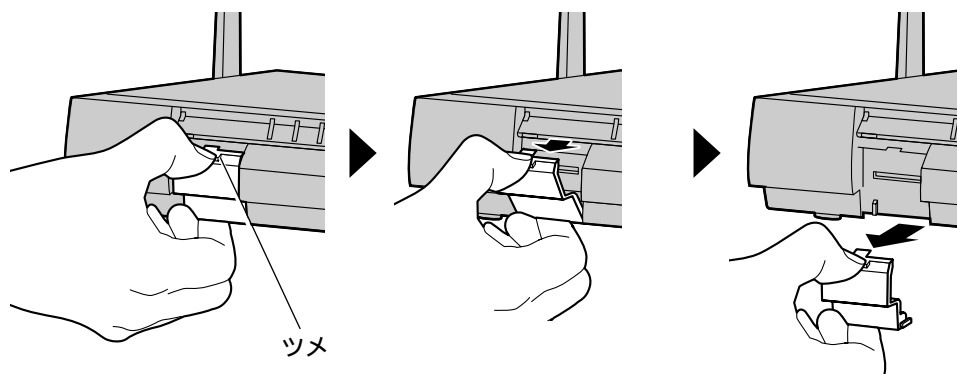
録画/再生	56
録画の準備をする	56
モニター画面	58
録画	59
録画設定	59
タイマー録画設定	60
再生	62
SDメモリーカード	64
ファイル削除	64
フォーマット	64
ステータス	64

# 録画/再生

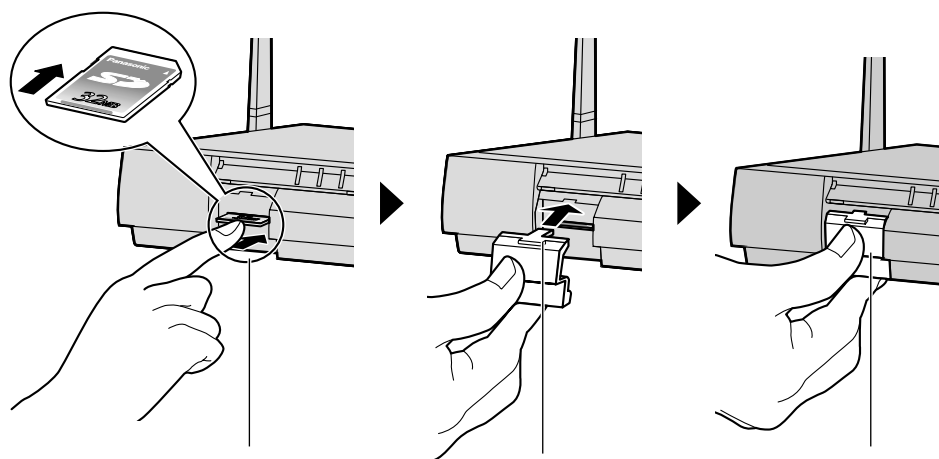
録画再生機能では、別売のSDメモリーカードを使用して、本機に接続しているネットワークカメラの画像を録画、再生することができます。録画できるのは、任意のカメラ1台のみです。同時に複数のカメラを録画することはできません。

## 録画の準備をする

- 1 SDメモリーカードスロットのカバーを、ツメの部分を押して開ける



- 2 SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを差し込み、カバーを閉める



カチッと音がするまで差し込んでください。取り出すときは、SDメモリーカードを軽く押してください。

ツメの部分を合わせる。

カチッと音がするまで押す。



SDメモリーカードを取り出すときは、録画、または再生を停止してください。



### 3 本機にアクセス可能なパソコンからカメラポータル画面を表示する

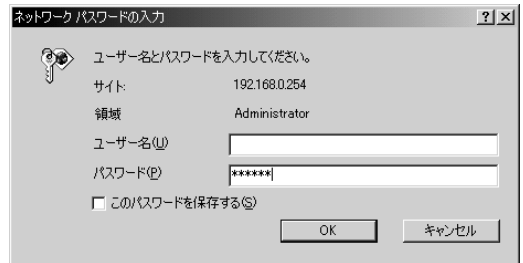
カメラポータル画面の表示方法については「ネットワークカメラの画像を見る」(☞ 37、53ページ)を参照してください。

### 4 録画/再生 をクリックする

ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。

### 5 パスワード入力欄に半角大文字でKX-HGWと入力する

「ユーザー名」を入力する必要はありません。



手順5の「ユーザー名」、「パスワード」は標準設定値です。設定画面で、「ユーザー名」、「パスワード」を変更することができます。詳細は、97ページを参照してください。

### 6 OK をクリックする

モニター画面 (☞ 58ページ) が表示されます。



SDメモリーカードのフォーマットについては、64ページを参照してください。

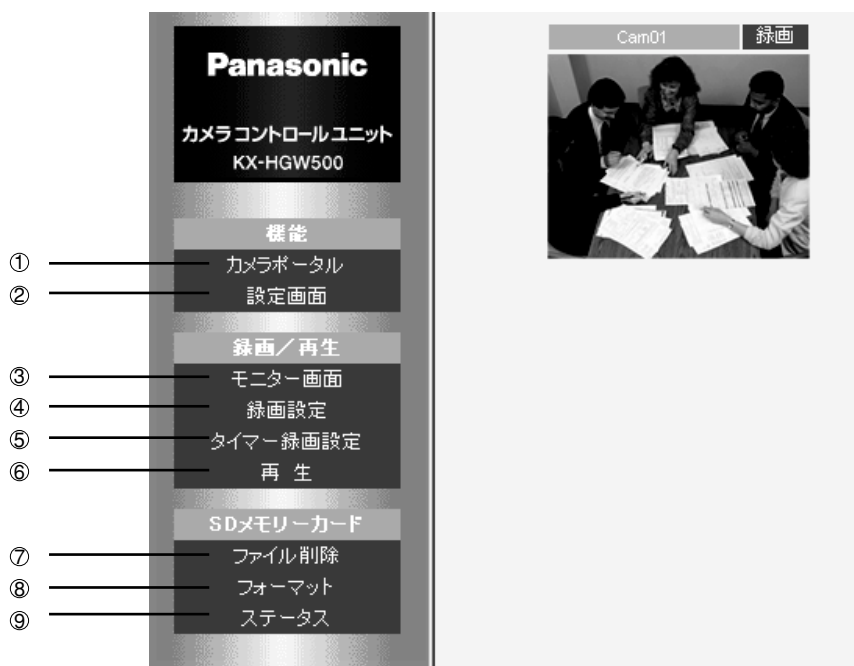
## モニター画面

カメラポータル画面、または、設定画面から **録画/再生** をクリックするとモニター画面が表示されます。モニター画面では、カメラポータルに登録されたカメラ画像を一覧表示し、録画することができます。



録画再生機能については、一人のユーザーでの操作を基本としています。複数ユーザーによる操作については、動作保障できません。

### 1 **モニター画面** をクリックする



#### 【機能】

- ① カメラポータル： カメラポータル画面を表示します。
- ② 設定画面： 設定画面を表示します。

#### 【録画/再生】

- ③ モニター画面： 本機に登録されたカメラ画像を録画することができます。
- ④ 録画設定： 録画するカメラの解像度や画質、フレームレートの設定を行います。
- ⑤ タイマー録画設定： タイマー録画するカメラや、曜日、時刻の設定を行います。
- ⑥ 再生： 録画したカメラ画像を再生します。

#### 【SDメモリーカード】

- ⑦ ファイル削除： SDメモリーカード内のファイルを削除します。
- ⑧ フォーマット： SDメモリーカードを初期化します。
- ⑨ ステータス： SDメモリーカードの使用状況を見ることができます。

## 録画

モニター画面に表示されているカメラ画像を録画することができます。



ネットワークカメラの設定画面に管理者設定のパスワードを登録している場合、カメラ画像の録画ができません。カメラ画像を録画するには「カメラ設定」(☞ 70ページ)にて録画するカメラと同じ「ユーザー名」、「パスワード」を登録する必要があります。



### 1 録画 をクリックする

録画を終了するときは 停止 をクリックしてください。

## 録画設定

録画設定画面では、録画するカメラの解像度や画質、フレームレートの設定を行います。

### 1 録画設定 をクリックする

### 2 「解像度」、「画質」、「フレームレート」の各設定項目をドロップダウンリストから選ぶ

### 3 保存 をクリックする

「設定しました」と表示されます。

#### 解像度・画質・フレームレートの設定

解像度:

画質:

フレームレート:

解像度	録画するときの解像度を設定します。「640×480」、「320×240」、「160×120」の中から選んでください。
画質	録画するときの画質を設定します。「動き優先」、「標準」、「画質優先」の中から選んでください。
フレームレート	録画するときのフレームレートを設定します。 「連続」 - 動画を録画します。 「静止画」 - 静止画を録画します。「60枚/分」から「1枚/時」の録画設定ができます。フレームレートの設定については、「録画可能な時間について」(☞ 119ページ)を参考に設定してください。

ネットワークの状況によっては、フレームレートの設定通りに録画できないことがあります。

## タイマー録画設定

タイマー録画設定画面では、あらかじめ録画するカメラ名、曜日、時刻を設定することができます。



タイマー録画設定は、1台のカメラのみ有効です。



タイマー録画設定の変更を行う場合は、まえの設定を「無効」にして保存した後、新しいタイマー録画設定を行ってください。

時刻はネットワークカメラに設定されている時刻が使用されます。あらかじめカメラに設定されている時刻を確認してください。

1 **タイマー録画設定** をクリックする

2 「録画するカメラの設定」でタイマー録画するカメラをドロップダウンリストから選ぶカメラが選択されると、カメラ画像が表示されます。(録画設定の解像度とは異なります。)

3 「タイマー設定1」、「タイマー設定2」で設定したいタイマーを「有効」にする

4 「録画曜日」を選択する(複数可)  
録画開始時刻と終了時刻で日付が変わるときは、開始時刻の曜日を設定してください。

5 「開始時刻」と「終了時刻」をそれぞれ設定する

6 **保存** をクリックする

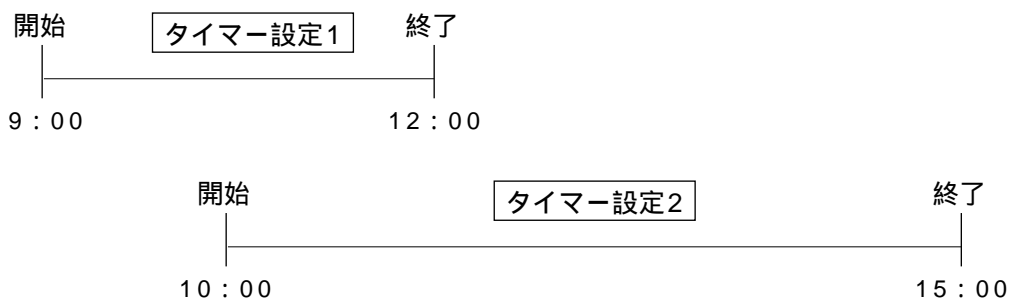
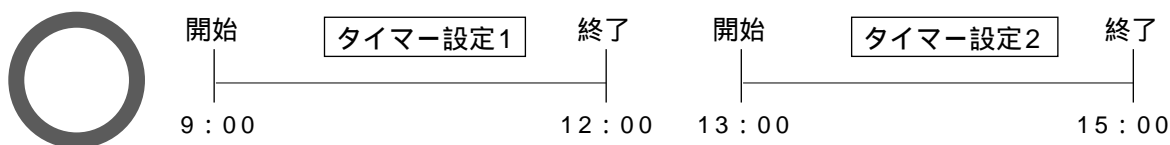
「設定しました」という画面が表示されています。

タイマー録画設定を有効にすると、タイマー録画設定されたカメラは「予約中」と表示され、他のカメラは「タイマ」と表示されます。

この場合、モニター画面からの録画はできなくなります。



タイマー録画を設定するときは、タイマー設定1とタイマー設定2の設定日時が重ならないようにしてください。タイマー設定が重なると、録画できません。



## 再生

再生画面では、録画したカメラ画像を再生します。

- 1 **再生** をクリックする
- 2 「ファイル選択」で各ドロップダウンリストから再生するファイルを選ぶ  
ファイルが選択されると、録画された画像と日時、カメラ名、解像度、画質、フレームレートが表示されます。
- 3 各操作ボタンで録画画像を再生する  
操作ボタンについては、下記の表を参照してください。



次頁 >	次ページの画像を表示します。
10 >	10ページ先の画像を表示します。
100 >	100ページ先の画像を表示します。
連続再生	画像を連続して再生します。
< 前頁	前ページの画像を表示します。
< 10	10ページ前の画像を表示します。
< 100	100ページ前の画像を表示します。



録画再生機能については、一人のユーザーでの操作を基本としています。複数ユーザーによる操作については、動作保障できません。

再生画像は、録画設定したときの解像度で再生されます。

画像の連続再生スピードは、録画設定されたフレームレートとは異なります。

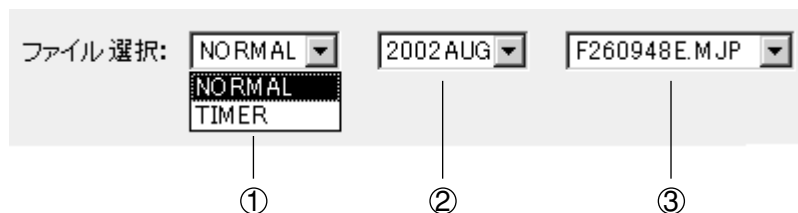
録画中、およびタイマー録画設定中は、ファイルの再生ができません。

録画枚数以上のボタンをクリックすると、最初の画像または、最後の画像が表示されます。

静止画の再生時には、録画時刻が表示されます。

録画中に録画対象となるカメラの時刻が変更された場合、表示時刻が正常に表示されないことがあります。

## ファイル選択について

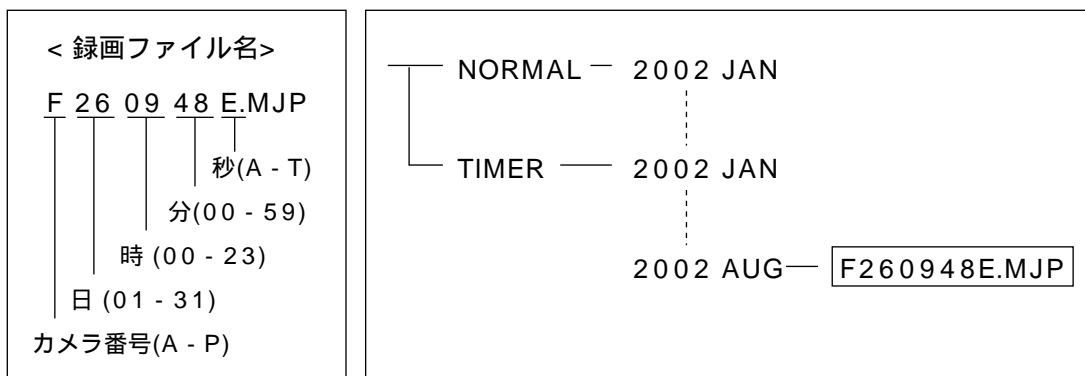


①	録画モードを選択します。 NORMAL : モニター画面で録画したファイルが選択されます。 TIMER : タイマー録画で録画したファイルが選択されます。
②	録画した年月を選択します。
③	録画ファイルを選択します。

### < 録画ファイルと保存場所について >

録画ファイル名は、カメラ登録設定とファイル作成日時を元に、8文字のファイル名を作成します。ファイル名の最初の文字は、カメラ番号をA～Pで表し、その後の7文字はファイルの作成日時を表します。作成されたファイルの保存先は録画モードにより異なります。モニター画面から録画した場合は、「NORMAL」の年月フォルダへ、タイマー録画で録画した場合は「TIMER」の年月フォルダに保存されます。

例：Cam06のカメラを2002年8月26日9時48分14秒からタイマー録画した場合は、「TIMER」「2002AUG」フォルダに「F260948E.MJP」のファイル名を作成します。



秒情報は3秒刻みにアルファベットで表します。

# SDメモリーカード

## ファイル削除

SDメモリーカード内のファイルを削除します。

- 1 **ファイル削除** をクリックする



録画中、タイマー録画設定中はファイルを削除できません。録画を解除してからファイルを削除してください。

- 2 「ファイル選択」で各ドロップダウンリストから削除するファイルを選ぶ

ファイルが選択されると、画像とファイル情報が表示され、下に削除ボタンが表示されます。

- 3 **削除** をクリックする



## フォーマット

SDメモリーカードをフォーマットします。

- 1 **フォーマット** をクリックする

SDメモリーカードを「フォーマット」します。

SDフォーマット

- 2 **SDフォーマット** をクリックする

右の画面が表示されます。**はい** をクリックするとフォーマットされます。

### 確認

フォーマットをしますか？  
フォーマットするとSDメモリーカードの全てのデータが消去されます。  
SDメモリーカードをフォーマットするには「はい」を  
フォーマットしない場合は「いいえ」をクリックしてください。

はい いいえ

## ステータス

SDメモリーカードの使用状況を見ることができます。

- 1 **ステータス** をクリックする

右の画面が表示されます。

### SDメモリーカードの使用状況

総容量: 32MB  
使用率: 50%

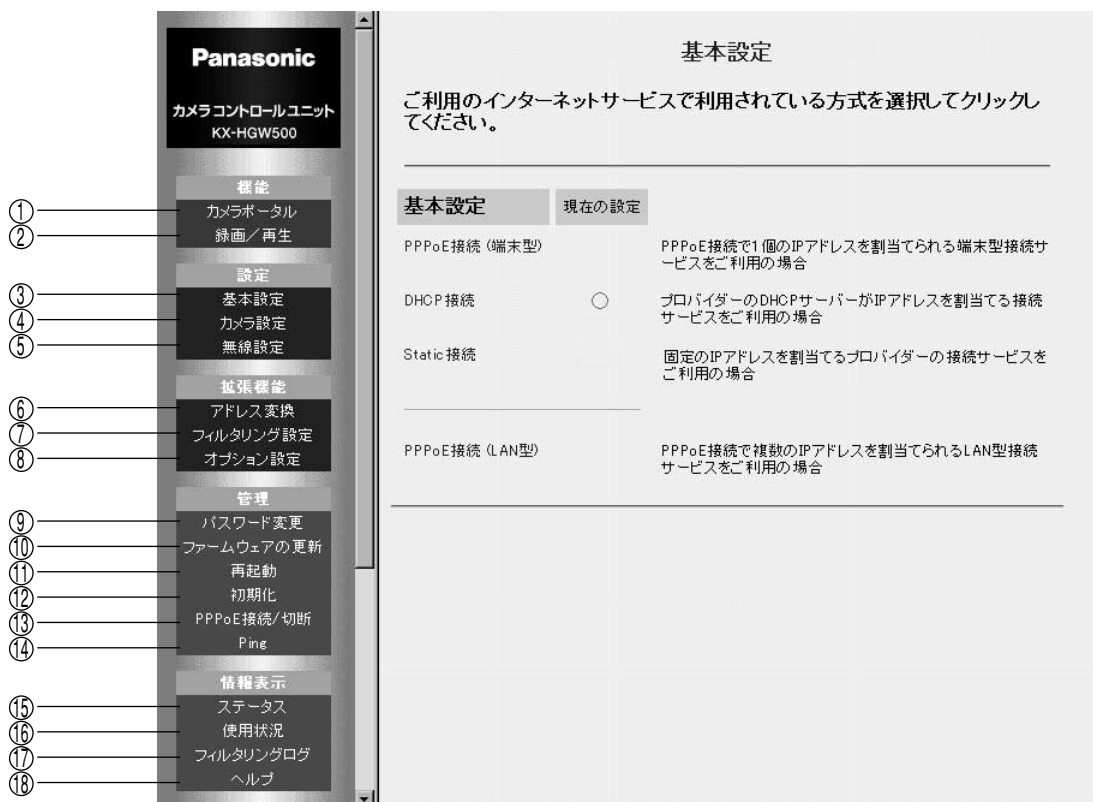


# 各機能

設定画面について.....	66
機能.....	68
カメラポータル.....	68
録画/再生.....	68
設定.....	69
基本設定.....	69
カメラ設定.....	70
無線設定.....	74
拡張機能.....	82
アドレス変換.....	82
フィルタリング設定.....	88
オプション設定.....	91
管理.....	97
パスワード変更.....	97
ファームウェアの更新.....	98
再起動.....	100
初期化.....	100
PPPoE接続/切断.....	101
Ping.....	102
情報表示.....	103
ステータス.....	103
使用状況.....	103
フィルタリングログ.....	104
ヘルプ.....	104

# 設定画面について

パソコンからWWWブラウザを使って設定を行うことができます。



## 【機能】

- ① カメラポータル： カメラポータル画面を表示します。
- ② 録画/再生： 録画再生機能のモニター画面を表示します。


## 【設定】

- ③ 基本設定： WAN (インターネット) 側に接続するための基本的な設定をします。
- ④ カメラ設定： ネットワークカメラの設定を行います。
- ⑤ 無線設定： 無線ネットワークの設定とセキュリティの設定をします。

## 【拡張機能】

- ⑥ アドレス変換： WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスとLAN側のプライベートIPアドレスを相互変換して、WAN (インターネット) 側から本機に接続した端末にアクセスする機能です。
- ⑦ フィルタリング設定： ファイアウォールの機能の一つで、送信しているデータのIPアドレス、ポート番号、プロトコルを元に通過・遮断するパケットを判断します。
- ⑧ オプション設定： LAN (ホーム) 側にアクセスするための設定と、WAN (インターネット) 側へアクセスするための詳細な設定をします。

**【管理】**

- ⑨ パスワード変更： 設定画面にアクセスするためのユーザー名やパスワードを変更します。
- ⑩ ファームウェアの更新： ファームウェアを最新版に更新します。
- ⑪ 再起動： 本機を再起動します。
- ⑫ 初期化： 本機を初期化します。設定値が工場出荷時に設定されている標準設定値（ 115ページ）に戻ります。
- ⑬ PPPoE接続/切断： プロバイダーへのPPPoE接続を手動で開始または停止します。
- ⑭ Ping： IPアドレスを持った機器が接続されているか確認します。

**【情報表示】**

- ⑮ ステータス： 回線接続状態などの情報を表示します。
- ⑯ 使用状況： 本機のデータ通信状態を表示します。
- ⑰ フィルタリングログ： フィルタリング設定の条件に一致した通信記録を表示します。
- ⑱ ヘルプ： 設定画面のコマンドや機能について説明します。

この機能を使うには、インターネットへの接続が必要になります。

## カメラポータル

カメラポータル画面を表示します。

- 1 **カメラポータル** をクリックする  
カメラポータル画面が表示されます。

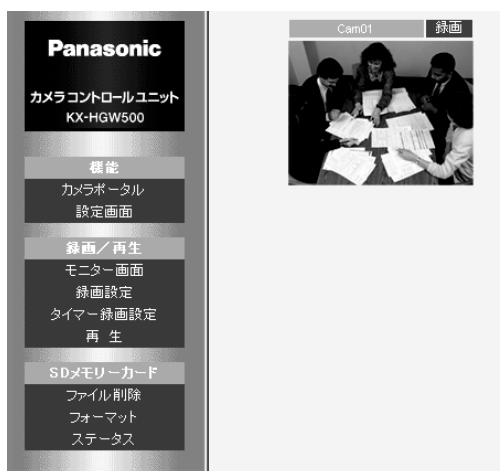


カメラポータル画面の詳細については37、53ページを参照してください。

## 録画/再生

録画再生機能のモニター画面を表示します。

- 1 **録画/再生** をクリックする  
モニター画面が表示されます。



モニター画面の詳細については58ページを参照してください。

# 設定

## 基本設定

次の手順に従って設定してください。

- 1 **基本設定** をクリックする
- 2 ネットワーク接続のためのアカウント情報を元に接続方法を選ぶ
- 3 データ入力欄に設定値を入力する  
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックする
- 4 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



設定方法についての詳細は、「インターネットで使う」または「社内ネットワークで使う」を参照してください。

# 設定

## カメラ設定

カメラ設定画面では、本機に接続したネットワークカメラの設定を行います。通常は、カメラの自動登録機能により本機がカメラを認識し、カメラ名やポート番号、IPアドレスを自動で設定するため、設定の必要はありません。カメラ名を変更する場合は、下記の手順に従ってください。またカメラのネットワーク設定を手動で行う場合は、カメラの追加登録の手順に従って、カメラを登録してください。

### 自動登録されたカメラの設定変更

1 設定画面上の **カメラ設定** をクリックする

2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で設定するカメラのNo項をクリックする

3 カメラ名を入力し **変更** をクリックする  
登録されているカメラを削除する場合は **削除** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

#### カメラ名変更とカメラの追加登録・削除

表示されているカメラの順序は検出・登録された順序になります。画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を設定してください。Noをクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。

No	カメラ名	画像確認	自動登録	ポート番号	IPアドレス
1	Cam01	確認	○	60001	192.168.0.113
追加					

カメラ名	<input type="text" value="Cam01"/>
ポート番号	<input type="text" value="60001"/>
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.113"/>
新しいユーザー名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワードの再入力	<input type="password"/>



ネットワークカメラの設定画面に「管理者設定」のパスワードを登録している場合、カメラ画像を録画するには、右上の画面の「新しいユーザー名」と「新しいパスワード」にカメラと同じ値を入力する必要があります。詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書の「管理者の設定」を参照してください。

自動登録されたカメラのポート番号やIPアドレスを変更することはできません。「画像確認」で、確認をクリックすると直接カメラの画面を表示します。

### データ入力欄について

カメラ名	カメラ名に入力した名前は、カメラポータル画面のカメラ名として表示されます。 カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
新しいユーザー名	カメラの管理者設定に登録しているユーザー名を入力してください。
新しいパスワード	カメラの管理者設定に登録しているパスワードを入力してください。

## カメラの追加登録

カメラの追加登録は、次の手順に従ってください。

- 1 カメラ設定画面上の「カメラの自動登録機能の設定」で「使用しない」を選ぶ
- 2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で追加をクリックする
- 3 カメラ名、ポート番号、IPアドレスを入力し、「追加」をクリックする
- 4 設定を終えたら「保存」をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に「再起動」が表示されたら、それをクリックする

カメラの自動登録機能の設定

使用する  使用しない

カメラ名変更とカメラの追加登録・削除

表示されているカメラの順序は検出・登録された順序になります。画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を決定してください。Noをクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができません。

No	カメラ名	画像確認	自動登録	ポート番号	IPアドレス
追加					

カメラ名

ポート番号

IPアドレス

新しいユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワードの再入力



ネットワークカメラの設定画面に「管理者設定」のパスワードを登録している場合、カメラ画像を録画するには、右上の画面の「新しいユーザー名」と「新しいパスワード」にカメラと同じ値を入力する必要があります。詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書の「管理者の設定」を参照してください。

カメラを追加登録した場合、カメラ側の設定も変更してください。詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

カメラを追加登録した場合、静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）の設定が必要です。83ページを参照のうえ、手動で設定してください。

カメラを追加登録した場合、カメラポータル配置の設定が必要です。72ページを参照のうえ、手動で設定してください。

カメラの自動登録機能で使用されるIPアドレス、またはポート番号はカメラの追加登録では使用できません。カメラの自動登録機能で使用されるIPアドレス、ポート番号については「ネットワークカメラの接続」( 36、52ページ)を参照してください。

### データ入力欄について

カメラ名	カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
ポート番号	カメラのポート番号を入力してください。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを入力してください。
新しいユーザー名	カメラの管理者設定に登録しているユーザー名を入力してください。
新しいパスワード	カメラの管理者設定に登録しているパスワードを入力してください。

# 設定

## カメラポータル配置

カメラポータル画面の画面表示形式や画面配置の設定を行います。

- 1 **カメラポータル配置** をクリックする
- 2 「カメラ画面表示形式」で「カメラ名と静止画（自動更新）」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」の中から選ぶ
- 3 「カメラ画面配置」で表示したいカメラ画面枠をクリックし、下部のドロップダウンリストからカメラを選んで **選択** をクリックする

カメラ画面枠からカメラを外す際は、「カメラポータルからカメラを外す」を選択してください。

現在の選択をキャンセルするには、**戻る** をクリックしてください。

- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

## データ入力欄について

カメラ画面表示形式	カメラの画面表示形式を「カメラ名と静止画（自動更新）」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」の中から選びます。
カメラ画面配置	カメラポータル画面のサムネイル画像の配置を変更したり、任意のカメラをカメラポータル画面へ登録します。最大16台のカメラ画像をカメラポータル画面で一覧表示することができます。



## WAN側アクセス制御

WAN側からカメラポータル画面へのアクセスを制御する設定を行います。設定画面や録画再生画面へのアクセス制御とは別の設定になります。

- 1 **WAN側アクセス制御** をクリックする
- 2 「フルアクセス」、「パスワードによる保護」、「禁止」の中から1つ選ぶ  
「パスワードによる保護」を選択した場合は、右の画面が表示されます。  
カメラポータル画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。
- 3 **保存** をクリックする
- 4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする  
「パスワードによる保護」に設定した場合はユーザー名とパスワードのダイアログボックスが表示されます。登録したユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

**WAN側カメラアクセス制御**

フルアクセス WAN側からのカメラポータル画面へのアクセスを許可します。設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワードが必要です。

パスワードによる保護 WAN側からのカメラポータル画面にアクセスするには、WAN側アクセス制御用管理者パスワードが必要です。また、設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワードが必要です。

禁止 WAN側からのカメラポータル画面および設定画面へのアクセスを禁止します。

**カメラポータルへのパスワードの設定** 注: 半角英数字16文字(大/小文字の区別可)以内で入力してください。

新しいユーザー名:

新しいパスワード:

新しいパスワードの再入力:

**保存** **取り消し**

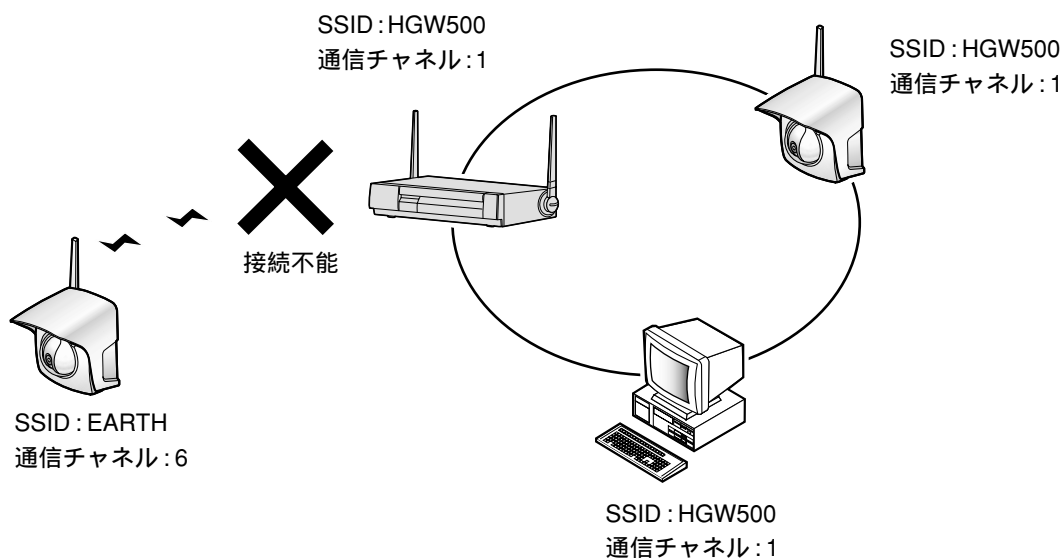
### データ入力欄について

フルアクセス	WAN側からカメラポータル画面へのアクセスを許可します。設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワード(☞97ページ)が必要です。
パスワードによる保護	WAN側からカメラポータル画面にアクセスするには、カメラポータルへのパスワードが必要になります。設定画面にアクセスするには、設定画面用(☞97ページ)のパスワードが必要です。
禁止	WAN側からカメラポータル画面へのアクセスをすべて禁止します。

# 設定

## 無線設定

無線設定画面では、無線ネットワークに接続するための設定やセキュリティの設定を行います。無線ネットワークでは、テレビやトランシーバーと同じように電波を使い、通信チャンネルを選択して通信します。また、ネットワークに名前（SSID）をつけます。同じSSIDと同じ通信チャンネルの端末同士でのみ接続することができます。



本機に接続する無線端末は、本機と同じSSIDが設定されていれば、通信チャンネルが自動的に設定され通信可能となります。



無線ネットワークでは、電波を使って通信を行うため、他人がネットワークに侵入したりする可能性があります。セキュリティの設定を行うことを強くおすすめします。(P.110ページ)

- 1 設定画面上の **無線設定** をクリックする

## 2 SSID入力欄にSSIDを入力し、「SSID空白のクライアントの接続」と「通信チャンネル」を変更する

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

本機に接続する無線端末にも同じSSIDを入力してください。

それぞれの入力欄については、76ページを参照してください。

SSIDの設定

SSID

SSID空白のクライアントの接続

許可  禁止

通信チャンネルの設定

通信チャンネル

**保存** **取り消し**

## 3 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

## 4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

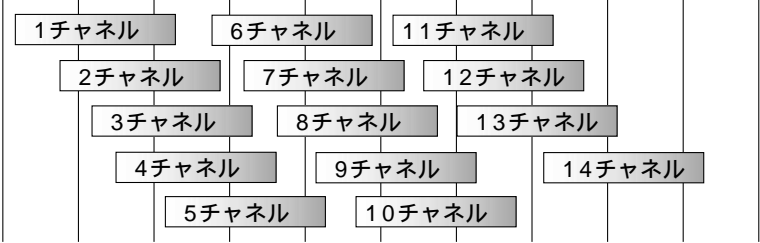


データ入力欄には、スペースを入れないでください。

ネットワークカメラやパソコンの設定後は、セキュリティのため、カメラ、パソコン、本機のSSIDを設定し、「SSID空白のクライアントの接続」を「禁止」にしてください。

# 設定

## データ入力欄について

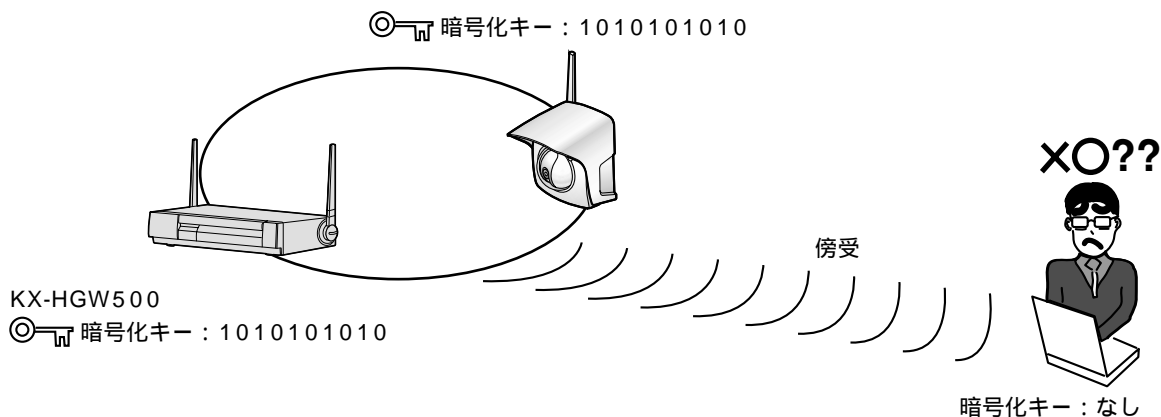
SSID	<p>無線ネットワークでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSID (ESSID) と呼びます。SSIDは、無線ネットワークに接続できる各端末に設定し、同じSSIDを持つ端末同士でのみ通信ができます。SSIDの入力では、次の規則に従ってください。(標準設定で“HGW500”が入力されています。)</p> <p>半角英数字しか入力できません。</p> <p>英字の大文字と小文字は区別されます。</p> <p>(例)：“TOM”と“tom”は異なる名前と認識される</p> <p>32文字まで入力できます。</p>
SSID空白のクライアントの接続	<p>「許可」を選ぶと、SSIDが“ANY”または空白の無線端末が接続できます。セキュリティ上SSID設定後は、「禁止」を選んでください。</p>
通信チャンネル	<p>ネットワーク内で通信するチャンネルを設定します。1～14の中から選びます。(標準設定で1が選択されています。)複数の無線ネットワークで、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、通信チャンネルが重ならないように変更してください。</p>  <p>2400MHz <span style="float: right;">2500MHz</span></p>



必要に応じて「暗号化」や「MACアドレスフィルタリング」を設定してください。通信データを暗号化するには、「無線設定」画面の上の「暗号化」をクリックしてください。(☞ 77ページ) 本機に登録した無線端末以外が接続できないようにするには、「MACアドレスフィルタリング」をクリックしてください。(☞ 81ページ)

## 暗号化設定

無線ネットワーク内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化をおこなうと、万一无線ネットワークのデータを、他の端末が受信しても解読することが困難になります。暗号化は、無線ネットワークのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。同じ暗号化キーを持っている端末のみデータを読むことができます。また、暗号化設定時の認証方式として、Shared Key方式だけでなく、Open System方式にも対応しています。認証方式の切り替えは、本機が端末に合わせて自動で行います。無線端末の認証方式を意識することなく暗号化設定を行うことができます。



暗号化キーは、キーワードを元に作成します。暗号化キーは、40(64)bitと128bitの2種類あります。128bitの暗号化キーはさらに安全性が高まります。

- 1 **暗号化** をクリックする
- 2 「暗号方式」のドロップダウンリストから「有効(40(64)bit)」か「有効(128bit)」を選ぶ



# 設定

< 「有効 (40(64)bit)」 を選んだ場合 >

右の画面が表示されます。

3 「入力選択」のドロップダウンリストから「自動 (キーワード入力)」か「手動 (16進数入力)」を選ぶ

4 「自動 (キーワード入力)」を選んだ場合  
キーワードを入力し、標準キーを1つ選ぶ

暗号方式の設定

暗号方式

暗号化(WEP)キーの入力方法

入力選択

キーワードの設定

キーワード:

標準キーの設定

標準キー:

「手動 (16進数入力)」を選んだ場合、右の画面が表示されます。

キー1～4に10桁の16進数を入力し、標準キーを1つ選ぶ ( 80 ページ)

元の設定に戻すには、 をクリックしてください。

暗号キーの手動設定(40(64)bit)

キー1:

キー2:

キー3:

キー4:

< 「有効 (128bit)」 を選んだ場合 >

右の画面が表示されます。

3 「入力選択」のドロップダウンリストから「自動 (キーワード入力)」か「手動 (16進数入力)」を選ぶ

暗号方式の設定

暗号方式

暗号化(WEP)キーの入力方法

入力選択

キーワードの設定

キーワード:

4 「自動(キーワード入力)」を選んだ場合  
キーワードを入力する

「手動(16進数入力)」を選んだ場合、右の画面が表示されます。

キー入力欄に26桁の16進数を入力する

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

暗号キーの手動設定(128bit)

キー:



設定内容は、本機を再起動すると\* (アスタリスク) で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。

5 **保存** をクリックする

6 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする

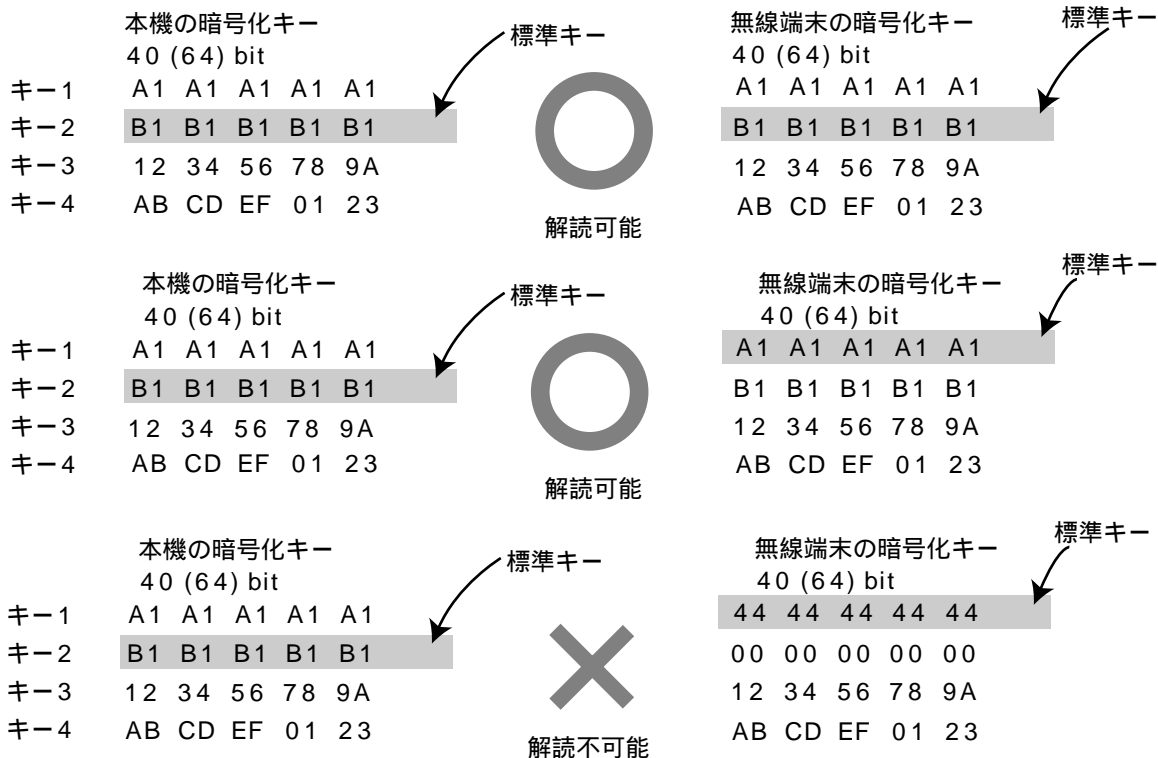
#### データ入力欄について

暗号方式	暗号化キーのビット数を選びます。無効 有効(40(64)bit) 有効(128bit)の順で安全性が高まりますが、反対に通信速度が若干低下します。
入力選択	異なる機種 of 無線端末を接続するときは、無線端末によって同じキーワードを入力しても別の暗号化キーが生成される場合があります。その場合は、手動設定で暗号化キーを入力してください。通信したい無線端末と同じ暗号化キーを入力し、標準キーを選んでください。通常は「自動(キーワード入力)」を選びます。
キーワード	暗号化キーを生成する文字を半角英数字31文字以内で入力してください。英字は大文字と小文字の区別があります。
標準キー	暗号化キーで40(64)bitを選んだ場合は、4つの標準キーの中の1つを選びます。
暗号キーの手動設定	入力選択で「手動(16進数入力)」を選んだ場合、手動で暗号化キーを入力してください。
40(64)bit	40(64)bitの場合は4つのキーの各々に10桁の16進数を入力し、標準キーを選んでください。
128bit	128bitの場合は1つのキーに26桁の16進数を入力してください。

# 設定

## 暗号キーの手動設定について

異なる機種種の無線LANカードに接続する時は、無線LANカードによっては同じキーワードを入力しても別の暗号化キーが生成されます。その場合は、手動設定で暗号化キーを入力してください。通信したい無線端末と全く同じ暗号化キーを入力してください。40(64)bitの場合は、4つのキーの各々に10桁の16進数の同じ値を入力し、標準キーを選んでください。無線端末にも、本機と同じ40(64)bitキーを設定し、標準キーを選んでください。128bitの場合は、26桁の16進数の同じ値を入力してください。



標準キーに対応した暗号化キーがそれぞれ異なるので解読できない。



10進数では、0～9の10個の文字を使ってすべての数を表現しますが、16進数では、16個の文字で数を表現します。16進数の0から9までは、10進数で使う0～9の文字を使います。10～15は、A～Fの文字を使います。16進数と10進数の対応は、次のようになります。

10 進数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
16 進数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

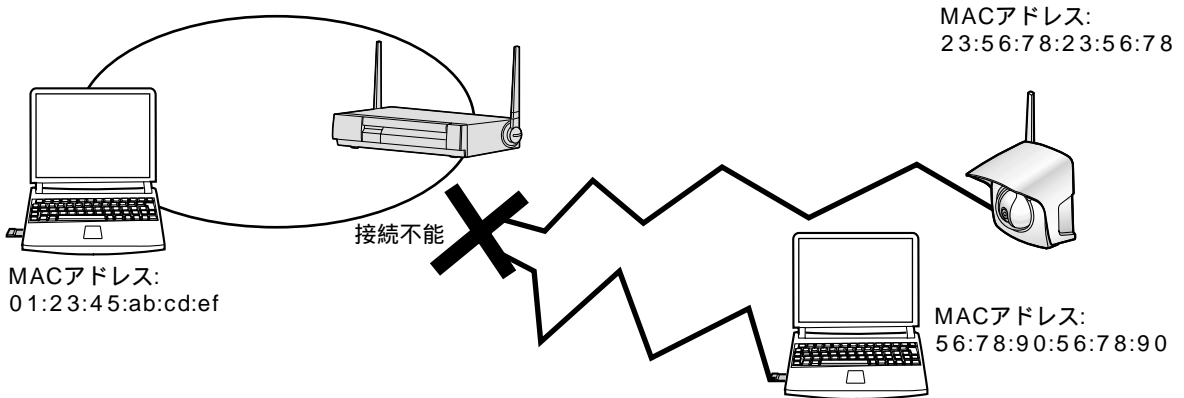


## MACアドレスフィルタリング登録

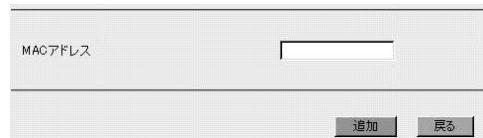
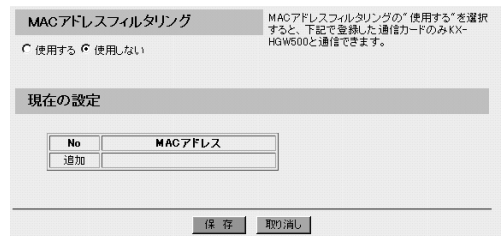
本機に接続できるネットワークカメラやパソコンを制限することができます。カメラやパソコンのネットワークカードには、そのネットワークカードに固有のMACアドレスが登録されています。そのMACアドレスの値を「MACアドレスフィルタリング」に登録すると、登録したMACアドレスを持つネットワークカメラやパソコン以外は接続できなくなります。

登録しているMACアドレス:

01:23:45:ab:cd:ef



- 1 **MACアドレスフィルタリング** をクリックする
- 2 「使用する」を選ぶ
- 3 「現在の設定」でNoの「追加」をクリックする
- 4 MACアドレスをデータ入力欄に入力する  
半角数字とA~Fまたはa~fを2文字ずつ「:」で区切って入力してください。
- 5 **追加** をクリックする
- 6 **保存** をクリックする
- 7 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする



ネットワークカメラのMACアドレスを確認するには、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

# 拡張機能

## アドレス変換

アドレス変換画面では、WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスを相互変換して、WAN (インターネット) 側から本機のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。

- 1 設定画面上の **アドレス変換** をクリックする

- 2 「有効/無効の設定」で「使用する」か「使用しない」を選ぶ

通常は「使用する」を選んでください。

WAN (インターネット) 側の1個のIPアドレスを利用して静的IPマスカレードの設定をする場合は、**端末型** をクリックしてください。

WAN (インターネット) 側の複数のIPアドレスを利用してアドレス変換する場合は、**LAN型** をクリックしてください。

有効/無効の設定	
アドレス変換	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
<small>注: アドレス変換を使用しない設定でDNSリレーを使用する時は、同時に合わせ先のDNSサーバーがR2-HGW500(デフォルトでは192.168.0.254)となるようにホーム側の端末を設定してください。</small>	
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="取り消し"/>	



No項に「自動」と表示されたエントリは、カメラの自動登録機能により設定されたエントリのため、変更できません。

- 3 設定値の入力を終わったら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

- 4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

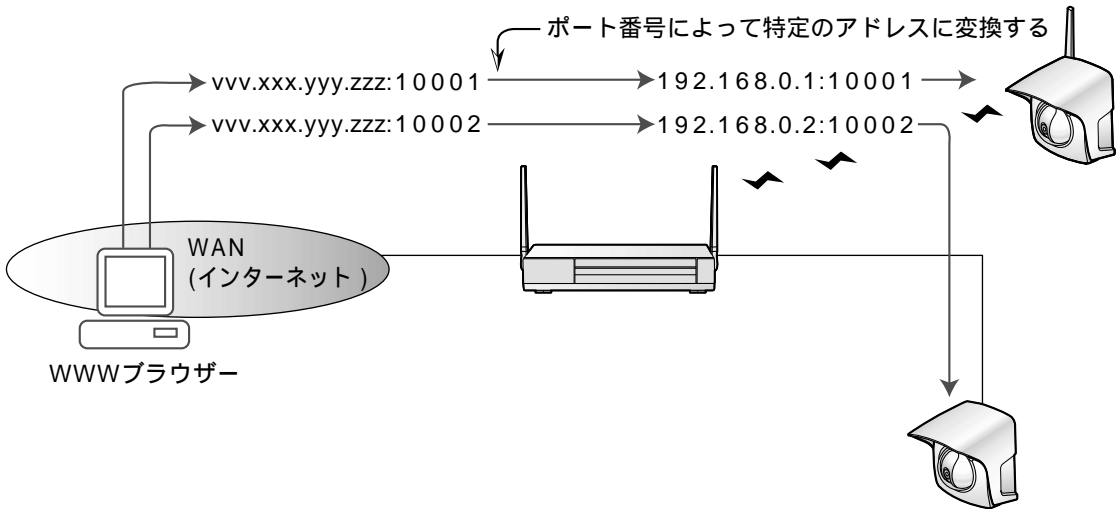


アドレス変換を行った場合、本機に接続しているネットワークカメラやパソコンのネットワーク設定も行ってください。

## 端末型

### 静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)

静的IPマスカレードの設定によって、WAN (インターネット) 側のパソコンからLAN側の任意のネットワークカメラを参照することができます。WAN (インターネット) 側のパソコンが使用するポート番号のTCP/UDP パケットを任意のカメラのプライベートIPアドレスに割り当てます。転送対象ポート入力欄に対応するカメラのポート番号を入力し、転送先IPアドレス入力欄に対応するカメラのIPアドレスを入力してください。



設定例：カメラをマニュアル設定した場合

No	エントリ	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	転送先 IPアドレス
1	有効	TCP	10001	192.168.0.1
2	有効	TCP	10002	192.168.0.2

### 優先順位の変更

静的IPマスカレードのエントリを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリNoの小さい順に、静的IPマスカレードの処理を行います。エントリの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリNoを左の入力欄に入力し、移動先のエントリNoを、右の入力欄に入力して「移動」をクリックしてください。その後、「保存」をクリックし、設定画面に「再起動」が表示されたらそれをクリックしてください。

優先順位の変更

優先順位の変更: No  と No  の優先順位を入れ替えます。

# 拡張機能

エントリ	「有効」あるいは、「無効」を選びます。「有効」を選んだ場合、エントリはテーブル（プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス）に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
転送対象プロトコル	WAN側にデータを送受信する際に使うプロトコルを選びます。 TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、PPTPの中から選ぶことができます。
転送対象ポート	WAN側にデータを送受信する際に使うポートを指定します。 ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。 ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。 例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。 (注) ポート60000 - 60016は本機で予約されているため使用できません。
転送先IPアドレス	本機に接続したネットワークカメラのプライベートIPアドレスを設定します。 インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。この場合、対応するカメラのIPアドレスをこの値に設定してください。



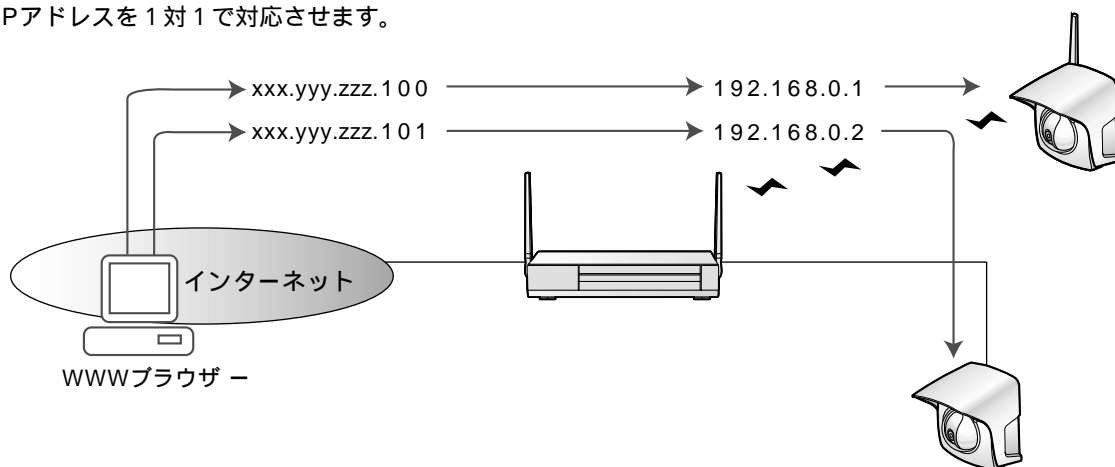
No項に「自動」と表示されたエントリは、カメラの自動登録機能により設定されたエントリのため、変更できません。

## LAN型

WAN (インターネット) 側に複数のグローバルIPアドレスを提供されているとき、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの相互変換の設定を行います。

### 静的NAT

WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスと、本機に接続しているネットワークカメラのプライベートIPアドレスを1対1で対応させます。



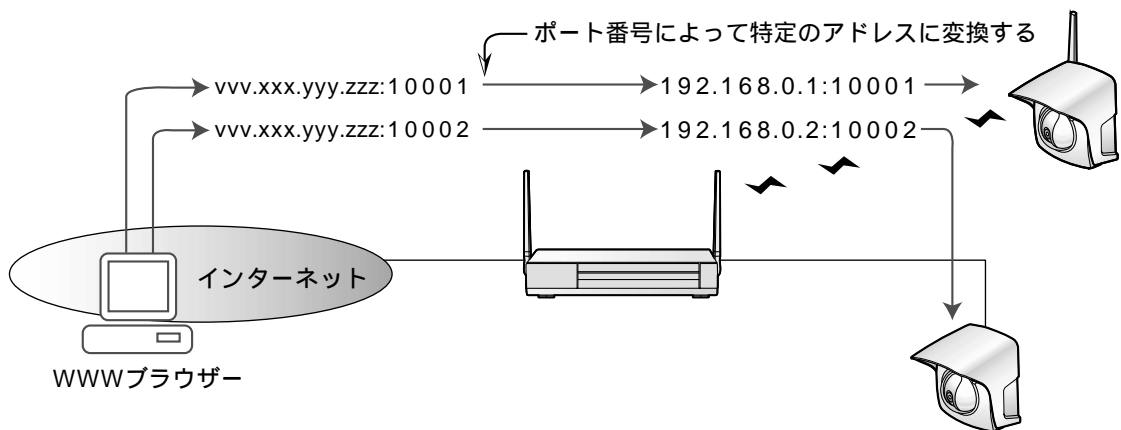
設定例：

グローバルIPアドレスxxx.yyy.zzz.100とプライベートIPアドレス192.168.0.1を、xxx.yyy.zzz.101と192.168.0.2をそれぞれ1対1で対応させる場合は、次のように入力してください。必ず転送対象プロトコルに「\*」を選び、転送対象ポートに「\*」を入力してください。入力後、転送対象ポート欄には「0-65535」と表示されます。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	*	0-65535	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.101	*	0-65535	192.168.0.2

### 静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)

1つのグローバルIPアドレスを使って、WAN (インターネット) 側のパソコンから、本機に接続している複数のネットワークカメラを参照することができます。



設定例：

グローバルIPアドレスvvv.xxx.yyy.zzzを通して、192.168.0.1や192.168.0.2のネットワークカメラを参照させるには、次のように入力してください。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	vvv.xxx.yyy.zzz	TCP	10001	192.168.0.1
2	有効	vvv.xxx.yyy.zzz	TCP	10002	192.168.0.2

### 優先順位の変更

静的アドレス変換のエントリを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリNoの小さい順に静的アドレス変換の処理を行います。エントリの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリNoを左の入力欄に入力し、移動先のエントリNoを右の入力欄に入力して、**移動** をクリックしてください。その後、**保存** をクリックし、設定画面に **再起動** が表示されたらそれをクリックしてください。

優先順位の変更

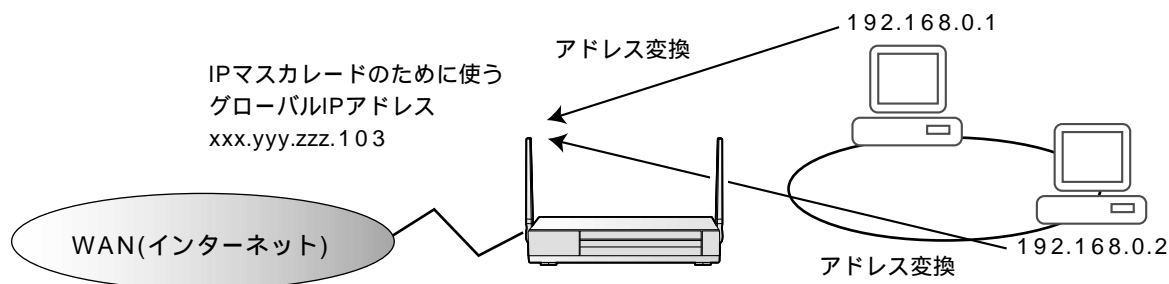
優先順位の変更: No  と No  の優先順位を入れ替えます。 **移動**

**保存** **取消し**

# 拡張機能

## IPマスカレード

1つのグローバルIPアドレスを使って、複数のパソコンからWAN（インターネット）側にアクセスするとき、この機能を使います。



設定例：

機能	No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
静的 アドレス変換	追加					
IPマスカレード			xxx.yyy.zzz.103	-	-	(注)

エントリ	「有効」あるいは「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリはWAN 側IPアドレス、LAN側IPアドレスに設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
WAN側IPアドレス	WAN 側でデータのやり取りをするグローバルIPアドレスを入力してください。
転送対象プロトコル	WAN 側でデータを送受信する際に使うプロトコルを選んでください。TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、PPTP、*（すべて）の中から選ぶことができます。
転送対象ポート	<p>WAN 側でデータを送受信する際に使うポートを指定してください。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。</p> <p>ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。</p> <p>ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000 - 3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。</p> <p>(注) ポート60000 - 60016は本機で予約されているため使用できません。</p> <p>転送対象プロトコルに「*」を選んだ場合は、必ずポート番号も「*」を入力してください。</p>

LAN 側IPアドレス	本機に接続したネットワークカメラやパソコンのプライベートIPアドレスを設定してください。WAN 側からのデータは、このIPアドレスに送られます。この場合、対応するカメラとパソコンのIPアドレスをこの値に設定してください。
IPマスカレード	静的アドレス変換のエントリに設定していないパソコンからWAN 側にアクセスするとき、ここに入力したグローバルIPアドレスに変換され使用されます。何も入力していないと、基本設定で指定したIPアドレスか、プロバイダーが割り当てたIPアドレスが使用されます。

### LAN型の設定で注意すること

WAN 側のIPアドレスが異なるとき、LAN 側のIPアドレスを重複させることができません。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.2
2	有効	xxx.yyy.zzz.101	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.102	TCP	30	192.168.0.2

← 同一のアドレスを入力しない

転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方を「\*」に設定した場合は、その設定が優先されるため、その他の設定が無視される場合があります。

特定のポートを使用するパケットは、192.168.0.1～3に転送し、それ以外のポートは192.168.0.4に転送する場合、転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方に「\*」を入力すると、4番目の設定が優先されるので上の3つの転送設定が処理されません。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	*	0-65535	192.168.0.4

← この設定が優先される

「\*」と「0-65535」のとき、静的NATとして処理し、上の行の設定が無視されてしまいます。

この場合、下図のように転送対象プロトコルと転送対象ポートを設定すると、上の行から順番に処理されます。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	40	192.168.0.4

← TCPを選択

## フィルタリング設定

IPアドレス、ポート、プロトコルの条件を指定することで、受信したIPパケットを通過あるいは遮断することができます。条件を適切に設定することで、セキュリティ対策として使用することができます。エントリNoの小さい順からフィルタリングの処理が行われます。フィルタリングの標準設定および各項目の説明については、標準設定一覧のフィルタリング設定を参照してください。( 116ページ)

新たにフィルタリングする項目を追加するには

1 設定画面上の **フィルタリング設定** をクリックする

現在の設定

No	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
			IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		
1	許可	W->L	*	*	KX-HGW500	80	TCP	する
53	許可	W->L	10.0.0.0 - 10.255.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
54	許可	W->L	172.16.0.0 - 172.31.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
55	許可	W->L	192.168.0.0 - 192.168.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
56	許可	L->W	*	*	10.0.0.0 - 10.255.255.255	*	TCP&UDP	する
57	許可	L->W	*	*	172.16.0.0 - 172.31.255.255	*	TCP&UDP	する
58	許可	L->W	*	*	192.168.0.0 - 192.168.255.255	*	TCP&UDP	する
59	許可	W->L	*	*	KX-HGW500	*	TCPEST	する
60	許可	W->L	*	*	*	*	TCPEST	する
61	許可	W->L	*	*	*	137 - 139	TCP&UDP	する
62	許可	W->L	*	137 - 139	*	*	TCP&UDP	する
63	許可	L->W	*	*	*	137 - 139	TCP&UDP	する
64	許可	L->W	*	137 - 139	*	*	TCP&UDP	する
追加								

優先順位の変更(エントリの移動)

エントリの移動:  番エントリを  番エントリへ移動する。 **移動**

**保存** **戻る**

2 「現在の設定」で、 **追加** をクリックする

3 必要項目を設定し、 **追加** をクリックする

No	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
			IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<b>追加</b> <b>取り消し</b> <b>戻る</b>								

4 設定を終えたら、 **保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、 **再起動** が表示されたら、それをクリックする



フィルタリング設定は、設定を終えたら必ず **保存** をクリックしてください。  
データ入力欄には、スペースを入れないでください。  
初期設定はすべてのフィルターが「許可」になっています。



No	エントリNoに1～64の値を入力します。エントリNoの小さい順にパケットフィルタリングの処理を行います。すでに登録されている場合は、そのエントリに上書きされます。
タイプ	許可（条件が一致すれば通す）、禁止（条件が一致すれば破棄する）のどちらかを選びます。
方向	W L（WANからの受信時にフィルタリング）か L W（WANへの送信時にフィルタリング）を選びます。
送信元IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスを設定します。 IPアドレスを1つだけ指定したい場合は、そのIPアドレスを上欄に入力します。 IPアドレスの範囲を指定したい場合は、上欄に小さいIPアドレスを入力し、下欄に大きいIPアドレスを入力します。例えば192.168.0.3から192.168.0.10までのIPアドレスを指定したい場合は、上欄に192.168.0.3を入力し、下欄に192.168.0.10を入力します。 上欄に*を入力するとすべてのIPアドレスが対象になります。
送信元ポート	フィルタリングするパケットの送信元ポート番号を設定します。 ポートを1つだけ指定したい場合は、上欄にそのポート番号を入力します。 ポートの範囲を指定したい場合は、上欄に小さいポート番号を入力し、下欄に大きいポート番号を入力します。例えば2000から3000までのポートを指定したい場合は、上欄に2000を入力し、下欄に3000を入力します。 上欄に*を入力するとすべてのポートが対象になります。
宛先IPアドレス	フィルタリングするパケットの宛先のIPアドレスを設定します。入力の規則は送信元IPアドレスと同じです。
宛先ポート	フィルタリングするパケットの宛先のポート番号を設定します。入力の規則は送信元ポートと同じです。 (注) ポート60000 - 60016は本機で使用されています。
プロトコル	データを送受信する際のプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、TCPEST、TCPFINの中から選びます。
ログ出力	パケット情報の記録を一時的に保存し、「フィルタリングログ」画面で表示する/しないを設定できます。表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

# 拡張機能

フィルタリングの項目を修正または削除するには

- 1 設定画面上の **フィルタリング設定** をクリックする
- 2 フィルタリング設定の一覧から、修正または削除する項目のNoをクリックする
- 3 設定項目を修正し、**変更** をクリックする  
削除するには **削除** をクリックする  
修正した内容を元の状態に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。
- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

フィルタリング項目の優先順位を変更するには

エントリNoの小さい順から、パケットフィルタリングの処理を行います。パケットフィルタリング項目の優先順位を変更するには、フィルタリング設定画面の「優先順位の変更」で、移動する項目のエントリNoを左の入力欄に入力し、移動先のエントリNoを右の入力欄に入力して、**移動** をクリックしてください。

その後、**保存** をクリックし設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックしてください。

設定例：

Windows NTとWindows 2000間の通信に対し、外部からのアクセスを防止する場合

タイプ	方向	IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート	プロトコル	ログ出力
禁止	L→W	*	*	*	135	TCP&UDP	する
禁止	L→W	*	135	*	*	TCP&UDP	する
禁止	W→L	*	*	*	135	TCP&UDP	する
禁止	W→L	*	135	*	*	TCP&UDP	する
禁止	L→W	*	*	*	445	TCP&UDP	する
禁止	L→W	*	445	*	*	TCP&UDP	する
禁止	W→L	*	*	*	445	TCP&UDP	する
禁止	W→L	*	445	*	*	TCP&UDP	する

## オプション設定

オプション設定画面では、LAN (ホーム) 側の設定やWAN (インターネット) 側にアクセスするための詳細な設定を行います。オプション設定は、特に変更が必要な場合のみ行ってください。オプション設定を変更するには、次の手順に従ってください。

- 1 設定画面上の **オプション設定** をクリックする
- 2 画面の上にある設定項目を選ぶ
- 3 データ入力欄に設定値を入力する  
元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。  
それぞれの入力欄については、92～96ページを参照してください。
- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

### オプション設定

IPアドレス(ホーム側) DHCPサーバー	PPPoE	DNSサーバー	MTUサイズ	ダイナミック ルーティング	DDNS
--------------------------	-------	---------	--------	------------------	------

KX-HGW500のホーム側の IP アドレスと DHCP サーバーで使用する IP アドレスの設定を行います。

DHCP サーバー機能を使用することにより、ホーム側ネットワークに接続されている機器に IP アドレスを自動的に割当てます。  
さらに、DHCPスタティック機能により、ホーム側ネットワーク機器のMACアドレスを登録し、IPアドレスと関連付けることにより、必ず固定のIPアドレスを割当てることが出来ます。

#### IPアドレス(ホーム側)設定

IPアドレス(ホーム側)	192.168.0.254
サブネットマスク	255.255.255.0
WWWサーバーのポート番号	80

#### DHCPの設定

DHCPサーバー  使用する  使用しない

利用可能なアドレス範囲  -

**注:** 利用可能なアドレス範囲は最大128個です。  
DHCP設定を変更した場合、カメラ関連設定・アドレス変換設定・DHCPスタティック設定は初期化されます。

#### DHCPスタティック設定

Noをクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。  
**注:** ネットワークカメラ用IPアドレスをDHCPスタティック設定しないで下さい。

No	エントリ	IPアドレス (ホーム側)	MACアドレス
追加			

注: 紅色で表示された行の情報編集後、保存されていない状態です。  
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

**保存** **取り消し**



オプション設定を変更した場合、本機に接続しているネットワークカメラやパソコンの設定を行い、再起動してください。  
データ入力欄には、スペースを入れないでください。

# 拡張機能

## データ入力欄について

### < IPアドレス（ホーム側）設定 >

IPアドレス(ホーム側)設定	
IPアドレス(ホーム側)	<input type="text" value="192.168.0.254"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
WWWサーバーのポート番号	<input type="text" value="80"/>

IPアドレス（ホーム側）	ホーム側のIPアドレスを入力できます。標準設定は、192.168.0.254です。IPアドレスは、DHCP設定での「利用可能なアドレス」以外で設定してください。
サブネットマスク	ホーム側のサブネットマスクを入力します。
WWWサーバーのポート番号	WWWサーバーのポート番号を入力します。

### < DHCPの設定 >

DHCPの設定	
DHCPサーバー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
利用可能な アドレス範囲	<input type="text" value="192.168.0.1"/> - <input type="text" value="192.168.0.128"/>

DHCPサーバー機能を使用することにより、LAN側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り当てます。

DHCPサーバー	LAN側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り当てます。標準設定は、「使用する」になっています。LAN側に接続されているすべての機器に手動でIPアドレスを設定する場合は、「使用しない」を選びます。DHCPサーバーの設定を「使用しない」にした場合、カメラの自動登録機能は使用できません。
利用可能なアドレス範囲	DHCPサーバー機能を使用する際は、データ入力欄にプライベートIPアドレスの範囲を入力します。入力範囲は連続した最大128個の値です。特に必要ない限りは変更する必要はありません。ただし、利用できるプライベートIPアドレス範囲の最大値から16エントリ分（デフォルト時：192.168.0.113 - 192.168.0.128）はネットワークカメラ用のアドレスとして予約されています。また、DHCPサーバー機能で利用するアドレス範囲は32より大きくする必要があります。

### < DHCPスタティック設定 >

DHCPサーバー機能を使うとき、ネットワークカメラやパソコンのMACアドレスを登録することにより、カメラやパソコンに割り当てるIPアドレスを固定することができます。

- 1 Noの **追加** をクリックする  
右の画面が表示されます。

有効  無効  
IPアドレス(ホーム側)   
MACアドレス

有効 / 無効	「有効」あるいは「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリテーブルは、テーブル設定したMACアドレスを持つネットワークカメラやパソコンを、テーブルで設定したIPアドレスに固定します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
IPアドレス (ホーム側)	該当するネットワークカメラやパソコンの固定したいIPアドレスを入力してください。
MACアドレス	該当するネットワークカメラやパソコンのネットワークカードのMACアドレスを入力してください。必ず、半角数字と半角英字の A ~ F または a ~ f を2文字ずつ、半角の「:」で区切って “ 01:23:45:ab:cd:ef ” のように入力してください。

### < PPPoE設定 >

PPPoEを利用してプロバイダーと接続する場合、PPPoEの接続を開始、または停止することができます。「接続形態」から接続方法を選んでください。プロバイダーとの契約で、インターネットアクセスの利用料金が従量制の場合は、「自動接続」または「手動接続」を選んでください。

PPPoE 設定  
接続形態  常時接続  自動接続  手動接続  
不使用时の切断  切断する  分後  切断しない  
保存 取り消し

# 拡張機能

接続形態 常時接続	電源が入っている間は常に接続されます。これが標準設定となっています。PPPoE接続画面から手動で切断ができます ( 101ページ )。再接続するには、再起動してください。
自動接続	インターネットにアクセスをするときに接続されます。PPPoE接続画面から接続および切断ができます ( 101ページ )。
手動接続	PPPoE接続は、PPPoE接続画面で <b>接続</b> を選んだ場合にのみ接続されます。PPPoEの接続を切断するには、PPPoE接続画面上で <b>切断</b> をクリックしてください ( 101ページ )。
不使用時の切断	「切断する」を選んでいる場合、インターネットにアクセスしていないことを感知して、あらかじめ設定された時間をすぎると自動的にPPPoEの接続を切断します。この機能を利用するには、「切断する」を選び、時間 ( 1 ~ 99分 ) を設定します。「常時接続」が選ばれている場合、この機能は無効になります。



WAN側からカメラポータル画面を表示している場合は、PPPoEの切断が無効になる場合があります。

## < DNSリレー >

LAN (ホーム) 側に接続しているネットワークカメラやパソコンのIPアドレスを固定している場合などは、WAN (インターネット) 側に接続するために、カメラやパソコンにDNSサーバーアドレスを入力する必要があります。DNSリレーはこの面倒な入力作業を省略します。DNSリレーにより本機は、LAN (ホーム) 側のカメラやパソコンに対して自身をDNSサーバーとして通知します。LAN (ホーム) 側からのDNSの問い合わせに対しては、本機がWAN (インターネット) 側の指定のDNSサーバに代理で問い合わせをします。そして、問い合わせで得た解答をLAN (ホーム) 側のカメラやパソコンに返します。

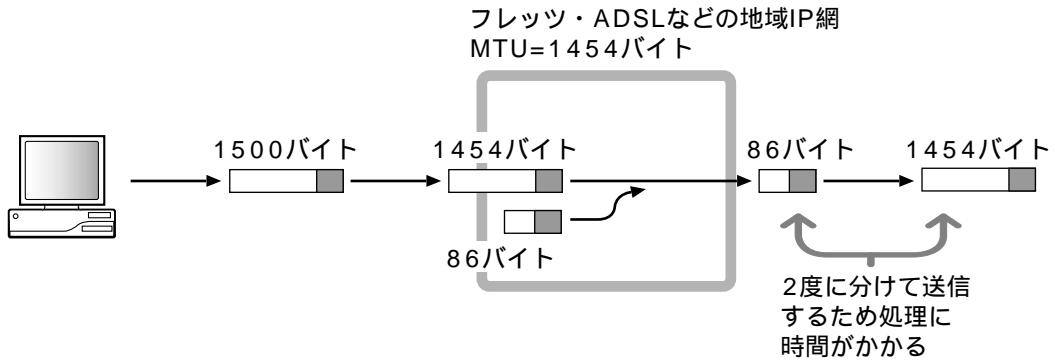


LAN側にDNSサーバーを接続している場合は、DNSリレーを使用しないでください。

使用する	本機をDNSサーバーの代理としてカメラやパソコンと通信します。標準設定は「使用する」になっています。カメラやパソコンのIPアドレスを固定している場合は、カメラやパソコンに本機のIPアドレス192.168.0.254を入力します。
使用しない	DNSリレー機能が働きません。カメラやパソコンのIPアドレスを固定している場合は、カメラやパソコンにDNSサーバーのアドレスを入力します。

## < MTUサイズ >

MTUとは、送信できるパケットの最大値を言います。MTUの値が大きければ、1回に転送できる転送量が大きくなります。しかし、MTUの値が大きすぎるとフレッツ・ADSLなどの地域IP網を通過するときに、地域IP網のMTU値を超えるために、パケットが2回に分けられて送信することになります。その結果転送速度が低下します。



通常は本機が最適なMTU値になるように自動調整します。特に変更が必要な場合のみMTU値を変更してください。



MTUの設定によっては、通信速度が極端に低下する場合があります。

## < ダイナミックルーティング >

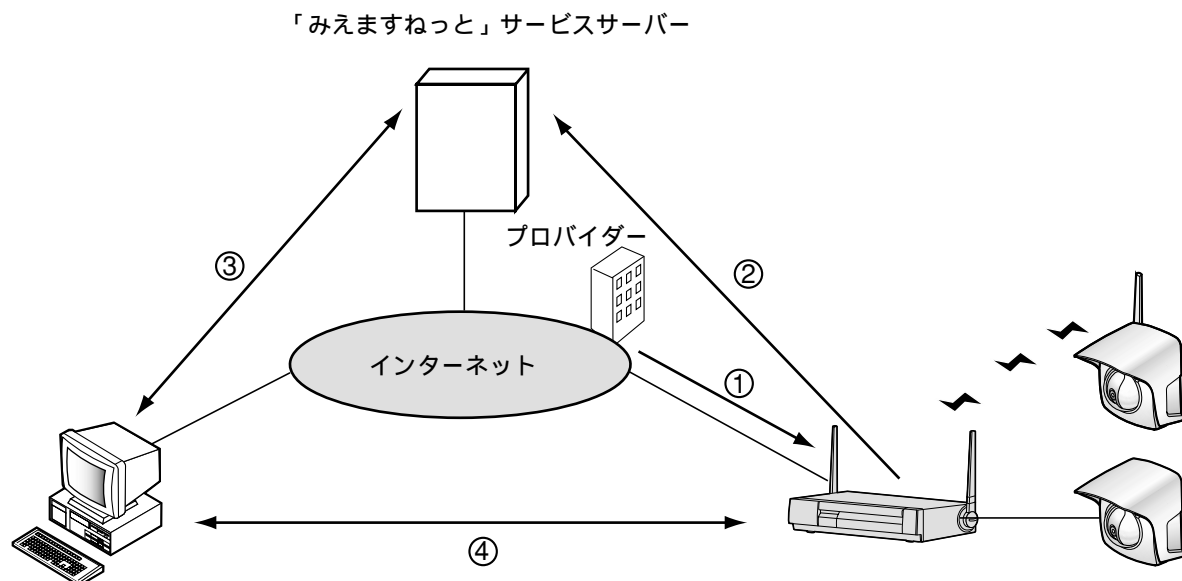
RIP (IPの経路制御パケット) をWAN (インターネット) 側 LAN (ホーム) 側に送信する / 送信しないと、LAN (ホーム) 側 WAN (インターネット) 側に送信する / 送信しないを設定します。

LAN (ホーム) 側送信設定	通常は「送信する」に設定します。LAN側に他のネットワークに接続しているルーターが複数台あり、他のルーターからLAN側にRIPが送信されている場合は、「送信しない」に設定してください。 他にルーターがない場合は、パソコンからインターネットへのすべての送信は、本機を経由していくことになります。
WAN(インターネット) 側送信設定	IPの経路制御パケットをWAN (インターネット) 側に送信すると、LAN情報が外部から見えることになります。セキュリティを確保するために通常は「送信しない」に設定します。

# 拡張機能

## < DDNS >

DDNS機能を使うと、プロバイダーから動的に割り当てられたグローバルIPアドレスで、ドメイン名を使用することができます。DDNS機能を利用するには、「みえますねっと」へのユーザー登録（有料）が必要です。



- ① ご使用中のプロバイダーがグローバルIPアドレスを本機に割り振ります。このときに割り振られるグローバルIPアドレスは、固定ではなく随時、変化します。（動的グローバルIPアドレス）
- ② 「みえますねっと」サービスサーバーにグローバルIPアドレスと本機につけたドメイン名を登録します。
- ③ インターネット側からアクセスする際、WWWブラウザにドメイン名を含むURLを入力すると、「みえますねっと」サービスサーバーに登録されている本機を自動的に検索し、グローバルIPアドレスを知ることができます。
- ④ インターネット側の端末は本機へ直接アクセスし、接続されているカメラ画像を見ることができます。



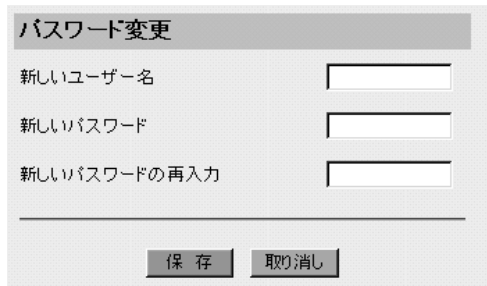
プロバイダーによっては、本機にプライベートIPアドレスが割り当てられることがあります。その場合は、「みえますねっと」サービスは利用できませんので、ご契約のプロバイダーにご確認ください。



## パスワード変更

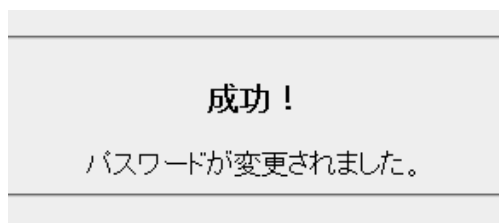
カメラポータル画面から設定画面や録画再生画面へアクセスするための共用パスワードを変更します。パスワードは、標準設定のパスワード（KX - HGW）以外に設定し直してください。標準設定にしていると、WAN（インターネット）側から本機の設定を改ざんされる可能性があります。

- 1 設定画面上の **パスワード変更** をクリックする  
右の画面が表示されます。
- 2 新しいユーザー名入力欄に新しいユーザー名（15桁までの半角英数字）を入力する
- 3 新しいパスワード入力欄に新しいパスワード（15桁までの半角英数字）を入力し、確認のため、新しいパスワードの再入力欄に再度新しいパスワードを入力する

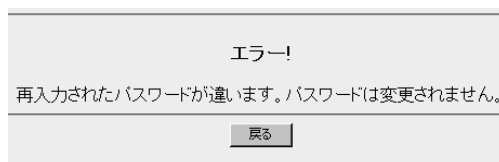


新しいパスワードの再入力欄に入力する際は、コピー・貼り付け機能を使わないでください。大文字、小文字を区別してユーザー名とパスワードを入力してください。

- 4 **保存** をクリックする  
パスワードの変更が終了したら、右の画面が表示されます。



入力されたパスワードがまちがっていると、右の画面が表示されます。



- 5** ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されたら、**ユーザー名とパスワード**欄に新しいユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックする



### 変更したユーザー名とパスワードを忘れてしまった場合

標準のユーザー名とパスワードに戻すため、CLEAR SETTINGボタンを押して本機の初期化を行ってください。(☞ 106ページ)

## ファームウェアの更新

新しいファームウェアをインストールすることができます。最新ファームウェアは、パナソニックウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/index.html>) から入手することができます。

ファームウェアの更新機能を使う前に、パソコンにファームウェアをダウンロードしてください。詳細は、ウェブサイトの説明をお読みください。

- 1** 設定画面上の **ファームウェアの更新** をクリックする

右の画面が表示されます。



- 2** ファームウェアファイルを選ぶために、**参照...** をクリックする

**ファイルの選択**ダイアログボックスが表示されます。



- 3** ファイルの一覧からインストールしたいファームウェアファイルを選び、**開く** をクリックする

選んだファイルがファームウェアの更新設定画面の**ファイル名**欄に表示されます。

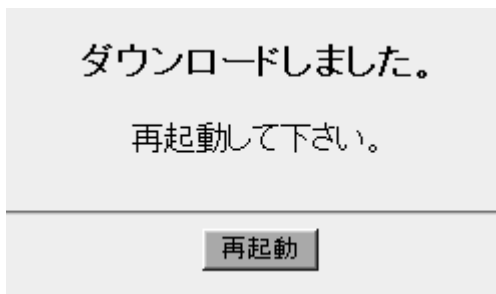
## 4 **開始** をクリックする

ファームウェアの更新を行います。



ファームウェアの更新中は絶対に電源を切らないでください。更新中に電源を切ると正常に動作しなくなります。

- ファームウェアの更新が終了すると、右の画面が表示されます。
- ファームウェアが更新されなかったときは、エラーメッセージが表示されます。(下記)



## 5 **再起動** をクリックする



- ファームウェア更新後、初期化を必要とする場合があります。詳細はパナソニックウェブサイトを参照してください。初期化はCLEAR SETTING ボタン (☞ 106 ページ) を押してください。
- DHCPサーバー機能 (☞ 92ページ) を使っているときは、本機に接続しているLAN側のすべてのネットワークカメラやパソコンを再起動してください。

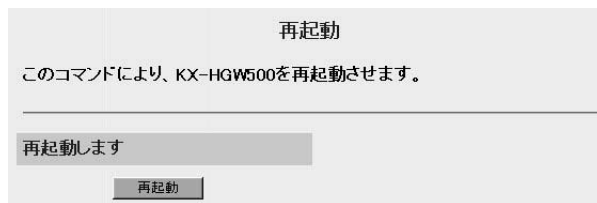
### エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対策
ファイル・サイズが不適當です。 CRCエラーが生じました。	選択したファームウェアのファイルは壊れています。 <a href="http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/index.html">http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/index.html</a> からダウンロードして入手したファームウェアファイルの場合、再度、ダウンロードしてください。
選択したファイルは、正しい ファイルではありません。 ファイルをもう一度確認してください。	選択されたファームウェアは、本機には使えません。適切なファイルを選んでください。ファイルに添付されている説明書 (Readme.txtなど) を参照して、本機のハードウェアバージョンに合っているか確認してください (☞ 103ページ)。合っていないときは、ハードウェアバージョンに合う最新版のファームウェアを <a href="http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/index.html">http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/index.html</a> より入手してください。
メモリーが足りません。	本機の内蔵メモリーが処理負荷のため少なくなっています。 本機を再起動した後、再度ファームウェアの更新を行ってください。

## 再起動

再起動します。このとき、本機の設定内容は保存されています。

- 1 設定画面上の **再起動** をクリックする  
右の画面が表示されます。



- 2 **再起動** をクリックする  
再起動されます。

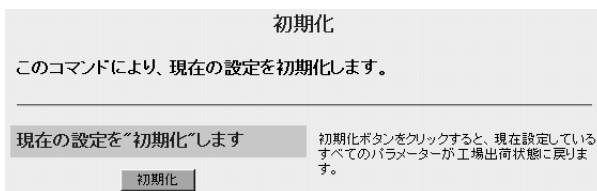


DHCPサーバー機能 ( 92ページ ) を使っているときは、本機に接続しているLAN側のすべてのネットワークカメラやパソコンも再起動してください。

## 初期化

すべての設定値を初期化します。設定値は、工場出荷時に設定されていた内容 ( 標準設定値 115ページ ) に戻ります。

- 1 設定画面上の **初期化** をクリックする  
右の画面が表示されます。



- 2 **初期化** をクリックする  
すべての設定値が初期化されます。



DHCPサーバー機能 ( 92ページ ) を使っているときは、本機に接続しているLAN側のすべてのネットワークカメラやパソコンも再起動してください。

## PPPoE接続 / 切断

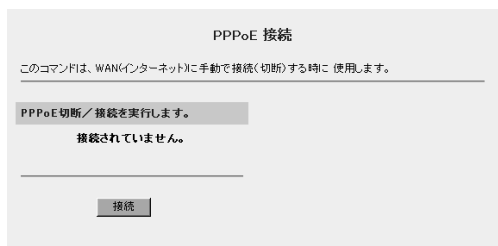
PPPoEの接続コマンドによって、プロバイダーへのPPPoE接続を手動で切断または接続することができます。

< PPPoE接続をおこなう場合 >

- 1 設定画面上の **PPPoE接続 / 切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 PPPoE接続を開始するには、**接続** をクリックする

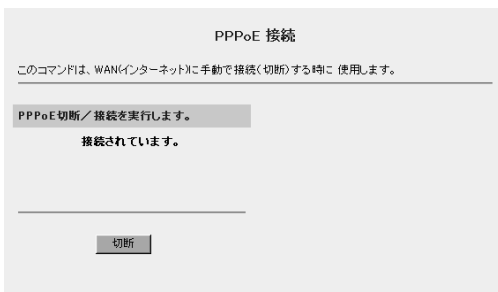


< PPPoE接続を切断する場合 >

- 1 設定画面上の **PPPoE接続 / 切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 接続を切断するには、**切断** をクリックする



このコマンドは、PPPoEの接続形態の種類（常時接続、自動接続または手動接続）に関係なく使用できます。

WAN側からは、PPPoEの切断はできません。

### セッション・キープ・アライブ機能について

本機はセッション・キープ・アライブ機能を持っています。

PPPoE接続の常時接続モードの場合に、プロバイダーのサーバーとの接続が何らかの理由で切断したときに、自動的に接続を試みる機能です。

本機のセッション・キープ・アライブ機能は次の特徴を持っています。

常時接続モード時に有効になっています。自動接続モード時や手動接続モード時は、自動的に接続しません。再接続を行うタイミングは、1分後、2分後、3分後と1分ずつ増えていき、それ以降は10分間隔で接続を試みます。

## Ping

WAN (インターネット) 側、あるいは、LAN側のサイトや機器が、TCP/IPネットワークで本機と接続されているかどうか、確認することができます。正しく接続されている場合は、「成功!」のメッセージが画面に表示されます。

- 1 設定画面上の **Ping** をクリックする  
右の画面が表示されます。
- 2 接続されていることを確認したい機器やサイトのIPアドレス (例: 192.168.0.1) を入力する  
IPアドレス欄を空白に戻すには、**取り消し** をクリックする
- 3 **Ping** をクリックする  
接続されている場合は、右の画面が表示されます。

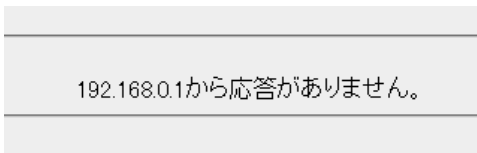
指定IPアドレスからの応答がない場合は、右の画面が表示されます。



The screenshot shows a window titled "Ping". Inside the window, there is a label "IPアドレス" followed by a text input field. Below the input field, there are two buttons: "Ping" and "取り消し".



The screenshot shows a message box with the text: "成功!" followed by "Reply from 192.168.0.1: icmp\_seq=1 bytes=32 TTL=64".



The screenshot shows a message box with the text: "192.168.0.1から応答がありません。"

## ステータス

現在取得しているIPアドレス、ハードウェアとソフトウェアのバージョン情報などを見ることができます。この情報は、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンターに連絡するとき役に立ちます。

- 1 設定画面上の **ステータス** をクリックする  
右の画面が表示されます。

システム設定	
Serial No:	0
CPU Card ID:	1
Interface Card ID:	0
PC Card ID:	0
ROM Version:	1
ROM Level:	2
Firmware #1:	Ver1.00
	Created at: "*****"
	Target config file Ver1.00

## 使用状況

データの送受信の状態を見ることができます。この情報は、ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンターに連絡するとき役に立ちます。

- 1 設定画面上の **使用状況** をクリックする  
右の画面が表示されます。

Ethernet(WAN)	
totalFramesTransmitted:	50
totalBytesTransmitted:	30424
txLossOfCarrier:	0
txNoCarrier:	0
txLateCollision:	0
txExcessiveCollisions:	0
totalFramesReceived:	809
totalBytesReceived:	77793
rxHardwareOverflowFrame:	0

## フィルタリングログ

フィルタリング設定の画面で「ログ出力」にチェックをつけたエントリがパケットの処理を行うとパケットの情報  
を記録します。パケット情報は、エントリ番号、タイプ、方向、送信元 / 宛先ポート番号などで、最新の情報  
(4000個まで)を見ることができます。



再起動するとフィルタリングログの情報は消去されます。

1 設定画面上の **フィルタリングログ** をクリック  
する

2 **再読み込み** をクリックし、最新のログ画面を  
表示させる

記録したログを削除するには、**ログ削除** をクリッ  
クしてください。

現在ログがありません

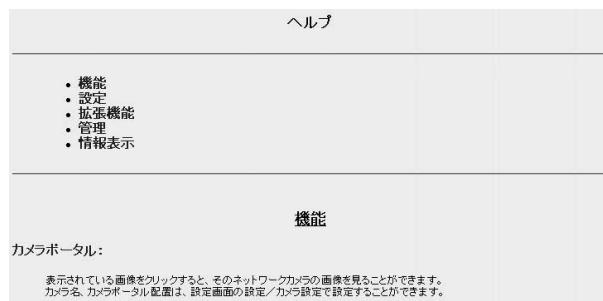
再読み込み

## ヘルプ

ヘルプ機能は、設定画面の各項目を説明しています。

1 設定画面上の **ヘルプ** をクリックする  
右の画面が表示されます。

2 調べたい項目を選ぶ



設定画面上の項目をクリックすることでもヘルプを参照できます。

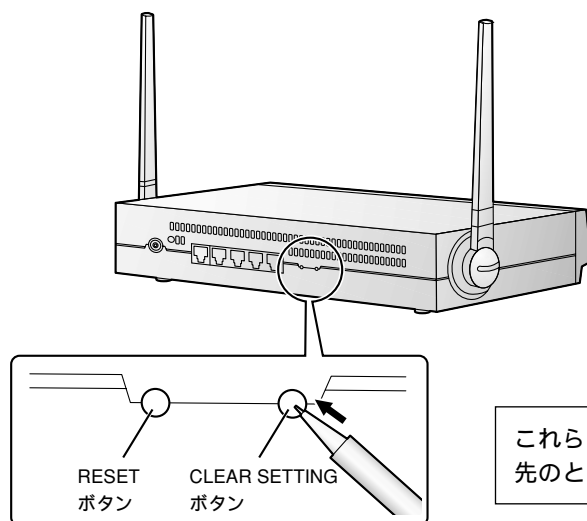


# その他の機能

再起動 .....	106
初期化.....	106
再起動.....	106
プロキシサーバー使用時のWWWブラウザの設定 .....	107
PPPoE LAN型接続について .....	108
無線ネットワークのセキュリティについて .....	110
パソコンのネットワーク設定を行う .....	111
パソコンのIPアドレスを確認するには .....	112

# 再起動

本機の背面に2つのボタンがあります。これらのボタンは初期化するとき、または、再起動するときに使います。



これらのボタンをボールペンのような先のとがったもので押してください。

## 初期化

パスワード ( 97ページ ) を忘れて、設定値を工場出荷時の状態 ( 標準設定値 115ページ ) に戻すときは、CLEAR SETTING ボタンを数秒間押し続けてください。



CLEAR SETTING ボタンを押すと、設定した内容は消去され標準設定値になります。  
DHCPサーバー機能 ( 92ページ ) を使うときは、本機に接続しているLAN側のすべてのネットワークカメラやパソコンを再起動してください。

## 再起動

POWERインジケータが赤く点灯した場合 ( 14ページ )、RESET ボタンを押してください。本機の設定内容を変更することなく再起動することができます。



DHCPサーバー機能 ( 92ページ ) を使うときは、本機に接続しているLAN側のすべてのネットワークカメラやパソコンを再起動してください。

# プロキシサーバー使用時のWWWブラウザの設定

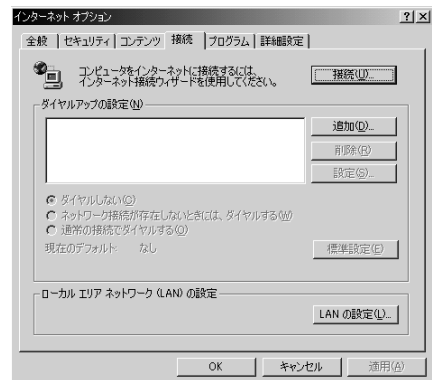
プロバイダーによっては、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合があります。プロキシサーバーを経由する場合は、設定画面にアクセスすることはできません。次の手順に従ってWWWブラウザの設定を変更してください。

次の手順は、Internet Explorer 5.5を使った場合です。

- 1 WWWブラウザを起動する
- 2 ツールメニューからインターネットオプションを選ぶ
- 3 接続タブをクリックする



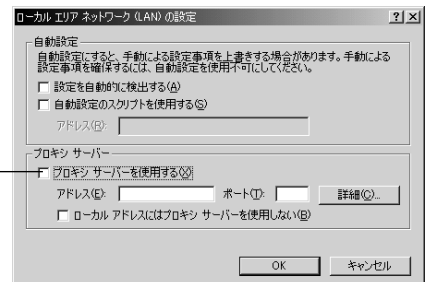
- 4 **LAN の設定** をクリックする
- 5 ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定ダイアログボックスで、「プロキシサーバーを使用する」のチェックボックスを確認する



チェックボックスがチェックされていたら、チェックをはずして **OK** をクリックしてください。

チェックボックスがチェックされていなかったら、**キャンセル** をクリックし設定を終了してください。

チェックボックスがチェックされていないことを確認してください。

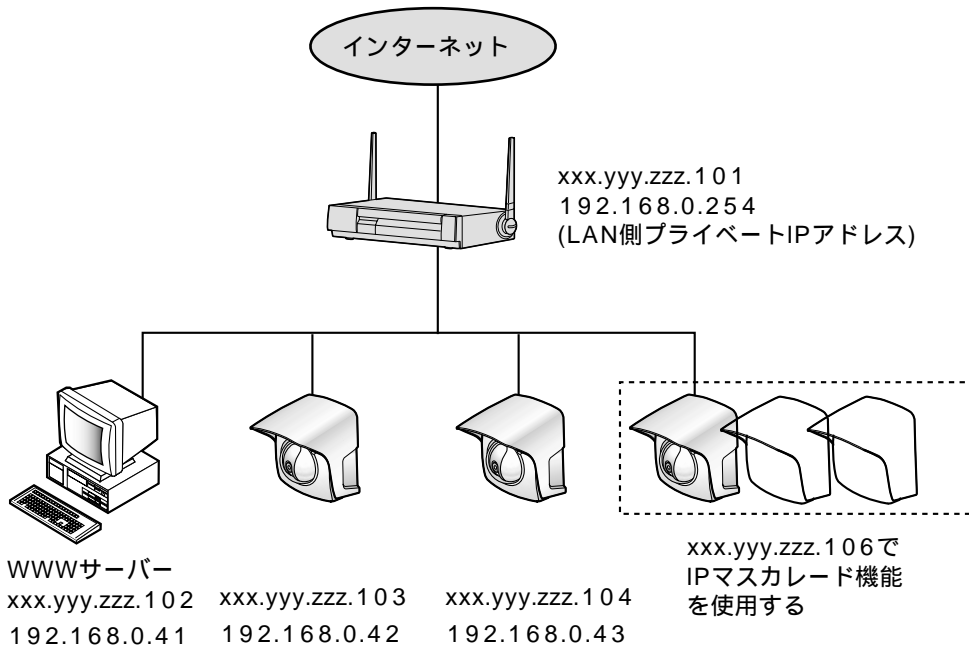


社内ネットワークで本機をご使用の場合は、ネットワーク管理者に確認のうえ、設定を変更してください。

# PPPoE LAN型接続について

プロバイダーからグローバルIPアドレスを複数個提供されていて、PPPoE LAN型接続でインターネットに接続する場合、LAN側のネットワークカメラやパソコンにはプライベートIPアドレスを割り当て、グローバルIPアドレスと静的アドレス変換します。

xx.yyy.zzz.100/29 ( xxx.yyy.zzz.100 ~ xxx.yyy.zzz.107 ) のグローバルIPアドレスを取得している場合、プライベートIPアドレスと相互変換します。



	PPPoE ( LAN型 )	
WAN側IPアドレス		
LAN側IPアドレス	192.168.0.254	
KX-HGW500のIPアドレス	xxx.yyy.zzz.101	
ネットワークアドレス	192.168.0.100	
ネットワークカメラまたはパソコン	xxx.yyy.zzz.102	192.168.0.41
	xxx.yyy.zzz.103	192.168.0.42
	xxx.yyy.zzz.104	192.168.0.43
	xxx.yyy.zzz.106	IPマスカレード機能を使ってカメラを接続する
ブロードキャストアドレス	xxx.yyy.zzz.107	

KX-HGW500の設定項目	内容
<b>基本設定</b> KX-HGW500本体の IPアドレス アドレス変換 LAN型	xxx.yyy.zzz.101  使用する ネットワーク環境に応じてグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの変換を「アドレス変換」より行ってください。
<b>オプション設定</b> IPアドレス（ホーム側）設定 DHCP設定	192.168.0.1 任意 (LAN側にWWWサーバーなどを立ち上げて公開する場合は、該当のサーバーのIPアドレスを手動で設定するか、DHCPサーバーを「使用する」にしてDHCPスタティック設定でサーバーのIPアドレスを固定にしてください。)

#### 設定例（アドレス変換 LAN型）

機能	No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
静的 アドレス変換	1	有効	xxx.yyy.zzz.102	*	0-65535	192.168.0.41
	2	有効	xxx.yyy.zzz.103	*	0-65535	192.168.0.42
	3	有効	xxx.yyy.zzz.104	*	0-65535	192.168.0.43
	追加					
IPマスカレード			xxx.yyy.zzz.106	-	-	(注)

# 無線ネットワークのセキュリティについて

無線ネットワークでは次の3つの手段を使ってセキュリティを確保することができます。構築するネットワークの使用目的に合わせてそれぞれを組み合わせ、より高いセキュリティを確保してください。

<p>SSID (☞ 74ページ)</p>	<p>無線ネットワークでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSID (ESSID) と呼びます。SSIDは無線ネットワークに接続する各端末に設定し、同じSSIDを持つ端末同士でのみ通信ができます。異なったSSIDの端末は接続できなくなっており、セキュリティを確保します。なお、SSIDには名前や誕生日などを使わないください。多くの人が使っている名前や推察されやすい名前を使うと、隣接する無線ネットワークと混信したり、ネットワークに侵入される場合があります。</p> <p>メリット： 比較的簡単に設定を行うことができます。</p> <p>デメリット： SSIDを盗まれるとネットワークに侵入されます。</p>
<p>暗号化設定 (☞ 77ページ)</p>	<p>無線ネットワーク内で通信するデータを暗号化することができます。暗号化を行うと、万一无線ネットワークのデータを他の端末が受信しても解読することが困難になります。暗号化は無線ネットワークのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。暗号化キーは40(64)bitと128bitの2種類あります。</p> <p>メリット： 暗号化なし 40 (64) bit暗号化 128bit暗号化の順で安全性が高まります。</p> <p>デメリット： 暗号化なし 40 (64) bit暗号化 128bit暗号化の順で通信速度が若干低下します。</p>
<p>MACアドレスフィルタリング登録 (☞ 81ページ)</p>	<p>あらかじめ接続可能な無線端末のMACアドレスを登録しておけば、未登録の無線端末の接続を拒否します。</p> <p>メリット： SSIDや暗号化キーを盗まれても接続を拒否できます。</p> <p>デメリット： 無線ネットワークの規模が大きくなると、MACアドレスの管理が煩雑になる場合があります。</p>

# パソコンのネットワーク設定を行う

本機のWWWサーバー機能を利用してカメラポータル画面にアクセスするには、パソコンのネットワーク設定をDHCP（IPアドレスを自動的に取得）に設定する必要があります。次の手順に従って設定してください。

<Windows 95 / Windows 98 / Windows Meの場合>

- 1 [スタート]メニューから[設定]を選び、コントロールパネルをクリックする
- 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックする
- 3 現在使用中のネットワークカードに対応したTCP/IPを選び、 をクリックする
- 4 IPアドレスタブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得」を選ぶ
- 5 DNS設定タブをクリックし、「DNSを使わない」を選び、 をクリックする
- 6  をクリックする  
システム設定の変更ダイアログボックスが表示されます。
- 7  をクリックして、パソコンを再起動する

<Windows 2000の場合>

- 1 [スタート]メニューから[設定]を選び、コントロールパネルをクリックする
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、プロパティを選ぶ
- 4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んで、プロパティをクリックする
- 5 「IPアドレスを自動的に取得する」を選ぶ
- 6 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選ぶ
- 7 必要に応じて複数回、 をクリックする

<Windows XPの場合>

- 1 [スタート]メニューから[設定]を選び、コントロールパネルをクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする
- 3 [ネットワーク接続]をクリックする
- 4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、プロパティを選ぶ
- 5 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んで、プロパティをクリックする
- 6 「IPアドレスを自動的に取得する」を選ぶ
- 7 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選ぶ
- 8 必要に応じて複数回、 をクリックする



Windows 2000およびWindows XPで設定変更する場合は、Administrator権限でログインしてください。

# パソコンのIPアドレスを確認するには

インターネットでは使われないIPアドレスを「プライベートIPアドレス」と呼び、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。ローカルネットワークの規模に応じてクラスを選び、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートIPアドレス (この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる)
クラス A	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ~ 10. 255. 255. 254
クラス B	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ~ 172. 31. 255. 254
クラス C	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ~ 192. 168. 255. 254

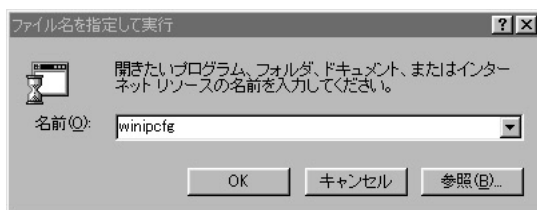


ローカルネットワーク内でネットワークカメラをご使用の場合は、IPアドレスとサブネットマスクをパソコンと同じクラスで設定してください。

以下の手順で使用しているパソコンのIPアドレスとサブネットマスクを確認することができます。上の表でパソコンのクラスを確認してください。

Windows 95, Windows 98 または Windows Me をお使いの場合

- 1 Windowsの [スタート] メニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択すると、次の画面が表示されます。



- 2 データ入力欄に [winipcfg] と入力し、 **OK** をクリックします。  
この操作で、パソコンのネットワーク情報を確認することができます。

Windows 2000、Windows NT または Windows XPをお使いの場合

コマンドプロンプト (スタート プログラム アクセサリ  
コマンドプロンプト) を起動させ、[ipconfig] と入力します。

C: >ipconfig

この操作で、パソコンのネットワーク情報を確認することができます。

NTの場合、コマンドプロンプトは スタート プログラム コマンドプロンプトの手順で起動します。



データ入力内容についての詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



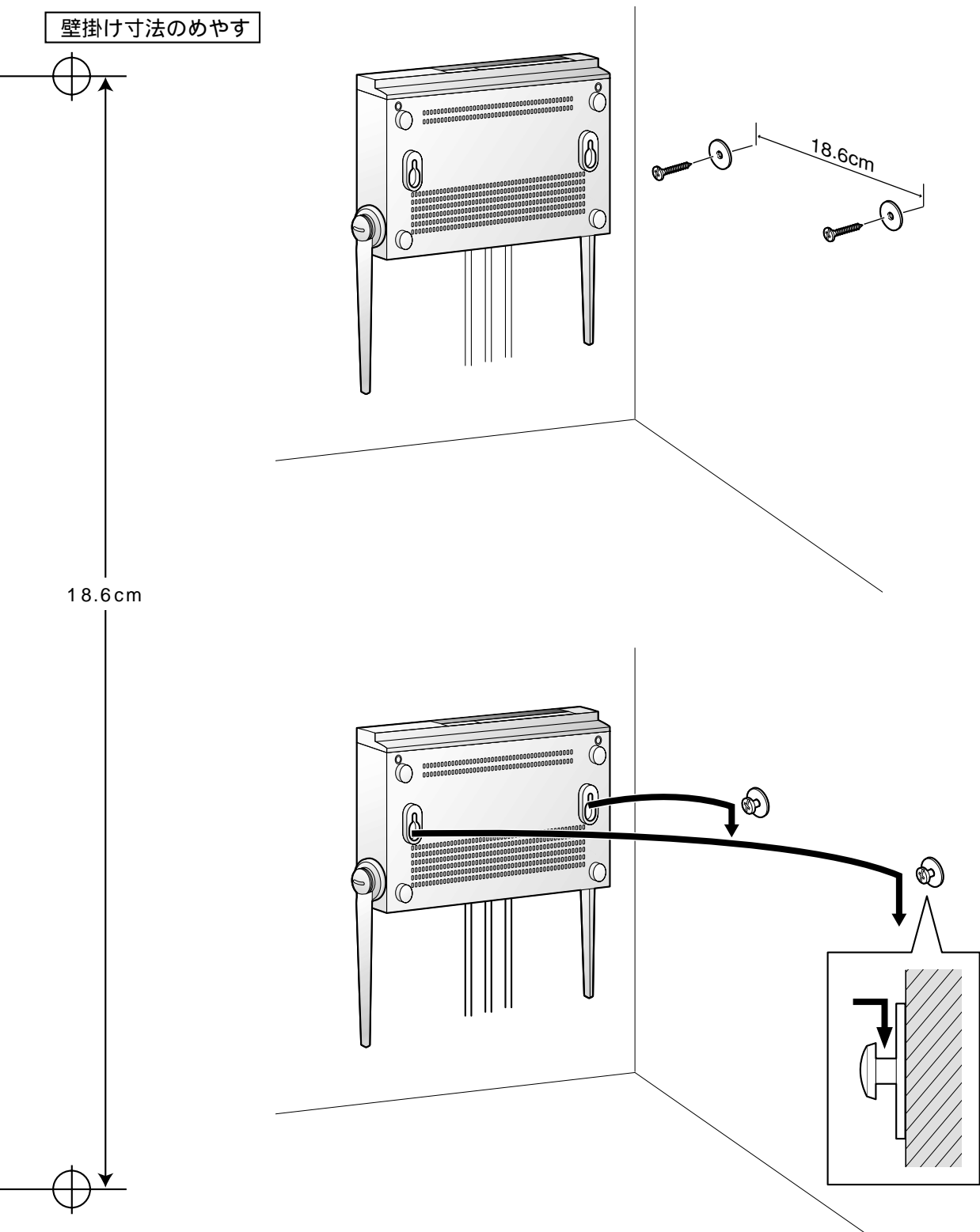
## その他

壁への取り付け .....	114
標準設定一覧 .....	115
録画可能な時間について .....	119
故障かなと思ったとき .....	120
用語解説 .....	126
仕様 .....	130
保証とアフターサービス .....	132
さくいん .....	133

# 壁への取り付け

壁掛け寸法のみやすを使ってネジ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本機をネジにかけて、静かに下にすべらせる（壁掛け寸法のみやす<sup>※</sup>このページの左側）

壁掛け寸法のみやす



# 標準設定一覧

## 設定画面および録画再生画面へのパスワード

ユーザー名	なし
パスワード	KX-HGW

## 基本設定

インターネット接続方法 各設定項目	DHCP接続 設定されていません
----------------------	---------------------

## カメラ設定

カメラの自動登録機能	使用する
カメラ画面表示形式	カメラ名と静止画（自動更新）
WAN側アクセス制御	フルアクセス

## 無線設定

基本 SSID セキュリティ 通信チャンネル	HGW500 許可（SSID空白のクライアントの接続を許可） 1
暗号化設定	無効
MACアドレスフィルタリング	使用しない

## アドレス変換

アドレス変換 端末型 LAN型	使用する 設定されていません 設定されていません
-----------------------	--------------------------------

# 標準設定一覧

## フィルタリング設定

No	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
			IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		
1	許可	W->L	*	*	KX-HGW500	80	TCP	する
53	許可	W->L	10.0.0.0 10.255.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
54	許可	W->L	172.16.0.0 172.31.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
55	許可	W->L	192.168.0.0 192.168.255.255	*	*	*	TCP&UDP	する
56	許可	L->W	*	*	10.0.0.0 10.255.255.255	*	TCP&UDP	する
57	許可	L->W	*	*	172.16.0.0 172.31.255.255	*	TCP&UDP	する
58	許可	L->W	*	*	192.168.0.0 192.168.255.255	*	TCP&UDP	する
59	許可	W->L	*	*	KX-HGW500	*	TCPEST	する
60	許可	W->L	*	*	*	*	TCPEST	する
61	許可	W->L	*	*	*	137 - 139	TCP&UDP	する
62	許可	W->L	*	137 - 139	*	*	TCP&UDP	する
63	許可	L->W	*	*	*	137 - 139	TCP&UDP	する
64	許可	L->W	*	137 - 139	*	*	TCP&UDP	する

エントリ番号	説明
1	WAN側から本機のカメラポータル画面へのアクセスを禁止する
53-55	WAN側からの不正なパケットを破棄する。(WAN側からのパケットにもかかわらずプライベートIPアドレスを送信元としているWANパケットを破棄する)
56-58	送信先IPアドレスの不正なパケットがWAN側に出るのを防止する。(LAN側からのパケットでプライベートIPアドレスを送信先に持つパケットを送信しない。)
59	WAN側から本機への不正なアクセスを防止する。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうち、本機との通信が確立していないものは破棄する。
60	WAN側からLAN側への不正なアクセスを防止する。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうちLAN側の端末との通信が確立していないものは破棄する。
61-64	LAN側へNBTパケットが通過できる状態では、Windowsのリソース共有が不正に操作される可能性があり、WAN側へのNBTパケットはネットワークの情報を漏洩してしまうので破棄する。(NBTパケットの侵入と漏洩を防止する)

エントリNo.1はWAN側アクセス制御で使用されるため、変更、削除、移動はできません。

# 標準設定一覧

## オプション設定

IPアドレス（ホーム側）設定 IPアドレス サブネットマスク WWWサーバーのポート番号	192.168.0.254 255.255.255.0 80
DHCP設定 DHCPサーバ 利用可能なアドレス範囲 DHCPスタティック	使用する 192.168.0.1 - 192.168.0.128 無効
PPPoE 設定 接続形態 不使用時の切断	常時接続 切断する（30分後）
DNSリレー設定	使用する
MTUサイズ	1500バイト
ダイナミックルーティング設定 ホーム側 インターネット側	送信する 送信しない
DDNS設定	使用しない

## 録画/再生

録画設定 解像度 画質 フレームレート	320×240 標準 連続
タイマー録画設定	無効

# 録画可能な時間について

フレームレート設定 ( 59 ページ ) については下記の表を参考に設定してください。

動画録画時間 ( 5 枚 / 秒、画質は標準のとき )

SDメモリーカード容量	録画解像度		
	640×320ドット 約26KB/枚	320×240ドット 約13KB/枚	160×120ドット 約4KB/枚
512MB	約67分	約134分	約436分
256MB	約33分	約67分	約218分
128MB	約16分	約33分	約109分
64MB	約8分	約16分	約54分
32MB	約4分	約8分	約27分
16MB	約2分	約4分	約13分

静止画録画時間

フレームレート	SDメモリー カード容量	録画解像度		
		640×320ドット 約26KB/枚	320×240ドット 約13KB/枚	160×120ドット 約4KB/枚
静止画6枚/分 ( 10秒に1枚 )	512MB	約3360分	約6720分	約21850分
	256MB	約1680分	約3360分	約10920分
	128MB	約840分	約1680分	約5460分
	64MB	約420分	約840分	約2730分
	32MB	約210分	約420分	約1370分
	16MB	約110分	約210分	約680分
静止画1枚/時 ( 1時間に1枚 )	512MB	約840日	約1680日	約5460日
	256MB	約420日	約840日	約2730日
	128MB	約210日	約420日	約1370日
	64MB	約110日	約210日	約680日
	32MB	約50日	約110日	約340日
	16MB	約30日	約50日	約170日

# 故障かなと思ったとき

## 接続の確認

問題	原因と対処のしかた
POWER インジケーターが赤くなっている	ハードウェアに障害があります。RESETボタンを押してください (☞ 106ページ)。ネットワークカメラ カスタムコンタクトセンターにご連絡ください (☞ 132ページ)。
CATV/ADSL/光ケーブルモデムに接続しているが、WAN インジケーターが消えている	本機とCATV/ADSL/光ケーブルモデムの接続を確認してください。本機やCATV/ADSL/光ケーブルモデムの電源が入っているか確認してください。
Ethernetに接続しているが、LAN1～4インジケーターが消えている	パソコン等の接続を確認してください。 パソコン等の電源が入っているか確認してください。 ネットワークカードとドライバーがパソコンにインストールされているか確認してください。

## インターネットWWWサイトの表示について

問題	原因と対処のしかた
インターネットのWWW(World Wide Web)サイトが表示されない	WWWサイトのアドレスがWWWブラウザのアドレスバーに正しく入力しているか、確認してください。 モデムやパソコンなどに接続されているか確認してください。 プロバイダーから受け取ったインターネットの接続に関する情報を確認してください。設定値を入力する必要がある場合は、「インターネット接続の設定をする」(☞ 26ページ)を参照し、設定してください。 ステータス画面 (☞ 103ページ)を確認してください。ステータス画面を見ると、プロバイダーから正しくIPアドレスが割り当てられているかがわかります。もし、割り当てられていなかったら、基本設定画面で設定し直してください。 プロバイダーから指示されている場合は、WWWブラウザでプロキシサーバーの設定をしてください。(☞ 107ページ) PPPoE接続でインターネットに接続しているときに電源を切ると、インターネットに接続するのに5～20分かかる場合があります。しばらくお待ちください。 モデムの切り替えスイッチが100Mbpsになっていると本機のWANジャックと通信できないことがあります。モデムの切り替えスイッチを10Mbpsに変えてください。



## 設定画面の表示について

問題	原因と対処のしかた
<p>カメラポータル画面や設定画面が表示されない</p>	<p>LAN1～4インジケータ―やWIRELESSインジケータ―が緑色に点灯しているか、確認してください。または、Ethernetカードや無線LANカードのインジケータ―が点灯しているか、確認してください。インジケータ―が消えていたら、LANの接続を確認してください。</p> <p>本機からLAN側のパソコンにIPアドレスが割り当てられているか確認してください（☞ 112ページ）。割り当てられていない場合は、パソコンが「IPアドレスを自動的に取得」と設定されていることを確認のうえ、再起動してください。</p> <p>本機のIPアドレス（：ポート番号）を変更したときは（☞ 92ページ）WWWブラウザのアドレスバーに変更したIPアドレス（：ポート番号）を入力してください。</p> <p>（ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）</p> <p>設定画面にアクセスするには、WWWブラウザの設定が必要になる場合があります。107ページを参照のうえ、設定を確認してください。設定画面にJavaScriptを使用しています。WWWブラウザの設定でJavaScriptが無効になっている場合は、JavaScriptを有効にしてから設定画面にアクセスしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Internet Explorerの「ツール(T)」 「インターネットオプション(O)」 「セキュリティ」をクリックする</li> <li>② 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」内の「レベルのカスタマイズ(C)...」をクリックする</li> <li>③ 「設定(S)」内の「アクティブスクリプト」を「有効にする」に変更する</li> </ol>
<p>パスワードを入力したが設定画面が表示されない</p>	<p>ネットワーク管理者に「ユーザー名」、「パスワード」を確認してください。</p>
<p>無線端末に接続できない</p>	<p>パソコンの無線LANカードの設定を、 通信モード：Infrastructure（インフラストラクチャ） SSID(ESSID): HGW500 暗号化：なし に設定してください。</p> <p>無線端末や本機が、電波の届かない場所にあるか、コンクリートの壁などの障害がある可能性があります。無線端末を近くに設置してください。</p> <p>無線設定で「SSID空白のクライアントの接続」が「許可」になっているか確認してください。</p>

## 故障かなと思ったとき

### ネットワークカメラの設定について

問題	原因と対処のしかた
カメラポータル画面にネットワークカメラが自動登録されない	<p>本機、ネットワークカメラ、パソコンの接続を確認してください。自動登録機能はカメラの電源を入れた後20分間のみ有効です。ネットワークカメラを再起動してください。</p> <p>ネットワークカメラの[3.設定画面] [ネットワーク]で、「1.セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックボックスにチェックが入っていない場合は、自動登録されません。チェックを入れてください。</p> <p>無線ネットワークを使用している場合は、本機以外の無線アクセスポイントに接続している場合があります。本機以外のルーターの電源を切って、カメラを再起動してください。その後本機とネットワークカメラのSSIDを同じ値に変更してください。</p> <p>IPアドレス(192.168.0.113 192.168.0.128)は、ネットワークカメラの自動登録用に使われます。他のネットワーク機器が同じIPアドレスを使用していないか確認してください。使用している場合は、他のIPアドレスに変更してください。</p>
カメラポータル画面にアクセスすると認証画面が表示される	<p>WAN側アクセス制御で、「パスワードによる保護」に設定されています。設定したユーザー名とパスワードを入力してください。</p> <p>ネットワークカメラを管理者設定している場合があります。ネットワークカメラの[3.設定画面] [管理者]で「すべての画面(管理者と一般ユーザー)」にチェックしている場合には、「設定画面のみ(管理者)」に変更してください。(ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。)</p>
自動登録されたカメラがカメラポータル画面から削除されている	<p>本機の[設定画面] [オプション設定] [DHCPの設定]で、DHCPサーバーを「使用しない」に設定すると、カメラの自動登録機能が無効になります。DHCPサーバーを使用しない場合は、ネットワークカメラを手動登録してください。</p>
ネットワークカメラを手動登録できない	<p>IPアドレス(192.168.0.113 192.168.0.128)およびポート番号(60001 60016)は、ネットワークカメラの自動登録用に使われます。同じIPアドレスまたはポート番号を使用している場合は、他のIPアドレス、ポート番号に変更してください。</p>

問題	原因と対処のしかた
<p>手動登録したネットワークカメラの画像が見えない</p>	<p>ネットワークカメラを手動登録する場合は、本機の [ 設定画面 ] [ カメラ設定 ] [ カメラポータル配置 ] での登録および、[ 設定画面 ] [ アドレス変換 ] での登録も行う必要があります。適切な値を登録してください。</p> <p>手動で登録したネットワークカメラを再起動すると、自動登録機能により設定が変更される場合があります。本機の [ 設定画面 ] [ カメラ設定 ] [ カメラ登録 ] の「カメラの自動登録機能の設定」で「使用しない」に設定するか、ネットワークカメラの [ 3.設定画面 ] [ ネットワーク ] で「1.セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックを外して、自動登録しないようにしてください。</p>
<p>WAN側からカメラポータル画面や設定画面にアクセスできない</p>	<p>ネットワークが混雑している場合があります。しばらく待ってから接続してください。</p> <p>WANインジケータが緑色に点灯しているか確認してください。インジケータが消えていたら、WANの接続を確認してください。</p> <p>設定画面にアクセスするには、WWWブラウザの設定が必要になる場合があります。107ページを参照のうえ、設定を確認してください。</p> <p>設定画面にJavaScriptを使用しています。WWWブラウザの設定でJavaScriptが無効になっている場合は、JavaScriptを有効にしてから設定画面にアクセスしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Internet Explorerの「ツール(T)」 「インターネットオプション(O)」 「セキュリティ」をクリックする</li> <li>② 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」内の レベルのカスタマイズ(C)... をクリックする</li> <li>③ 「設定(S)」内の "アクティブスクリプト" を "有効にする" に変更する</li> </ol> <p>本機の [ 設定画面 ] [ カメラ設定 ] [ WAN側アクセス制御 ] の「WAN側カメラアクセス制御」が「禁止」に設定されています。「フルアクセス」または、「パスワードによる保護」に設定してください。</p> <p>本機の [ 設定画面 ] [ フィルタリング設定 ] で、アクセスが禁止されている場合があります。[ 設定画面 ] [ フィルタリングログ ] を参考にして適切な値を設定してください。</p>
<p>WAN側からURLアドレスでカメラポータル画面にアクセスできない</p>	<p>「みえますねっと」に登録されていない場合があります。[ オプション設定 ] [ DDNS ] でE-mailアドレスを登録した後、「DDNSサービスへのリンク」から「みえますねっと」への登録をしてください。</p>

## 故障かなと思ったとき

### 録画再生機能について

問題	原因と対処のしかた
カメラの画像が録画できない	<p>本機とネットワークカメラの接続を確認してください。</p> <p>本機にSDメモリーカードが確実に装着されているか確認してください。</p> <p>ネットワークカメラを管理者設定にしている場合があります。ネットワークカメラの[3.設定画面] [管理者]で「設定画面のみ(管理者)」に設定している場合、カメラに登録されている「ユーザー名」と「パスワード」を、本機の[設定画面] [カメラ設定] 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で録画したいカメラのユーザー名とパスワード入力欄に登録してください。</p> <p>SDメモリーカードの容量がなくなっている場合があります。録画ファイルを削除するか、別のSDメモリーカードと入れ替えてください。1ヵ月(1日~31日)に作成可能なファイル数(150ファイル)を超えている場合があります。録画ファイルを削除するか、別のSDメモリーカードと入れ替えてください。</p> <p>SDメモリーカードにライトプロテクトがかかっている場合があります。ライトプロテクトを外してください。</p> <p>すでに録画中の場合があります。録画を一度止めて、再度、録画を行ってください。</p> <p>タイマー録画が設定されている場合があります。タイマー録画の設定を無効にしてください。</p>
タイマー録画の設定ができない	<p>「タイマー設定1」と「タイマー設定2」の録画時刻が重なっています。録画時刻が重ならないように設定してください。</p>
設定したフレームレートで録画ができない	<p>ネットワークの混雑により、設定されたフレームレートで画像を録画できない場合があります。フレームレートを低く設定して録画してください。</p>
録画した画像が再生できない	<p>本機にSDメモリーカードが装着されているか確認してください。録画中またはタイマー録画設定中の場合があります。録画を停止、またはタイマー録画設定を無効にして、再生を行ってください。</p>
録画されたファイルの時刻があっていない	<p>録画時刻はネットワークカメラの時計設定に従って設定されます。カメラの時計設定を調整してください。(ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。)</p>
録画ファイルを削除できない	<p>SDメモリーカードにライトプロテクトがかかっている場合があります。ライトプロテクトを外してください。</p> <p>録画中またはタイマー録画設定中の場合があります。録画を停止、またはタイマー録画設定を無効にして、ファイルを削除してください。</p>

問題	原因と対処のしかた
SDメモリーカードをフォーマットできない	SDメモリーカードにライトプロテクトがかかっている場合があります。ライトプロテクトを外してください。 録画中またはタイマー録画設定中場合があります。録画を停止、またはタイマー録画設定を無効にして、フォーマットしてください。

## その他

問題	原因と対処のしかた
「IPアドレス XXX.XXX.XXX.XXXは、 ハードウェアのアドレスが XX:XX:XX:XX:XX:XXに設定 してあるシステムと競合してい ることが、検出されました。」 または「ネットワーク上の別の システムと競合するIPアドレス を検出しました。ローカルイン ターフェイスは無効です。詳細 については、システムイベント ログを参照してください。この 問題を解決するには、ネット ワーク管理者に相談してくださ い。」と表示される	すべての機器の電源を切ってください。その後、本機の電源を入れ、パソコンの電源を入れてください。 すべてのパソコンが「IPアドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認してください。DHCPサーバー機能をお使いください。 利用可能なアドレスの範囲とネットワーク内にある特定の機器のアドレスの値が重複していないか、確認してください。 本機のWAN側に設定したIPアドレスが、社内ネットワークの他の端末と重複していないか確認してください。
設定画面で <b>再起動</b> をクリックしたが基本設定画面が表示されない	パソコンを再起動した後、再度設定画面にアクセスしてください。 WWWブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
設定画面にアクセスするのにパスワードを忘れてしまった	CLEAR SETTINGボタンを押して、初期化をおこなってください ( 106ページ )。設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。その後、再度設定し直してください。
社内ネットワークに異常が発生する	社内ネットワークのEthernetケーブルが本機のLANジャックに接続されています。Ethernetケーブルを本機のWANジャックに接続し、パソコンを再起動してください。
PPPoE自動接続設定時、WWWブラウザなど立ち上げていないのに、プロバイダーに自動接続する	パソコンの設定により、パソコンからインターネットへの接続要求が発生している可能性があります。パソコンのネットワーク設定を確認し、「Microsoft ネットワーククライアント」、「Microsoft ネットワーク共有サービス」等、ネットワークを共有させるためのサービスやプロトコルが設定してあるときは、無効にしてください。

# 用語解説

---

## 英字

CATV	Cable Televisionの略で、ケーブルテレビのことを言います。最近では、このケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスを提供する会社が増えてきています。
DDNS (Dynamic Domain Name System)	DNS (Domain Name System) サーバー情報を自動的に書き換え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。これによりDNSサーバーの情報更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークのオーバーヘッドを少なくできます。 DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) と組み合わせれば、LAN側のホストに自動的にIPアドレスとホスト名を割り振ることができます。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報 (IPアドレスの割り当て範囲やデフォルトゲートウェイなど) を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り当てます。
DNS (Domain Name System)	ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前 (ドメイン名) を付けて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、例えば “panasonic.co.jp” などがあります。
Ethernet	Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。
IEEE802.11b	IEEE (米国電気電子学会) の無線LANの規格。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4GHz帯を使用する最高11Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。
IPアドレス	インターネット上のすべてのネットワークインタフェースは、IPアドレスによって識別されます。そのためTCP/IPを使用して通信を行うネットワークインタフェースには、固有のIPアドレスが必要です。
IPマスカレード	NATによるIPアドレスの変換だけでなく、TCP/UDPのポート番号も識別することで、1つのグローバルIPアドレスを利用して、複数のパソコンが外部と通信できるようにする機能です。
LAN (Local Area Network)	フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

MAC (Media Access Control) アドレス	ネットワークカードに固有の物理アドレスのコードです。各ネットワークカード毎に違うコードが割り当てられています。
PPP (Point to Point Protocol)	公衆回線などを經由して2台のパソコンを接続するために開発されたプロトコルです。
PPPoE	PPP over Ethernetの略で、Ethernet上でユーザー名、パスワードでの認証機能や圧縮機能をサポートするだけでなく複数のプロトコルを同時にサポートできます。ただし、PPPoEをご利用いただくためには、別途PPPoE対応のルーターかPPPoEクライアントソフトが必要になります。
SD (Secure Digital) メモリーカード	小型・軽量で大きな記憶容量をもつ着脱可能な外部メモリーカードです。カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備え、SDMI (デジタル音楽著作権保護協会) の規格に対応可能な著作権保護機能をもっています。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP (Transmission Control Protocol) とUDP (User Datagram Protocol) の2つです。FTP、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。
URL (Uniform Resource Locator)	インターネット上のリソースを指定する方式です。具体的例としては、インターネット上のWebサイトにアクセスする際に使用する「 <a href="http://www.panasonic.co.jp">http://www.panasonic.co.jp</a> 」のことです。
WWW サーバー (World Wide Web)	画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。 ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列 (ワード) が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているため、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しいあるいはそれに関する別の情報を抽出することができます。
WWW ブラウザー (World Wide Web)	WWWサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet ExplorerやNetscape Communications社のNetscape Navigatorなどがあります。

# 用語解説

---

## あ

- アクセスポイント インターネット・サービス・プロバイダーやパソコン通信に電話回線で接続する際に、接続できるサーバーのある場所や電話番号のこと。
- インターネット 地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。インターネットサービスプロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。

## か

- ゲートウェイ ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター（ルーターなど）でネットワークのIPパケットの道先案内をします。ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

## さ

- サブネットマスク IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

## た

- ダイバーシティ 位置が違うところにふたつ以上のアンテナを設置し、受信状態のよいアンテナを選択して受信する方式のことです。
- ダウンロード 遠隔地にある装置側からネットワークを使用しデータを自分側に持ってきて保存する作業をいいます。
- チャンネル 無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。（全14チャンネル）
- ドメイン インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

## な

- ネットワーク 情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。



## は

ハブ	10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、ポート数は様々です。
パスワード	ファイルやネットワークを利用する際に鍵の役目をする合言葉（文字や数字）です。ネットワークのセキュリティ上、ユーザー識別のためにあらかじめ言葉を登録します。登録されている言葉と一致しない場合は、ファイルやネットワークを利用することはできません。
フィルタリング	ファイアウォールの一種で、フィルター機能を用いて、ネットワークパケットを選択的に転送する方式のことです。適切に設定すると、不要なパケットが外部に転送されるのを防ぎます。
ファームウェア	本機を動作させるプログラムです。本機ではフラッシュメモリーの中に格納されています。
ファイアウォール	インターネットを利用する際のセキュリティのひとつ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。
フレームレート	表示や動画の再生において、単位時間に何回画面を書き換えることができるかを表す指標です。
プロキシサーバー	プロキシサーバーは、コンピューターとインターネット間のセキュリティを強化したり、キャッシングによって不必要なトラフィックを減らすことで、ネットワーク間のパフォーマンスを向上させるために使用されるサーバーです。

# 仕 様

## 【本体】

項 目	仕 様
WANインターフェース	ポート数： 1ポート コネクター形状： 8ピンモジュージャック（RJ-45） 物理インターフェース： IEEE802.3（10Base-T） 通信速度： 10Mbps 全二重／半二重： 全二重／半二重（自動判別）
LANインターフェース	ポート数： 4ポート コネクター形状： 8ピンモジュージャック（RJ-45） 物理インターフェース： IEEE802.3（10Base-T）、IEEE802.3u（100Base-TX） 通信速度： 10/100Mbps（自動設定） 全二重／半二重： 全二重／半二重（自動判別） MDI/MDI-X： 自動検知
無線インターフェース	伝送方式： DS-SS方式、半二重 通信速度： 11/5.5/2/1Mbps（IEEE802.11b準拠） 周波数範囲： 2412～2484MHz（中心周波数） チャンネル数： 14ch セキュリティ： 40（64）/128bit WEP（暗号化） 通信距離： 屋内見通し120m / 屋外見通し600m（1Mbps時） 上記数値は、KX-HCM170との通信時の目安です。 無線通信距離および速度は、設置環境や障害物の有無に影響されます。
ユーザーインターフェース	CLEAR SETTINGボタン： 工場出荷時設定用 RESETボタン： 再起動用 状態表示ランプ POWER： 通電／本体状態表示 WAN： WANリンク状態表示 LAN1～4： Ethernetリンク状態を表示 WIRELESS： 無線リンク状態を表示
動作環境	動作温度： 5～40 動作湿度： 45%～85%（結露しないこと） 電源電圧： DC12V（専用ACアダプター使用） 消費電力： 最大約8W
外形寸法 （幅×奥行×高さ）	約260(W)×150(D)×42(H)mm アンテナ収容状態
質 量	約515g
電波障害防止	VCCIクラスB

## 【ACアダプター】

項目	仕様
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
定格出力	DC 12V 1A
消費電力	約4W (ACアダプターのみ電源コンセントに差し込んだとき)

## 【ソフトウェア】

項目	仕様	
ルーター機能	プロトコル PPP認証 PPPoE接続 / 切断  RIP DHCPサーバー DNSリレー (DNS代理応答) IPパケットフィルタリング アドレス変換方式	PPPoE / DHCP / Static 自動認識 手動接続 / 自動接続 (通信開始時) / 常時接続 / 不使用時の切断 あり (RIPv1) あり (128クライアント設定可) あり あり (64設定) IPマスカレード、静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)、静的NAT
無線端末機能	セキュリティ	WEP40(64)/128bit/SSID/無線端末限定機能 (MACアドレス登録方式)
同時アクセス数	カメラポータル画面 : 録画 / 再生画面 :	制限なし 一人のユーザー
アクセス制限	ID/Password	
WWWブラウザ設定	あり	
ファームウェアバージョンアップ	あり	
録画再生機能	解像度 画質 フレームレート	160×120、320×240、640×480 「動き優先」、「標準」、「画質優先」 連続～1枚/時

ネットワーク状況により異なります。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は...  
まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、  
お買い上げの販売店からお受け取りください。よく  
お読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このカメラコントロールユニットの補修用性能部  
品を製造打ち切り後7年保有しています。

### お願い

停電などの外部要因により生じたデータの損失ならび  
に、その他直接、間接の損害につきましては、当社は  
責任を負えない場合もございますので、あらかじめご  
了承ください。

本機は日本国内用です。国外での使用に対するサー  
ビスは致しかねます。

## 修理を依頼されるとき

120～125ページの表に従ってご確認のあと、直  
らないときはまずACアダプターを抜いて、お買い  
上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は  
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理  
をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品  
に保証書を添えてご持参ください。

保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望によ  
り有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ  
れています。

**修理料** は、診断・故障個所の修理および部品交  
換・調整・修理完了時の点検などの作業に  
かかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代  
です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所  
へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	カメラコントロールユニット
品番	KX-HGW500
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」  
にお問い合わせください。

### ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電話 03-3491-9797（通話料金有料）

FAX 03-3491-9016（通話料金有料）

営業時間 9:00～17:30（土・日・祝日除く）

# さくいん

## 英 字

ACアダプター	6、22、44
CLEAR SETTINGボタン	13、106
DC INジャック	13、22、44
DHCP接続	26
DHCPサーバー機能	92
DHCPスタティック	93
DNSリレー	94
DDNS	39、96
Ethernetケーブル	6、20、42
Ethernetハブ	42
IPアドレス	18、19、92、112
IPマスカレード	86
LANジャック	13、21、35、43、51
MACアドレスフィルタリング	81、110
MTUサイズ	95
Ping	102
PPPoE接続	30、32、93、101
RESETボタン	13、106
SDメモリーカード	56、64
SSID	74、76、110
Static接続	28、48
WAN側アクセス制御	73
WANジャック	13、20、42

## あ

アドレス変換	82
暗号化	77、110
インジケーター	13、14
インターネット接続	26
オプション設定	91

## か

カメラ設定	70
カメラの自動登録	35、51
カメラポータル配置	72
壁への取り付け	114
コードクランパー	6、22、44
故障かなと思ったとき	120

## さ

再起動	100、106
再生	62
サブネットマスク	92、112
社内ネットワークへの接続	48
仕様	130
使用状況	103
初期化	100、106
ステータス	103
静的IPマスカレード	83、85
静的NAT	84
接続タイプ	15
設定画面	66

## た

ダイナミックルーティング	95
タイマー録画設定	60
通信チャンネル	74、76
電源を入れる	22、44

# さくいん

---

## な

- ネットワークカメラの画像を見る...37、53
- ネットワークカメラの接続.....35、51

## は

- パナソニックウェブサイト.....98
- パスワード変更.....97
- 必要なシステム.....6
- 標準設定一覧.....115
- ファームウェアの更新.....98
- フィルタリング設定.....88
- フィルタリングログ.....104
- 付属品.....6
- フレームレート.....59、119
- プロキシサーバー.....107
- ヘルプ.....104
- ポートフォワーディング.....83、85

## ま

- みえますねっと.....39、96
- 無線設定.....74
- モデム.....20
- モニター画面.....58

## や

- 用語解説.....126

## ら

- 録画可能な時間について.....119
- 録画する.....59
- 録画設定を行う.....59



この商品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当しますので、輸出または海外に持ち出す場合は、同法に基づく関連法規を順守してください。

■ 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。

■ This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

## 愛情点検

## 長年ご使用のカメラコントロールユニットの点検を!



こんな  
症状は  
ありま  
せんか?

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

## 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	KX-HGW500
販売店名		☎ ( )	—
お客様 ご相談窓口		☎ ( )	—

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社  
ブロードバンド&ソリューション事業センター  
〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号

